

2022(令和4)年度

沖縄県平和祈念資料館年報 第23号

沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum



沖縄県平和祈念資料館 設立理念

1945年3月末、史上まれにみる激しい戦火がこの島々に襲ってきました。90日におよぶ鉄の暴風は島々の山容を変え、文化遺産のほとんどを破壊し、20数万人の尊い人命を奪い去りました。沖縄戦は日本に於ける唯一の県民を総動員した地上戦であり、アジア・太平洋戦争で最大規模の戦闘でありました。

沖縄戦の何よりの特徴は、軍人よりも一般住民の戦死者がはるかに上まわっていることにあり、その数は10数万におよびました。ある者は砲弾で吹き飛ばされ、ある者は追いつめられて自ら命を断たされ、ある者は飢えとマラリアで倒れ、また、敗走する自国軍隊の犠牲にされる者もありました。私たち沖縄県民は、想像を絶する極限状況の中で戦争の不条理と残酷さを身をもって体験しました。

この戦争の体験こそ、とりもなおさず戦後沖縄の人々が米国の軍事支配の重圧に抗しつつ、つちかってきた沖縄のこころの原点であります。

“沖縄のこころ”とは人間の尊厳を何よりも重くみて、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間性の発露である文化をこよなく愛する心であります。私たちは戦争の犠牲になった多くの霊を弔い、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に私たちの心を訴え、もって恒久平和の樹立に寄与するため、ここに県民個々の戦争体験を結集して、沖縄県平和祈念資料館を設立いたします。

1975年(2000年4月1日一部修正) 沖縄県

表紙：2022(令和4)年度第32回児童・生徒の平和メッセージ

図画部門：特別支援学校・学級の部

最優秀賞：「みんながへいわでにここにこ」

(この絵は、「みんながへいわでにここにこ」というだい名でみんながしあわせになかよくらす様子をかきました。明るえがおいっばいにくふうしてかきました。せんそうはいやです。人間も動物たちもなかよくへいわにくらしていきたい絵です。)

図画／那覇市立与儀小学校3年 ながみね あ のん 長嶺 杏音

2022(令和4)年度

沖縄県平和祈念資料館年報

第23号

沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum



はじめに

沖縄県平和祈念資料館では、開館以来、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代へ伝え、平和を希求する「沖縄のこころ」を国内外に広く発信し、世界の恒久平和の実現に寄与するため、様々な取り組みを行っています。

戦後 78 年もの歳月が経過し、戦争を知らない世代が増える中、沖縄戦体験者が年々減少し、今後どのように沖縄戦の記憶を次世代へ継承していくのかが課題となっています。

2022（令和 4）年度は、新型コロナウイルスの感染も少しずつ収まり、沖縄への観光客数は回復の兆しが見え始めてきました。当館への来館者も 2022（令和 4）年 7 月には、800 万人を達成したところです。

そのような状況の中、「第 32 回児童・生徒の平和メッセージ」事業においては、県内 113 校から 2,379 点の作品が寄せられ、図画・作文・詩の 3 部門から 212 点の入作品が選ばれました。児童・生徒の作品では、自分自身が考える平和、今の世の中が抱える問題、平和な未来を創るために自身に出来ることなどについて、図画や文章を通して力強く表現されており、各作品は、県内外へ広く発信され、多くの人に平和の尊さを伝えています。

また、アジアの戦争経験国の若者と、沖縄、広島、長崎の若者が一緒に学び、共通理解を通して、アジア・太平洋地域の安定と平和の構築を目指す、「平和への思い」発信・交流・継承事業のほか、戦後の米国施政権下（1950 年半ば～ 1972 年頃まで）の復興の記憶を次世代に継承することを目的に、『アメリカ世の記憶』米国施政権下時代の証言映像収録・編集・公開事業」を新たに実施し、米国施政権下時代の証言映像（20 名）を収録しました。

特別企画展では、戦後 27 年間にも及ぶ米国統治下で、たくましく生き抜いてきた県民の方々の苦難の歴史をテーマに、「復帰 50 周年記念特別企画展～アメリカ世の記憶～」を開催し、沖縄が日本に復帰するまでの足跡を辿り、改めて平和について考えていただく機会としました。

ギャラリー展においては、「戦争体験者からの平和メッセージ」を開催し、壮絶な沖縄戦を生き抜いてこられた方々からの体験談と、後世へ伝えたいメッセージを紹介しました。

子ども・プロセス企画展では、「沖縄戦と住民の被害」、「チャレンジ！夏休み自由研究－沖縄戦やアメリカ統治下の沖縄について調べてみよう－」、「太平洋戦争と少年兵」など、子どもたちが理解しやすく、平和学習に興味・関心を持つような企画展を開催しました。

八重山平和祈念館では、「戦争を『自分事』として考える ～時を越えて、国を越えて～」をテーマに、平和な世界を実現するためには、過去の戦争、他国・地域の戦争を「自分事」として捉え、平和をつくる当事者意識を持つことの大切さについて考えてもらう企画展を開催しました。

当館及び八重山平和祈念館は、「沖縄戦」の実相を通して世界の平和について考える“学びの場”として、今後とも多くの皆さまに活用して頂くことを願っています。また、活動状況をまとめたこの冊子も広くご活用いただければと思います。

令和 5 年 9 月

沖縄県平和祈念資料館
館長 前川 早由利

目 次

沖縄県平和祈念資料館設立理念

はじめに

I 概要

1 沿革	1
2 日誌(抄)2022(令和4)年度	6
3 施設	9
4 組織	12
5 2022(令和4)年度歳入歳出決算(本館及び分館)	18
6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会	19
7 2022(令和4)年度改修工事について	21
8 施設の改修等の状況	22
9 2022(令和4)年度に来館された方々	24

II 調査研究事業

1 第29回日本平和博物館会議	26
-----------------	----

III 展示企画事業

1 常設展	27
2 企画展	29
(1) 新収蔵品展(令和元年・令和2年度寄贈受け入れ資料)	29
(2) 第21回特別企画展「アメリカ世の記憶～日本復帰50周年記念特別企画展～」	30
(3) 子ども・プロセス企画展	32
(4) ギャラリー展	34

IV 資料収集・活用事業

1 新収蔵品目録	35
(1) 実物資料 (2) 購入図書資料	35
2 資料貸出実績	37
(1) 資料の貸出	37
(2) 証言映像の貸出	40
3 撮影・掲載等利用一覧	41

V 教育普及事業

1 教育普及事業	49
(1) 第32回「児童・生徒の平和メッセージ」事業	49
(2) 「こどもの日」(5月5日)ビデオ上映会	52
(3) 「慰霊の日」(6月23日)沖縄戦関連ビデオ上映会	52
(4) 夏休み子ども向け企画	52
2 教育機関等との連携	54
(1) 平和講話	54
(2) 離島・遠隔地講師派遣事業	54
(3) 児童・生徒の職場体験(インターンシップ)の受け入れ	54
(4) 沖縄少年院連携事業	55
(5) 大学との連携事業	56
(6) 博物館学芸員実習の受け入れ	56
(7) 教員向け平和講話等利用案内説明会	56
(8) 資料館講習会	56
(9) 大人のための平和学習(入門編)	56

3	講座・講習会・研修会	57
(1)	県内学校教員向け平和講話等利用案内説明会	57
(2)	島尻教育事務所中堅教諭等資質向上研修	57
(3)	県立学校初任者研修	58
(4)	幼稚園・認定こども園初任者研修	58
(5)	島尻教育事務所初任者研修	58
(6)	那覇教育事務所初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修	58
(7)	養護教諭初任者研修	58
(8)	JICA 日系社会研修	59
(9)	JICA 国別研修「平和教育における現職教育研修」〔対象国：コロンビア〕	59
(10)	沖縄県平和祈念資料館講習会	59

VI 広報活動・出版等

	刊行物	60
--	-----	----

VII その他の事業

1	沖縄平和啓発プロモーション事業	61
2	「平和への思い」発信・交流・継承事業	63
3	学芸員人材育成事業	65

VIII 入館者状況

1	月別入館者数	66
2	年度別入館者数	67
3	月別県内・県外学校、その他団体見学（小人）観覧状況	68
4	市町村別団体入館者数	69
5	都道府県別団体入館者数	70
6	県内小・中・高校の地区別入館状況	71
7	県外修学旅行団地方別入館状況	72
8	平和祈念資料館入館者数	73

IX 八重山平和祈念資料館

1	概要	74
2	施設	76
3	事業概要	78

X 沖縄県平和祈念資料館 友の会

1	活動紹介	82
2	申込方法	82
3	申込条件	82
4	講話・ガイド活動状況	82
5	活動内容	83

XI 関係条例・規則・要綱

1	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例	85
2	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則	89
3	八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱	95
4	沖縄県平和祈念資料館資料貸出要項	96
5	沖縄県平和祈念資料館保管資料の撮影・複製・放映・利用許可要項	110

XII	沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況	115
------------	-------------------------------	------------

I 概要

1 沿革

[沖縄県立平和祈念資料館] (旧館)

1972(昭和47)年沖縄県援護課を主管に資料館構想がつくられ、1974(昭和49)年に鉄筋コンクリート2階建て(延床面積1,003㎡)の館落成。管理運営を財団法人沖縄県戦没者慰霊奉賛会に委託して1975(昭和50)年6月11日に開館した。以来、沖縄戦について学び、平和について考える施設として活動を続ける。2000(平成12)年3月31日に閉館。

[沖縄県平和祈念資料館] (新館)

旧資料館の「設立理念」と「展示むすびのことば」の精神を継承し、平和の創造と人類の恒久平和に寄与する拠点的な施設として移転改築した。2000(平成12)年3月29日に開館記念式典が挙行され、4月1日に開館。

[歴代館長]

外間 盛治	2000(平成12)年4月	2002(平成14)年3月
阿波根 昌安	2002(平成14)年4月	2003(平成15)年3月
島袋 記美子	2003(平成15)年4月	2005(平成17)年3月
川満 茂雄	2005(平成17)年4月	2007(平成19)年3月
宮城 智子	2007(平成19)年4月	2009(平成21)年3月
大川 芳子	2009(平成21)年4月	2011(平成23)年3月
呉屋 禮子	2011(平成23)年4月	2013(平成25)年3月
上與那原美和子	2013(平成25)年4月	2014(平成26)年3月
國 仲 功	2014(平成26)年4月	2016(平成28)年3月
原田 直美	2016(平成28)年4月	2019(平成31)年3月
外間 裕朋	2019(平成31)年4月	2021(令和3)年3月
雉鼻 章郎	2021(令和3)年4月	2022(令和4)年3月
前川 早由利	2022(令和4)年4月	～

[主な事項]

1993(平成5)年度	12月7日	「平和祈念資料館移転改築事業」基本計画及び展示基本設計調査業務委託契約を沖縄県平和祈念資料館移転改築事業・基本計画及び展示設計調査業務共同企業体(商工美術(株) ㈱沖縄ノムラ)と締結する。
	1月31日	
1994(平成6)年度	10月12日	第1回「平和祈念資料館移転改築基本計画」検討委員会開催
1995(平成7)年度	3月28日	沖縄県平和祈念資料館(仮称)設計プロポーザル・エスキス競技最優秀賞 team DREAM に決定
1996(平成8)年度	6月25日	沖縄県平和祈念資料館(仮称)展示設計プロポーザル競技により(株)乃村工藝社を設計者に選定
	9月26日	第1回沖縄県平和祈念資料館(仮称)監修委員会開催
1997(平成9)年	10月21日	県議会：建設工事請負契約議決
	10月22日	沖縄県平和祈念資料館(仮称)建設工事着工
	12月22日	県議会：展示製作委託業務契約議決
	3月17日	沖縄県平和祈念資料館(仮称)・資料収集広報キャンペーンを開催(巡回展、講演会)
1999(平成11)年度	6月30日	沖縄県平和祈念資料館(仮称)建設工事完了
	3月29日	沖縄県平和祈念資料館 開館記念式典・内覧会挙行

	3月30日	沖縄県平和祈念資料館監修委員会（最終）開催
	3月31日	沖縄県立平和祈念資料館（旧資料館）閉館
2000(平成12)年度	4月1日	開館（一般公開始まる）
	5月28日	入館者10万人達成
	7月14日	「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」開催 主催：広島市、長崎市（～27日）
	7月21日	九州・沖縄サミット首脳会合沖縄開催（～23日） アメリカ大統領「平和の礎」訪問
	3月23日	『沖縄県平和祈念資料館総合案内』発刊
	3月30日	『資料館学習の手引き』発刊
2001(平成13)年度	4月25日	入館者50万人達成
2002(平成14)年度	10月18日	入館者100万人達成
2003(平成15)年度	12月11日	入館者150万人達成
	1月10日	「ピース&ヒューマンライツフェスティバル」開催
2004(平成16)年度	7月24日	第1回ボランティア養成講座開始（～12月18日）平成18年度まで
2005(平成17)年度	4月7日	入館者200万人達成
2006(平成18)年度	4月12日	沖縄県新採用職員研修
	6月1日	入館者250万人達成
2006(平成18)年度	4月12日	沖縄県新採用職員研修
	6月1日	入館者250万人達成
2007(平成19)年度	6月21日	ミュージアムショップ開店（運営：沖縄県平和祈念財団）
	7月6日	入館者300万人達成
2008(平成20)年度	4月23日	八重山平和祈念館の正面展示パネル刷新
	10月9日	入館者350万人達成
2009(平成21)年度	5月19日	「沖縄・カンボジア『平和博物館』協力」事業（～2012年3月）
	11月18日	入館者400万人達成
	12月22日	常設展示のキャプション整備（英文表記追加）
	12月23日	常設展示室等映像機器等入れ替え（～3月31日）
	1月25日	特別収蔵庫空調機修繕入れ替え（～3月19日）
2010(平成22)年度	4月1日	収蔵品等整理業務委託（～H24年3月31日）
	7月15日	ピースメモリアルグッズ開発事業委託（～H24年3月31日）
	7月28日	皇太子行啓
	10月10日	沖縄県平和祈念資料館ジュニア版ガイドブック発刊
	10月30日	『詩集 写真の中の少年』を刊行
	2月3日	入館者450万人達成
2011(平成23)年度	10月20日	人数カウンター設置工事開始（～10月30日）
	3月6日	ノーベル科学賞受賞者鈴木章氏来館
	3月7日	合同企画展「2つの平和博物館の平和創造展」カンボジア国立トゥール・スレン虐殺博物館にて開催

2012(平成24)年度	5月28日	入館者500万人達成
	7月13日	「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」(～H24年3月27日)
	12月1日	沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業
2013(平成25)年度	10月29日	入館者550万人達成
	2月12日	キャロライン・ケネディ駐日アメリカ合衆国大使来館
2014(平成26)年度	2月7日	入館者600万人達成
2015(平成27)年度	10月10日	デービッド・イゲハワイ州知事来館
	10月16日	「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業 JICA理事長賞受賞
	3月1日	「沖縄のこころ」平和発信強化事業 多言語タブレット等運用開始
2016(平成28)年度	6月15日	入館者650万人達成
	7月	沖縄・カンボジア「博物館から発信する平和教育普及プロジェクト」事業 ※JICA 草の根技術協力事業(～2017年6月)
2017(平成29)年度	4月19日	李俊揆(イ ジュンギョ) 駐日大韓民特命全権大使視察
	11月9日	入館者700万人達成
	11月13日	ウィリアム・F・ハガティ駐日アメリカ合衆国大使視察
2018(平成30)年度	6月22日	韓国済州島済州道立美術館のギム・シュンギ館長一行来館
	7月20日	ハリール・アルムーサウイー駐日イラク大使視察
2019(令和1)年度	4月20日	入館者750万人達成
	12月28日	マハティール・ビン・モハマド首相(マレーシア)視察
2020(令和2)年度	10月17日	戦の語り部功労者に対する感謝状贈呈式
	12月10日	ミハイル Y. ガルージン 駐日ロシア連邦大使視察
2021(令和3)年度	7月29日	キャロリン・グラスマン広報・文化交流担当公使視察
2022(令和4)年度	4月27日	ラーム・エマニュエル駐日米国大使来館
	7月20日	入館者800万人達成
	9月23日	インガ M.W. ニーハマル駐日ノルウェー大使来館
	10月22日	天皇陛下・皇后陛下行幸啓
	12月1日	館内工事のため休館(～4月30日まで)

[主な企画展等、その他催し]

- 2000(平成12)年度 企画展「寄贈・寄託展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展
- 2001(平成13)年度 特別企画展「収蔵品展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会(2回)
- 2002(平成14)年度 企画展「占領下のこども文化展」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2003(平成15)年度 企画展「銃後を護れー戦時下のくらしと情報統制ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2004(平成16)年度 特別企画展「寄贈・寄託品展ー語りかける歴史の証言者たちー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2005(平成17)年度 特別企画展「沖縄戦と疎開ー引き裂かれた戦時下の家族ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(3回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2006(平成18)年度 特別企画展「沖縄戦における住民動員ー戦時下の根こそぎ動員と失われた明日ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2007(平成19)年度 特別企画展「沖縄戦と戦争遺跡ー戦世(イサユ)の真実を伝えるためにー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座(2回)
- 2008(平成20)年度 特別企画展「カンポーンクェヌクサーー沖縄戦後混乱から復興へー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座、新収蔵品展
- 2009(平成21)年度 特別企画展「イクサユーンワラビー戦時下の教育と子どもたちー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「ひびけ!! 平和創造のうた」、新収蔵品展
- 2010(平成22)年度 特別企画展『「沖縄のこころを世界へ」ー過去をつたえ、現在をみつめ、未来をひらくー』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「平和音楽祭2010」(20回)、新収蔵品展、「平和教育の公開授業とパブリックアクション」、「『NAHA マラソンの道』～走る道、逃げる道～」展、「子ども・未来・メッセージ展」(台湾・沖縄交流事業)
- 2011(平成23)年度 特別企画展『「アメリカ世(ユー)の沖縄」ー逞しくしたたかに生きてきたウチナンチューー』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、新収蔵品展、大城弘明写真展「沖縄・終わらない戦後」
- 2012(平成24)年度 特別企画展『沖縄人が見た戦世とアメリカ世』児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「絵本が語りつぐ戦世」展
- 2013(平成25)年度 特別企画展『ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座「ハワイ日系二世兵が見た戦争と沖縄」、新収蔵品展、「カンボジア光と影Ⅱ」展

2014(平成26)年度	特別企画展『南洋の群星が見た理想郷と戦』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会沖縄戦講座「日系二世ウチナンチュが見た戦中・戦後」、「平成26年度子や孫につなぐ平和のウムイ事業成果」報告展、企画展「絵本原画展及びオーサーズトーク」「日系米国人版戦争体験収録事業」報告展、「カンボジア光と影Ⅲ」展
2015(平成27)年度	特別企画展『ウチナンチュが見た 戦前・戦時下の台湾・フィリピン』児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回) 沖縄戦講座「東アジアの歴史と展望」、沖縄県平和祈念資料館講習会企画展「戦時中の手紙・手記から見る家族の絆」展、企画展「新収蔵品展(平成25年度・26年度寄贈)」、日本平和博物館会議「戦後70年共同展示」巡回展、沖縄県博物館協会総会・春の研修会、全県高等学校生徒代表者会議
2016(平成28)年度	特別企画展『ウチナンチュが見た満洲～『旧満州国』・『偽満洲国』～』 児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所、国外1カ所) 子ども・プロセス企画展(5回)、特別講座「“回想”～遙かなる大地、満洲～」 沖縄県平和祈念資料館講習会
2017(平成29)年度	特別企画展『戦世と沖縄芝居 ～夢に見る沖縄 元姿やししが～』 児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所、国外1カ所)、特別講座「戦世と沖縄文化ー文化財と芝居の視点からー」、企画展「新収蔵品展(平成27年度・28年度寄贈)」、新企画展「ギャラリー展」(5回)、子ども・プロセス企画展(5回) 沖縄県平和祈念資料館講習会、第24回日本平和博物館会議(当館開催)
2018(平成30)年度	特別企画展「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」 児童・生徒の平和メッセージ展(県内4カ所、国外1カ所) 特別講座「沖縄戦の教訓をどのように伝え、平和の創造へ繋げていくのか」 新企画展「ギャラリー展」(4回) 子ども・プロセス企画展(4回) 沖縄県平和祈念資料館講習会
2019(令和1)年度	特別展「武田美通・鉄の造形30作品展 戦死者たちからのメッセージ」 児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所) ギャラリー展(4回) 子ども・プロセス企画展(4回)
2020(令和2)年度	戦後75年事業「戦の語り部功労者感謝状贈呈式及びパネル展」 特別展「戦時中の少女たちがつづった『学級日誌』～滋賀県瀬田国民学校五年智組～1944-1945」 児童・生徒の平和メッセージ展(県内3カ所) ギャラリー展(4回) 子ども・プロセス企画展(4回) 沖縄県平和祈念資料館講習会
2021(令和3)年度	特別展「戦時体制下の国民の生活」～制限下の庶民の暮らし～ 企画展「新収蔵品展(令和元年度・2年度寄贈)」 児童・生徒の平和メッセージ展(県内4カ所) ギャラリー展(3回) 子ども・プロセス企画展(4回) 沖縄県平和祈念資料館講習会
2022(令和4)年度	特別企画展「アメリカ世の記憶～日本復帰50周年記念企画展～」 特別講座「島ぐるみ闘争から復帰まで」 児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所) ギャラリー展(2回) 子ども・プロセス企画展(3回) 沖縄県平和祈念資料館講習会

2 日誌（抄）2022（令和4）年度

- 4月5日 平和講話等利用説明会
4月27日 ラーム・エマニュエル駐日米国大使展示案内
5月5日 子どもの日親子ビデオ上映会
5月9日 島尻教育事務所中堅教諭等資質向上研修
5月12日 県立学校初任者研修
5月18日 第1回平和祈念資料館運営協議会
5月22日 大人のための平和学習（入門編）
5月25日 友の会フィールドワーク「首里城周辺の埋没した戦跡壕を巡る」
6月8日 第1回子ども・プロセス企画展（～7月10日）
「沖縄戦と住民の被害」
6月10日 幼稚園・認定こども園初任者研修（県総合教育センター）
6月23日 慰霊の日に係る常設展示室無料公開
" 慰霊の日ビデオ上映会
" 児童・生徒の平和メッセージ展（当館）
6月25日 友の会フィールドワーク「繁多川の戦跡を巡る」
6月26日 大人のための平和学習（入門編）
7月5日 インターンシップ（那覇商業高校～7月7日）
7月7日 島尻教育事務所初任者研修
7月12日 インターンシップ（沖縄水産高校～7月14日）
7月13日 児童・生徒の平和メッセージ展（石垣市）（～7月22日）
7月22日 第2回子ども・プロセス企画展（～8月31日）
「チャレンジ！夏休み自由研究 - 沖縄戦について調べてみよう -」
" 夏休み自由研究相談室【情報ライブラリー】（～8月31日）
7月24日 大学連携事業（当館及び平和祈念公園内）
7月25日 那覇教育事務所初任者及び中堅教諭等資質向上研修
7月29日 児童・生徒の平和メッセージ展（宮古島市）（～8月7日）
7月31日 大人のための平和学習（入門編）
" 夏休み子ども教室【情報ライブラリー】
8月6日 平和アニメ上映会①
8月7日 親子で学ぶ沖縄戦（講話・常設展示室見学）
8月8日 親子平和フィールドワーク（平和祈念公園内）
8月9日 平和アニメ上映会①
8月17日 養護教諭初任者研修（県総合教育センター）
8月20日 児童・生徒の平和メッセージ表彰式（当館）展示会（～8月30日）
8月22日 平和祈念資料館運営協議会（八重山部会）
8月23日 学芸員実習【沖国大生2名】（～8月31日）
8月28日 大人のための平和学習（入門編）
9月8日 児童・生徒の平和メッセージ展（名護市）（～9月17日）
9月10日 第1回ギャラリー展（～10/14）
「戦争体験者からの平和メッセージ」
9月15日 第3回子ども・プロセス企画展（～11月30日）
「太平洋戦争と少年兵」
9月23日 インガ M.W. ニーハマル駐日ノルウェー大使来館
9月28日 児童・生徒の平和メッセージ展（那覇市）（～10月10日）
10月3日 特別企画展（～11月30日）
「アメリカ世の記憶 ～日本復帰50周年記念企画展～」
10月4日 インターンシップ（小禄高校～10月6日）

- 10月13日 JICA 日系社会研修
- 10月22日 天皇陛下・皇后陛下行幸啓
- 10月30日 大人のための平和学習（入門編）
- 11月7日 平和への思い開会式・共同学習（くくる糸満他～11月11日）
- 11月9日 インターンシップ（豊見城南高校～11月11日）
- 11月12日 第17回 沖縄県平和祈念資料館友の会定期総会
平和学習会「しまくとぅばで語る戦世」
- 〃 平和への思いシンポジウム・閉会式（八汐荘）
- 11月23日 特別講座「島ぐるみ闘争から復帰まで」
- 11月24日 日本平和博物館会議（オンライン会議）
- 11月30日 沖縄県平和祈念資料館講習会
- 12月1日 館内工事のため休館（～4月30日まで）
- 〃 防災訓練（当館）
- 12月29日 ～1月3日（休館日）
- 1月24日 JICA 国別研修
「コロンビア国の平和教育における現職教員研修制度強化」
- 1月26日 沖縄県地域史協議会研修会（Zoom）
- 2月17日 第2回平和祈念資料館運営協議会



沖縄県平和祈念資料館外観と平和の火



沖縄県平和祈念資料館の建物のかたちは、沖縄の伝統的な赤瓦屋根の集落をイメージしたものです。

3 施設

(1) 平和祈念資料館の役割

ア 全戦没者への追悼と恒久平和の祈念

沖縄戦の実相と教訓を継承し、沖縄戦で亡くなられた 20 万余の国内外のすべての人々に追悼の意を表すとともに、世界の恒久平和を祈念する場とする。

イ 平和の発信と創造

沖縄の先達から受け継いだ「沖縄のこころ」を原点に、県民が主体的かつ積極的に平和の創造に関わり、平和を発信する拠点施設とする。

ウ 平和教育、平和交流及び人材育成

平和を求める人々の積極的な参加と交流を促進する各種の平和教育、平和交流等の活動を展開する。また、平和学習等に必要の人材育成を支援する。

エ 平和のネットワークの構築

平和をテーマとした内外の関連施設を中核として、学校、図書館等の公共の施設等と平和ネットワークを構築し、情報交換や平和研究等の人的交流を促進し、平和活動を支援する。

オ 平和のデータベースと調査研究

沖縄戦や平和に関する資料・情報及び調査研究の成果等をデータベースとして構築し、県民をはじめ、広く内外に提供するとともに、展示や事業活動を展開するための調査研究を実施するなど平和活動等に寄与する。

(2) 建設概要

ア 事業期間 平成 5 年度～平成 11 年度

イ 事業規模 地下 1 階地上 2 階 RC 造り

敷地面積 約 12,808 平方メートル

延床面積 10,179 平方メートル

ウ 総事業費 約 7,291 百万円 (県債 6,510、施設整備基金 139、一般 642)

工事費 4,900 百万円

設計費 155 "

展示工事費 1,535 "

展示設計費 126 "

情報システム 171 "

その他 404 "

エ 主な施設

常設展示室 (1～5 室) 1,360 平方メートル

企画展示室 255 "

子ども・プロセス展示室 518 "

情報ライブラリー 472 "

平和祈念ホール 245 "

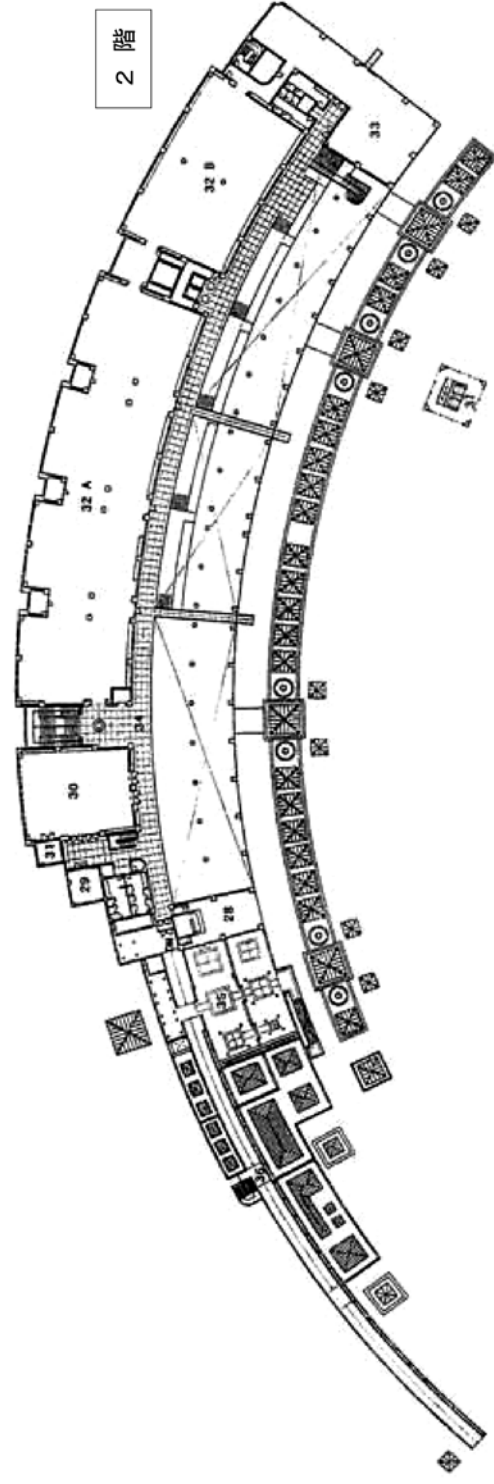
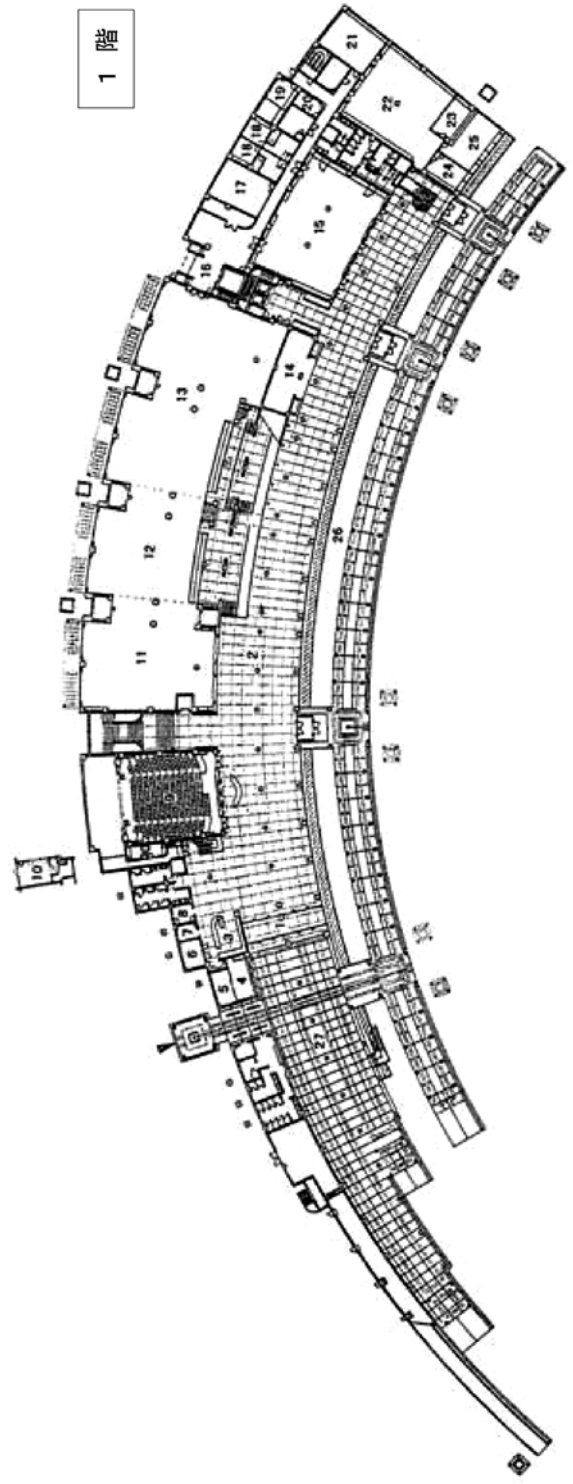
海と礎の回廊 256 "

会議室 200 "

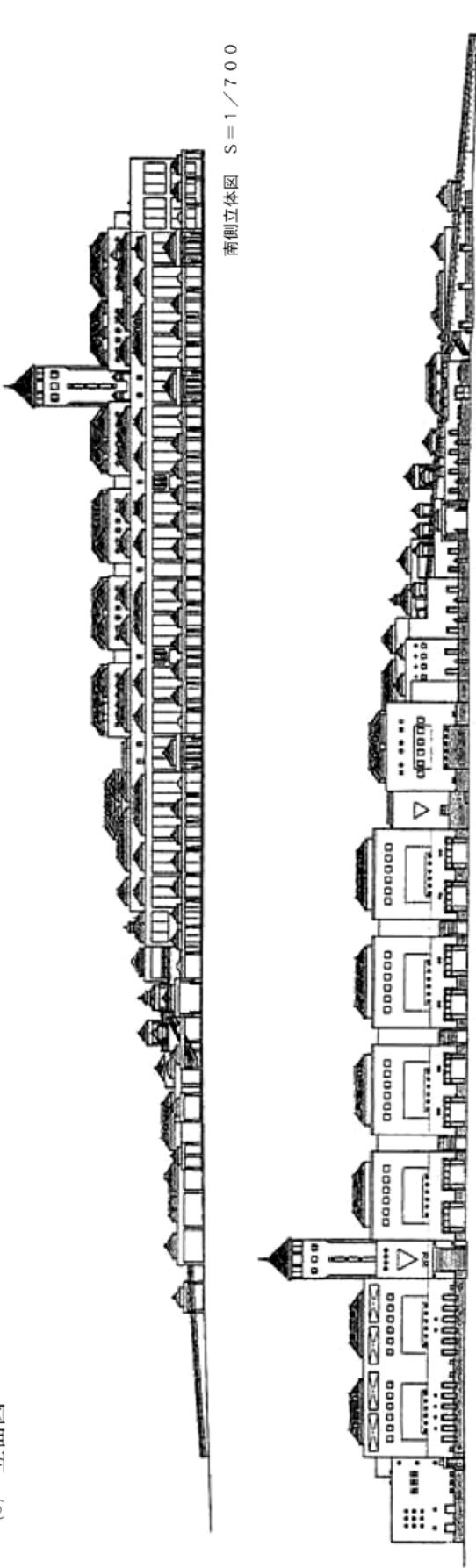
一般収蔵庫 1,201 (1F、2F) "

特別収蔵庫 281 (1F、2F) "

- 1 エントランス
 - 2 ホール(1510㎡)
 - 3 (調整中:旧ミュージアムショップ)(28㎡)
 - 4 事務スペース・倉庫
 - 5 ホランティア室
 - 6 授乳・救護室
 - 7 自販機室
 - 8 ロッカー・自販機室
 - 9 平和祈念ホール(245㎡・231席)
 - 10 楽屋・調整室
 - 11 子供展示室(285㎡)
 - 12 プロセス展示室(233㎡)
 - 13 情報ライブラリー(472㎡)
 - 14 アルコーブ
 - 15 企画展示室(255㎡)
 - 16 荷解さ室
 - 17 情報処理室(49㎡)
 - 18 職員休憩室
 - 19 守衛室
 - 20 給湯室
 - 21 事務会議室(52㎡)
 - 22 事務学芸員室(158㎡)
 - 23 小会議室
 - 24 館長室
 - 25 応接室
 - 26 中庭
 - 27 ピロティー
- 1階 s=1/700
- 28 喫茶室(86㎡)
 - 29 事務スペース・倉庫
 - 30 会議研修室(200㎡・100席)
 - 31 調整室
 - 32A 常設展示室1~4(957㎡)
 - 32B 常設展示室5(403㎡)
 - 33 海と礎の回廊(256㎡)
 - 34 キャラリー(373㎡)
 - 35 テラス
 - 36 外部スロープ
 - 37 展望室
- 2階 s=1/700

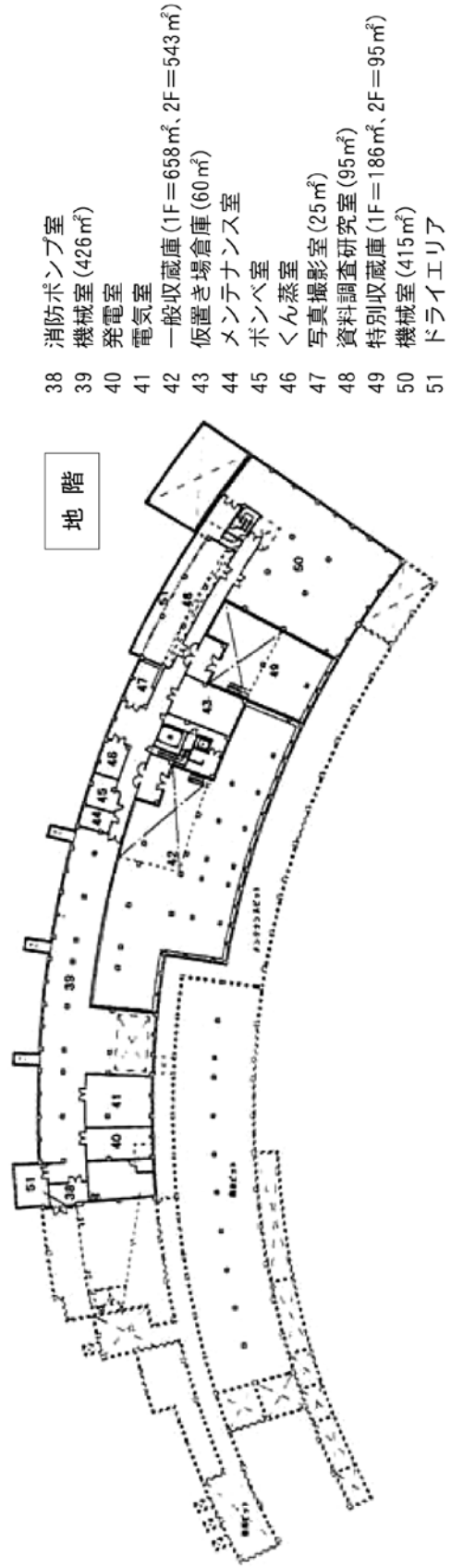


(3) 立面図



北側立面図 S=1/700

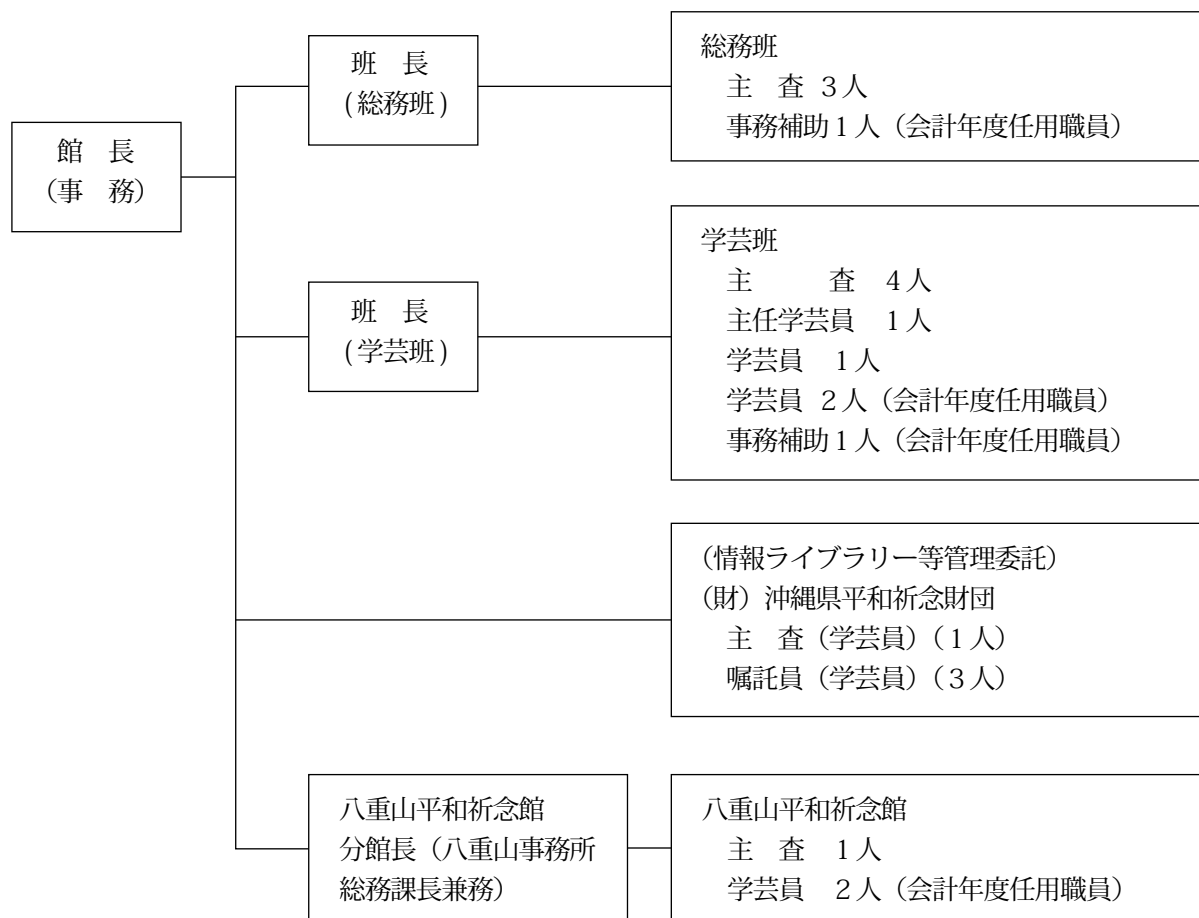
(4) 平面図



地階 s=1/700

4 組織

(1) 機構 2022（令和4）年4月1日現在



*その他ビル管理会社の常駐委託職員

受付 (3人)、警備 (2人)、清掃 (2人)、機械設備管理 (1人)

(2) 職員構成 (令和4年4月1日現在)

職名	氏名	担当業務
館長	前川 早由利	資料館業務の総理に関すること

総務班

凡例：主：主担当 副：副担当 共：共通

職名	氏名	担当業務
<p>班長 (出納員)</p>	<p>平田 淳</p>	<p>総務班業務の総括に関する事項 平和祈念資料館中長期計画の進捗に関する事項 個別施設計画の進捗に関する事項 令和4年度改修工事に関する事項 予算、決算、監査の総括に関する事項 組織・定数に関する事項 財産管理の総括に関する事項（財産の維持、保全補修等管理全般、 金庫の鍵、公印保管等） 消防訓練、防災・緊急時対応に関する事項 労働・安全衛生に関する事項 議会関係に関する事項 委託業者の監督調整等に関する対外的事項に関する事項 運営協議会に関する事項（公募に関すること） 土日祝日勤務割り振りに関する事項 総合案内（増刷）等許諾契約に関する事項 その他庶務会計に関する事項</p>
<p>主査</p>	<p>安延 亮子</p>	<p>給与の支払、諸手当の認定、任用等服務に関する事項 文書の收受、保管に関する事項 クリーンアップ作戦に関する事項 団体入館及び会議室等予約に関する事項 電子申請予約への対応に関する事項（主） 出勤簿、超勤命令簿等の管理に関する事項 需用費、役務費、使用料及び賃借料等の執行に関する事項 旅費、報酬、謝金に関する事項 修繕料に関する事項（消防設備・空調設備を除く） 決算に関する事項 消耗品、切手等の受払に関する事項 雑入に関する事項 共済事務に関する事項 職員の健康管理に関する事項 その他庶務会計に関する事項</p>
<p>主査</p>	<p>松本 章一</p>	<p>備品の執行管理に関する事項 公有財産に関する事項 団体入館予約のサインージへの入力事務 音響・映像機器（音声が入る）の管理に関する事項 リーフレットの印刷・送付に関する事項 電子申請予約への対応に関する事項（副） 拾得物に関する事項 その他庶務会計に関する事項</p>

職名	氏名	担当業務
主査	与那嶺 一史	出納事務に関する事項（日計表の確認含む） 委託料（主） 個別施設計画に関する事項（R4 工事含む） 工事請負費（緊急修繕）に関する事項 修繕料（消防設備・空調設備）に関する事項 施設・設備、財産の使用許可業務に関する事項 団体入館予約及び会議室等予約に関する事項 電子申請予約への対応に関する事項（副） 歳入事務（観覧料等）に関する事項（八重山平和祈念館含む） 入館者の日報・月報等統計業務に関する事項 窓口管理（受付）システムの更新に関する事項 その他庶務・会計に関する事項
会計年度 任用職員 (事務補助)	田中 功	電話・来客対応に関する事項 団体予約・会議室等予約の受付に関する事項 電子申請予約の受付に関する事項 会議室・ホールの使用許可書発行の補助に関する事項 入館者の日報・月報等統計業務に関する事項 その他総務班の事務補助に関する事項

学芸班

凡例：主：主担当 副：副担当 共：共通

職名	氏名	担当業務
班長 (総括)	玉城 寿史	<p>学芸業務の総括及び学芸業務に関する事項 (主) 事業計画及び展示活動事業執行の統括に関する事項 (主) 予算・決算・議会对応の総括に関する事項 (学芸的事項) (主) 学芸員人材育成事業の総括に関する事項 (主) 運営協議会総括に関する事項 (主) 要人・議員団・その他公的研修等案内及び割り振り (主) 沖縄県平和祈念資料館中長期計画に関する事項 (主) 常設展示室の展示内容更新に関する事項 (主) 学芸員実習生の受け入れ等に関する事項 (主) 消防防災に関する事項 (副) 「平和への思い」発信・交流・継承事業 (副) 「戦後の戦争体験者証言映像収録・公開事業」(副) 語り継ぎ養成に関する事項 (副) 平和講話に関する事項 (共) 沖縄戦・平和教育に関わる記事の収集等に関する事項 (共)</p>
主査	スナール 静華	<p>「戦後の証言映像収録・公開事業」(主) 展示物等の撮影許可・著作権申請等及びマニュアル作成に関する事項 (主) 常設展示室(第5及び屋外)の管理運営に関する事項 (主) 英語に関する業務 (主) 平和講話に関する事項 (共) 沖縄戦・平和教育に関わる記事の収集等に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共)</p>
主査	新垣 光史	<p>児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項 (主) 質問照会の回答担当に関する事項 (主) 少年院連携事業に関する事項 (主) 資料館講習会の企画等に関する事項 (主) 情報化推進に関する事項 (主) JICA、国外関係機関等との連携に関する事項 (主) 常設展示(子どもプラザ展示室)の管理運営に関する事項 (主) 運営協議会総括に関する事項 (副) 平和講話に関する事項 (共) 沖縄戦・平和教育に関わる記事の収集等に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共)</p>
主査	伊波 郁	<p>「平和の思い」発信・交流・継承事業 (主) 広報に関する業務 (主) 観覧者アンケート統計、分析、月ごとの総括に関する事項 (主) キャリア教育(職場体験・インターンシップ)に関する事項 (主) 常設展示室(第1・2室)の管理運営に関する事項 (主) 語り継ぎ養成に関する事項 (主) 特別企画展の企画・立案に関する事項 (副) 平和講話に関する事項 (共) 沖縄戦・平和教育に関わる記事の収集等に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共) 英語に関する業務 (副)</p>

職名	氏名	担当業務
主査	浦添 充志	証言映像・収蔵資料の貸出に関する事項（主） 県内小中高校生への平和講話等の対応に関する事項（主） 夏休み親子平和学習に関する事項（主） 大学との連携模索に関する事項（主） 収蔵品展（主）※隔年実施で次回は令和7年度予定 千羽鶴の受理に関する事項（主） 離島・遠隔地講師派遣事業に関する事項（主） 常設展示（第3・4室）の管理に関する事項（主） 児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項（副） 情報化推進に関する事項（副） 平和講話に関する事項（共） 沖縄戦・平和教育に関わる記事の収集等に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共）
学芸員	仲程 勝哉	特別企画展の企画・立案に関する事項（主） 寄贈資料の受理、整理保存に関する事項（主） 収蔵資料の管理に関する事項（主） 特別講座に関する事項（主） 友の会活動の支援・推進に関する事項（主） 日本平和博物館会議、沖縄県博物館協会、沖縄県地域史協会（主） 収蔵庫の燻蒸・消毒の実施に関する事項（副） 収蔵品展（副）※隔年実施で次回は令和7年度予定 沖縄戦・平和教育に関わる記事の収集等に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共）
主査 （再） （フルタイム）	久部良 和子	「資料館だより」の編集・発行に関する事項（主） 「年報」の発行に関する事項（主） 収蔵庫の燻蒸・消毒の実施に関する事項（主） こどもの日・慰霊の日のアニメ上映会に関する事項（主） 八重山平和資料館との連携に関する事項（主） 館内広報に関する業務（主） 学芸員実習生の受け入れ等に関する事項（副） 「戦後の証言映像収録・公開事業」（副） 沖縄戦・平和教育に関わる記事の収集等に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共）
会計年度 任用職員 （学芸員）	工藤 紗也香 仲地 華	ギャラリー展に関する事項（主） 展示活動の企画・準備・実施に関する事項（副） 資料・収蔵品の登録・整理・管理に関する事項 HPの更新に関する事項 質問照会の回答担当に関する事項（副） その他学芸業務の補助に関する事項 ・館内事業案内掲示など広報等に関する事項 ・沖縄戦・平和教育に関わる記事の収集等に関する事項 その他上司の命に関する事項
会計年度 任用職員 （事務補助）	水野 陽	学芸班業務全般の補助 電話・来客対応等

委 託 (沖縄県平和祈念財団)

職 名	氏 名	担 当 業 務
主 査 (学芸員)	平田 守	学芸員人材育成事業研修 (指導員) 施設の設備の管理 施設の図書資料等の管理 子ども・プロセス企画展の開催 施設の利用促進 沖縄戦に関するレファレンス業務 資料館が企画する講演会・講習会等の講師 特別企画展に関する事項全般への指導助言 収蔵資料の登録、整理に関する指導助言
嘱託員 (学芸員)	狩俣 友美 (渡眞利 耕平) 神尾 史扇 村山 由生	情報ライブラリーの管理運営に関する事項 子ども・プロセス展示室の管理に関する事項 収蔵資料の整理に関する事項

八重山平和祈念館

職 名	氏 名	担 当 業 務
分館長	笠原 宗一郎	分館の事務を処理し、所属職員を指揮監督すること。
主 査	米原 明子	館の施設、備品等の維持管理に関する事項 契約事務、支出事務に関する事項 資料の寄贈、寄託関係に関する手続き事務に関する事項 消防訓練、防災・緊急時対応に関する事項 施設・設備、財産の使用・貸出等の手続きに関する事項 企画展に関する事項 (企画立案、資料収集、広報、展示等) 運営協議会・八重山部会に関する事項 教員向け説明会に関する事項 要人 (大臣、国会議員等) の来館時対応に関する事項 その他、館の運営及び指示された事項
会計年度 任用職員 (学芸員)	井出 麻里衣 田盛 敦子	展示物及び資料の収集、保存及び管理に関する事項 展示物及び資料の説明に関する事項 館の施設及び備品等の維持管理に関する事項 観覧料の収納事務に関する事項 その他八重山平和祈念館の管理運営に関する事項

5 令和4年度歳入歳出決算（本館及び分館）

歳入

単位：円

	常設展示室	ホール、会議室等使用料	ミュージアムショップ等	不用品売払代	合計
資料館 観覧料	23,388,945	0	0	0	23,388,945
本館	23,110,690				23,110,690
分館	278,255				278,255
資料館 使用料	0	394,410	0	0	394,410
本館		394,410			394,410
分館					0
建物 使用料	0	0	32,118	0	32,118
本館			32,118		32,118
分館					0
建物貸付料（本館）				0	0
寄附金					0
雑入（本館）			187,515		187,515
合計	23,388,945	394,410	219,633	0	24,002,988
本館	23,110,690	394,410	219,633	0	23,724,733
分館	278,255	0	0	0	278,255

歳出

単位：円

科目	管理運営事業	展示活動事業	「平和への思い」発信・交流・継承事業	学芸員人材育成事業	合計
報酬	1,380,480	8,366,762	0	0	9,747,242
本館	1,380,480	4,989,002			6,369,482
分館		3,377,760			3,377,760
職員手当	195,657	1,648,385	0	0	1,844,042
本館	195,657	993,407			1,189,064
分館		654,978			654,978
報償費	70,900				70,900
旅費	361,740	613,760	8,880	0	984,380
本館	267,900	550,110	8,880		826,890
分館	93,840	63,650			157,490
需用費	34,923,373	2,128,639	0	0	37,052,012
本館	33,386,282	2,128,639			35,514,921
分館	1,537,091	0			1,537,091
役務費	1,249,080	0	0	0	1,249,080
本館	1,152,037				1,152,037
分館	97,043				97,043
委託料	61,496,069	20,237,479	26,426,300	2,204,788	110,364,636
本館	60,168,545	20,237,479	26,426,300	2,204,788	109,037,112
分館	1,327,524				1,327,524
使用料及び賃借料	4,443,830	0	0	0	4,443,830
本館	4,384,430				4,384,430
分館	59,400				59,400
工事請負費	0				0
備品購入費	933,828				933,828
本館	933,828				933,828
分館	0				0
負担金補助及び交付金	20,000				20,000
合計	105,074,957	32,995,025	26,435,180	2,204,788	166,709,950
本館	101,960,059	28,898,637	26,435,180	2,204,788	159,498,664
分館	3,114,898	4,096,388	0	0	7,211,286

6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会

(1) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会委員名簿

任期：2022（令和4）年5月18日～2024（令和6）年5月17日

区分	役職名	氏名	現職名
教育関係者	会長	久保田 暁	沖縄県平和祈念資料館友の会会長
学識経験者	副会長	里井 洋一	琉球大学教育学部 名誉教授
学識経験者	委員	下地 芳郎	沖縄観光コンベンションビューロー会長
	委員	安谷屋 幸勇	沖縄県平和祈念財団評議員
	委員	前泊 克美	ひめゆり平和祈念資料館学芸員
	委員	大仲 るみ子	多文化ネットワーク f u ふ！設立代表者
教育関係者	委員	田里 一寿	宜野座村教育委員会
	委員	船附 初江	社会福祉法人理事長（保育園園長）
	委員	平良 正栄	元豊見城市教育委員会指導主事
行政経験者	委員	大城 貴代子	公益財団法人おきなわ女性財団理事長
	委員	玉城 律子	元平和援護・男女共同参画課長
公募	委員	出井 香	自営業（元公立小学校教諭）

(2) 八重山平和祈念館部会委員名簿

代表区分	職名	氏名	現職名
学識関係者	部会長	里井 洋一	琉球大学教育学部 名誉教授
教育関係者	委員	平良 正栄	元豊見城市教育委員会指導主事
行政経験者	委員	玉城 律子	元平和援護・男女共同参画課長

(3) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会活動

1. 2022（令和4）年度 第1回運営協議会

日時：2022（令和4）年5月18日（水）14:00～16:00

場所：平和祈念資料館2階 大会議室

内容：(1) 委嘱状交付

(2) 役員等の選出

(3) 議題：① 沖縄県平和祈念資料館 2021（令和3）年度事業報告

② 沖縄県平和祈念資料館 2022（令和4）年度事業計画

③ 八重山平和祈念館 2021（令和3）年度事業報告

④ 八重山平和祈念館 2022（令和4）年度事業計画

(4) 報告：令和3年度沖縄県平和祈念資料館の入館状況



第1回運営協議会の様子

2. 2022（令和4）年度 第2回運営協議会

日時：2023（令和5）年2月17日（金）14:00～16:00

場所：シャボン玉石けん くくる糸満 第3会議室

内容：(1) 議題：① 沖縄県平和祈念資料館 2022（令和4）年度事業報告
② 沖縄県平和祈念資料館 2023（令和5）年度事業計画（案）
③ 八重山平和祈念館 2022（令和4）年度事業報告
④ 八重山平和祈念館 2023（令和5）年度事業計画（案）
(2) 報告：令和3年度沖縄県平和祈念資料館の入館状況
八重山部会報告
語り継ぎ部ボランティア養成講座



第2回運営協議会の様子

(4) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会 八重山部会活動

1. 2022（令和4）年度 八重山祈念館部会

日時：2022（令和4）年8月22日（月）13:30～16:00

場所：八重山平和祈念館

内容：(1) 議題：① 展示内容の変更について
② その他 意見交換



八重山部会の様子



展示室案内の様子

7 令和4年度改修工事について

(1) 改修工事の必要性について

平和祈念資料館は平成12年の開館から、築22年の経過に伴う老朽化に加え、沿岸部に立地することによる建物や機械・設備の塩害、風害による劣化が激しく、建物内部の雨漏りをはじめ、外壁等タイルの剥がれ、赤屋根瓦の劣化など修繕を要する状況となっていた。

施設の建物・設備等の計画的な修繕を行い施設の安全性の確保と長寿命化を図るため、2020（令和2）年11月に「沖縄県平和祈念資料館管理・更新計画」を策定しており、これに基づき、2022（令和4）年度及び2023（令和5）年度に大規模な改修工事を実施することとする。

なお、令和4年12月1日から令和5年4月30日までの期間、大規模な改修工事を実施するため臨時休館としている。

(2) 改修工事の概要（令和4年度～令和5年度）

- ア 工事期間 2022（令和4）年7月～2023（令和5）年5月
- イ 臨時休館 2022（令和4）年12月1日～2023（令和5）年4月30日（※館内工事実施期間）
- ウ 工事内容

- ①建築工事：赤屋根瓦の劣化箇所、外壁等タイルの剥がれ、雨漏り、屋外手すりのサビ等の劣化箇所、建物出入口等の建具取替、屋外展示アクリルパネル取替等
- ②機械設備：空調設備、中央監視装置、浄化槽設備の更新等
- ③電気設備：非常用発電機の更新、常設展示室・ホール・地下収蔵庫等の照明設備、ホール・大会議室の音響・映像機器の更新等

- エ 工事費等総額 667,589千円（管財課計上（決算））
 - 建築工事 165,120千円（令和4年度）
 - （監理委託 3,024千円）
 - （工事費 162,096千円）
 - 設備工事 502,469千円（令和4年度～令和5年度：債務負担行為）
 - （監理委託 3,949千円）
 - （工事費 498,520千円）

※債務負担行為の内容

- ①2022（令和4）年度 197,425千円
（監理委託 1,185千円、工事費 196,240千円）
- ②2023（令和5）年度 305,044千円
（監理委託 2,764千円、工事費 302,280千円）



改修工事風景（北側）



改修工事風景（南側）

8 施設の改修等の状況

これまでの改修等の状況

年度	事業内容等	事業費 (千円)
2009(平成21)年度	屋根瓦修繕工事	19,453
"	非常用バッテリー等修繕	5,565
"	特別収蔵庫空調機	2,048
"	その他修繕	694
2010(平成22)年度	外壁等改修工事	38,870
"	その他修繕	1,341
2011(平成23)年度	空調機室外機9台	546
"	その他修繕	2,072
2012(平成24)年度	全自動循環及び全自動活性炭ろ過装置ろ材取替	1,995
"	その他修繕	1,860
2013(平成25)年度	一般収蔵庫の恒温恒湿空調機修繕	4,935
"	電話交換機修繕	945
"	その他修繕	1,898
2014(平成26)年度	その他修繕	1,710
2015(平成27)年度	映像機器修繕	924
"	自動制御設備不具合修繕	864
"	石材修繕	1,782
"	展示室スクリーン・プロジェクター修繕	1,696
"	その他修繕	1,163
2016(平成28)年度	浄化槽修繕	904
"	中央監視修繕	2,376
"	その他修繕	3,035
2017(平成29)年度	給水管修繕	994
"	屋上排気口、天井ダクト修繕	1,815
"	突風被害緊急対応	1,553
"	二次冷水管保温材修繕(地下機械室)	756
"	汚水処理施設微細目スクリーン修繕	756
"	その他修繕	1,691
2018(平成30)年度	排煙ダクト修繕	1,782
"	突風被害箇所及び関連場所補修工事	15,358
"	非常用発電機装置整備修繕	2,484
"	中水用圧力タンクポンプユニット取替修繕	2,754
"	直流電源装置用蓄電池更新取替	4,860
"	天井補修2箇所(台風被害)	676
"	送風機異音修繕(空調)	929
"	水中ポンプ取替	1,603
"	その他修繕	3,597
2019(令和元)年度	1階ガラス壁及び屋根瓦補修工事	101,183
"	発電機起動用蓄電池修繕	957
"	消防設備修繕	671
"	1F多目的ホール前トイレ排気ファン交換修繕	583
"	2F東側トイレ排気ファン交換修繕	583
"	その他修繕	1,620
2020(令和2)年度	各トイレ排気ファン交換修繕	1,375
"	地下オイルタンク埋設配管改修工事	2,200
"	中央監視装置リモートコントローラ3系統修繕	2,497

年度	事業内容等	事業費 (千円)
〃	自動制御設備機器電磁流量計修繕	1,760
〃	高圧引込埋設配管漏水修繕工事	2,035
〃	1階大ホール部分NO1系統AHU-3送風機修繕	528
〃	エレベーター1・2号機各種部品取替修繕	827
〃	東側事務所窓9箇所台風対策雨戸設置	1,210
〃	消防設備修繕	2,497
〃	電話機器一式修繕工事	2,491
〃	防災設備更新工事	12,595
〃	その他修繕	1,695
2021(令和3)年度	差圧発信器修繕	1,278
〃	リモートコントローラ4系統修繕	3,630
〃	照明制御盤更新工事	5,170
〃	消防設備修繕	1,278
〃	上水加圧給水ポンプ更新工事	3,190
〃	直流電源装置更新工事	5,148
〃	空調機予防保全工事	2,496
〃	消防設備修繕	770
〃	海と礎の回廊窓フィルム取替修繕	661
〃	その他修繕	3,007
2022(令和4)年度	デジタルサイネージ修繕	1,804
〃	誘導灯及び誘導標識修繕	979
〃	キュービクル内換気扇取替	737
〃	常設展示室タブレット端末バッテリー交換	524
〃	消火器取替及び誘導灯更新	550
〃	排煙設備及び防排煙制御設備修繕工事	2,860
〃	貯留槽及び機械室界壁修繕工事	4,598
〃	令和4年度平和祈念資料館改修工事(建築)	57,345
〃	令和4年度平和祈念資料館改修工事(空調)	109,428
〃	令和4年度平和祈念資料館改修工事(衛生)	17,600
〃	令和4年度平和祈念資料館改修工事(電気)	69,212
〃	その他修繕	2,835
事業費合計		570,691

※ 50万円以上の修繕を記載し、それ以下の修繕は「その他修繕」としてまとめた。

9 2022（令和4年度）に来館された方々

天皇陛下・皇后陛下のご来館（2022年10月22日）



天皇・皇后両陛下が、10月22日に即位後初めて沖縄を訪問されました。両陛下は、糸満市摩文仁の国立戦没者墓苑で、沖縄戦で亡くなられた方々に供花をされ、平和の礎などを訪問された後、沖縄県平和祈念資料館にもご来館されました。陛下のご来館は、2010（平成22）年に皇太子殿下として初めてご来館されて以来2回目で、皇后さまは、初めてのご来館となりました。両陛下は、沖縄戦の展示において、砲弾などで犠牲となった住民の数々の写真や、沖縄戦を体験した住民の証言などをお読みになられ、「大変痛ましい。」と幾度となく感想を述べられました。また、沖縄戦に関する貴重な資料や証言等について、「こうした資料を収集し、後世に伝えようとしてきた方々の努力に敬意を表したい。」とも述べられました。終始、沖縄戦で犠牲になった方々を悼みつつ、資料を熱心にご覧になられ、沖縄が辿ってきた苦難の歴史に思いを馳せられておられるご様子でした。

慰霊の日：来館された方々の様子①（2022年6月23日）

戦後77年目となる6月23日慰霊の日（木）には、沖縄県主催の沖縄全戦没者追悼式が行われました。毎年この日は、常設展示室の観覧を無料開放し、開館を午後6時まで1時間延長しています。今年度は、4,179人が来館し、常設展示室には2,697人の観覧者が入場しました。



展示物を見る家族



ビデオ上映会の様子



子ども・プロセス企画展

駐日アメリカ大使のご来館（4月27日）



献花をするラム・エマニュエル駐日大使

アメリカのラム・エマニュエル駐日大使とエイミー夫人が、当資料館と平和の礎を訪問された後、国立戦没者墓苑に献花されました。

駐日ノルウェー大使のご来館（9月23日）



解説を聞くインガ M.W. ニーハマル大使

ノルウェーのインガ M.W. ニーハマル大使（右から3番目）とトーレ夫君（右から2番目）が、平和の礎を訪れた後、当資料館へ来館されました。

入館者 800 万人達成（7月20日）



開館以来、県内外から多くの皆様が当資料館を訪れています。7月20日（水）には、愛知県から来館された小嶋康孝さんとご家族が800万人目の来館者となりました。小嶋さんは、「光栄だ。子どもたちに平和の心を持ってもらいたく立ち寄りました。未来の世界平和の一員になれように子どもたちには期待している。」と思いを話してくれました。

慰霊の日：来館された方々の様子①（2022年6月23日）

その他館内では、「児童・生徒の平和メッセージ展」、「第1回子ども・プロセス企画展 沖縄戦と住民の被害」、「慰霊の日ビデオ上映会」、ギャラリー展「あの日の沖縄ー戦後編ー」と多彩なイベントが開催され、平和への思いを新たにする日となりました。



観覧の様子（第1展示室）



証言を読む親子（第4展示室）



観覧の様子（第5展示室）

Ⅱ 調査研究事業

1 第29回日本平和博物館会議

日本平和博物館会議は、戦争の惨禍を人々に伝え平和の実現に資することを目的とする博物館等が協力して調査・研究等を行うことにより、相互の連携を図りつつ平和推進事業の一層の発展を期することを目的として、平成6年に設立された。年1回の定例会開催のほか、研修や共同事業を行っている。

令和4年度は、埼玉県平和資料館が事務局を担当した。11月24日(木)に同館にて開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、昨年度に引き続き対面での開催は見送り、オンラインで討議になった。

- (1) 期間：2022（令和4年）11月24日（木）
- (2) 開催場所：オンライン討議
- (3) 参加博物館（10館）
 - ①埼玉県平和資料館【埼玉県】
 - ②川崎市平和館【神奈川県】
 - ③立命館大学国際平和ミュージアム【京都府】
 - ④ピースおおさか【大阪府】
 - ⑤広島平和記念資料館【広島県】
 - ⑥長崎原爆資料館【長崎県】
 - ⑦沖縄県平和祈念資料館【沖縄県】
 - ⑧神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）【神奈川県】
 - ⑨ひめゆり平和祈念資料館【沖縄県】
 - ⑩対馬丸記念館【沖縄県】
- (4) 開催までの流れ
 - 8月11日 開催館より開催方法についてのアンケートを各館に送信
 - 9月27日 開催館より開催方法についてのアンケートの集計結果を各館に送信
【書面0 / 通常通り4 / 書面とオンライン5 / その他1（通常開催が難しい場合は書面とオンライン）】開催通知（書面とオンライン）、参加申込書、協議題・聴取事項アンケートを各館に送信
 - 10月20日 参加申込書提出締切、協議題・聴取事項アンケート回答締切
 - 11月1日 協議題・聴取事項、入館者数調査の回答依頼
 - 11月7日 協議題・聴取事項、入館者数調査の回答締切
 - 11月24日 第29回日本博物館会議開催（オンライン）
- (5) 定例会（オンライン会議）次第
 - 令和4年11月24日（木）定例会
 - 受付 13:30～14:00（於：Zoom）
 - 定例会 14:00～15:30（於：Zoom）
 - ア 事務局館挨拶 埼玉県県民生活部県民広聴課長 小田恵美
 - イ Zoom 機能説明
 - ウ 出席館紹介
 - エ 議長選出
 - オ 議事
 - 協議題1 「成果物の収蔵スペースへの影響から見た館外団体との協同事業の持ち方について」
 - 協議題2 「撮影・インタビューの対応について」
 - 聴取事項について報告
 - (ア) 「映像とAIを活用した語り部継承プロジェクトについて」
株式会社シルバコンパス 代表 安田晴彦氏
 - (イ) 桶川飛行学校平和祈念館（埼玉県桶川市）について
桶川飛行学校平和祈念館 館長 関根訪氏
主幹 関根真氏
 - (ウ) 立命館大学国際平和ミュージアム映像制作への協力について
立命館大学国際平和ミュージアム 学芸員 兼清順子氏
 - 次回開催館の紹介

Ⅲ 展示企画事業

1 常設展

(1) 展示構成

常設展示は1階と2階の2つのゾーンで構成されている。

〔歴史を体験するゾーン〕

2階の「歴史を体験するゾーン」は、来館者が沖縄戦及び戦後の歴史的体験をとおして平和の尊さや戦争の悲惨さを知り、この歴史的教訓を次の世代へと継承していくねらいがあり、5つの展示室で構成される。

第1展示室「沖縄戦への道」

沖縄が日本の国家体制に組み込まれていく過程を琉球処分からアジア・太平洋戦争末期の沖縄戦前夜までの映像や写真パネルで解説する。

第2展示室「住民の見た沖縄戦－鉄の暴風－」

およそ3ヶ月に及んだ地上戦の経緯と住民犠牲の諸相について、映像と造形物であらわす。被弾した旧沖縄県庁の門柱や糸満市に現存する水タンクなど、破壊し尽くされ、瓦礫と化した街のようすを原寸で再現した造形物が沖縄戦の凄まじさを物語る。

第3展示室「住民の見た沖縄戦－地獄の戦場－」

空間全体が戦場をイメージして作られる。軍民入り乱れた戦場での住民犠牲の出来事を写真パネル、焼け焦げた衣服や当時の水が入った水筒などの実物資料を展示する。また、住民や日本兵の避難場所に利用された、ガマ（自然の鍾乳洞）とその中で起こった出来事が造形物で再現される。

第4展示室「住民の見た沖縄戦－証言－」

旧資料館の証言展示を踏襲しながら、新たに離島や北部の証言を加え、犠牲を強いられた一般住民の心の叫びを証言文と証言映像で紹介する。沖縄戦を直接体験した人々が重い口を開いて語ってくれた証言は、歴史の真実として心にじかに訴える。

ニュートラルゾーン

第4展示室と第5展示室との間にある壁面には、旧資料館から受け継いだ「展示～むすびのことば～」が掲げられている。

第5展示室「太平洋の要石」

終戦後の収容所生活から27年間の米軍統治を経て1972年5月15日に沖縄が日本復帰を果たすまでの住民のようすや政治状況を実物資料、写真パネル、造形物、映像などで展示する。米軍の沖縄統治の状況、土地闘争、基地に起因するさまざまな問題、復帰運動、さらには「太平洋の要石」と呼ばれて今日まで続く「基地の島」沖縄の実態が浮かび上がる。

これらの展示は、県民をはじめ、平和学習や平和交流、慰霊などで訪れた県外や海外からの来館者が沖縄の歴史的体験をできるように構成される。また、観光バスツアーなど、見学時間が短い来館者にも配慮し、短時間で沖縄の歴史が概観できる設定となっている。



第1展示室



第2展示室



第3展示室

〔未来を展望するゾーン〕

1階の「未来を展望するゾーン」の展示は参加型となっており、主に児童・生徒を対象にしている。子ども・プロセス展示室は、未来を担う子どもたちが積極的に平和を愛する心を育むためのもので、大きく3つのゾーンに分かれる。

「ぬちどう宝・せかいの子どもたち」コーナー

さまざまな国の子どもたちの学校の様子、友だち、遊びのことなどを紹介し、かけがえのない命、そしてぬちどう宝・せかいの子どもたち・いのちのわ(輪)についてメッセージを発信する。

「いま、世界で何が…」コーナー

やまない戦争・紛争、人権問題、環境破壊などを取り上げ、その原因や解決方法を考える機会を提供する。

「わらびなー(庭)」コーナー

展示物に触れながら遊びをとおして多様性と共通性に気づき、異文化を認め理解し合う。また、展示内容に関する子ども・プロセス企画や学習作品の展示を行う「ひろば・ゆいまーる」というスペースがあり、平和活動に貢献した人々の言葉を若い世代へ送るメッセージとして展示する。

なお、この階には1クラス程度の子どもたちが一度に利用できるスペースと観覧後の疑問を調べるための情報ライブラリーが設置され、一般図書、児童図書など約1万2千冊のほかに、平和学習のためのビデオなどが備えられており、子どもたちの質問への対応や資料調べのためのアドバイスなどの学習支援活動を実施する。

(2) 展示資料等の充実

- ①常設展示室2Fの殆ど全ての映像機器(LDプレーヤーからブルーレイディスクプレーヤー)とコントローラー、映像ディスク(LDディスクからDVDディスクへ)を刷新した。(平成22年度)
- ②常設展示室2Fの第1室と第5室の年表パネルを刷新した。(平成22年度)
- ③常設展示室第1室、第2室の展示ケース照明のLED化。企画展示室の照明装置をLED照明に刷新した。(平成22年度)
- ④常設展示室、子どもプロセス展示室、情報ライブラリー、大会議室、事務室の照明装置をLED照明に刷新した。(平成26年度)
- ⑤常設展示室2Fの第2室の大型スクリーンを刷新した。(平成26年度)
- ⑥タブレット端末による常設展示室展示内容の多言語化(日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語)を進めた。(平成27年度)
- ⑦常設展示室音声ガイドシステム機器50台を新規導入。音声データをフランス語、イタリア語、ドイツ語、アラビア語、マレー語、英語、中国語、韓国語、スペイン語に翻訳した。(平成27年度)
- ⑧デジタルサイネージシステムの導入。(平成27年度)
- ⑨第4室 住民の見た沖縄戦証言多言語映像モニター4台設置(平成30年度)



第4展示室



第5展示室



情報ライブラリー

2 企画展

(1) 新収蔵品展（令和元・2年度）

本展示会では、令和元年度から令和2年度にかけて15人の方からご寄贈いただいた資料を戦前・戦中・戦後に分けて公開した。

本展示会を通し、新たな収蔵資料を県民財産として公開するとともに、資料に託された想いを感じ取って頂き、沖縄戦及び戦前から戦後の歴史に対する理解を深め、次世代につなげていく場になったと感じた。

[日 時] 2022（令和4）年3月14日（月）～2022（令和4）年6月10日（金）
9:00～17:00

[場 所] 沖縄県平和祈念資料館1階企画展示室



オープニングのテープカット



観覧の様子



寄贈者の方々

(2) 令和4年度第21回特別企画展

「アメリカ世の記憶 ～日本復帰50周年記念特別企画展～」

ア 開催趣旨：

沖縄戦終結後の本県は米軍の占領下に置かれ、日本から切り離された。その中で多くの住民は戦禍で荒廃した郷土で文字通りゼロからの出発を余儀なくされ、戦後27年間続く米国統治下いわゆる「アメリカ世」を生き抜いてきた。

本特別企画展は、沖縄の日本復帰50周年を記念して、当館が収蔵する昭和20年～47年頃の米国統治下の沖縄及び昭和53年の交通方法変更「ナナ・サン・マル」に関する資料を中心に、各分野による展示を行う。

展示を通して米国統治下にあった沖縄と、当時を必死に生き抜いた住民の努力と日本復帰の実現、そしてナナ・サン・マルについて改めて確認し、多角的な視点で戦後の沖縄と平和について捉える事により、平和を希求する「沖縄のこころ」を発信する機会とする。



イ 開催日時：2022（令和4）年10月3日（月）～11月30日（水）

ウ 展示会場：沖縄県平和祈念資料館 1階企画展示室（特別講座：平和祈念ホール）

エ 共 催：沖縄県教育委員会

オ 観覧者数：14498名

カ 展示構成

沖縄の日本復帰50周年を記念し、昭和20年～47年の米国統治下の沖縄及び昭和53年の交通方法変更「ナナ・サン・マル」に関する資料を中心に下記の項目で展示を行った。

(ア) アメリカ世の始まり

昭和20年の沖縄戦で米軍が上陸した直後から住民の収容所生活が始まった状況と、沖縄方面の日本軍の降伏により米軍による軍政が敷かれ、住民の戦後生活が再スタートする様子を展示。

(イ) アメリカ世の政策

米国統治下に存在した米国側・沖縄側の統治機構の変遷と、米国の対住民文化政策と沖縄の戦後教育、そして米国による土地の強制接収とそれに対する島ぐるみ闘争について展示。

(ウ) アメリカ世の社会

米国統治下における通貨の変遷（B型円軍票）、渡航制限と沖縄観光の様子、そして米国の文化が流入して生まれた様々な文化について展示。

(エ) 沖縄の日本復帰へ

米国統治下における様々な重圧とそれに対する復帰運動の様子、昭和47年5月15日に沖縄の日本復帰が実現していく様子を展示。

(オ) 道路の復帰 ナナ・サン・マル（復帰後の対面交通変更730）

ナナ・サン・マルに関する各種運動、交通変更のあった昭和53(1978)年7月30日の様子を展示。

(カ) 閲覧コーナー

日本復帰前の書籍・冊子（実物及び複製品）、日本復帰前に使用された黒電話（2台を双方向通話可能な状態で配置）を、自由に閲覧・使用できる状態で展示。

(キ) 関連行事

特別講座：「島ぐるみ闘争から復帰まで」

講 師：鳥山淳 琉球大学教授

開 催 日：11月23日（水）13:10～16:10

令和4年7月に発刊した『沖縄県史 各論編7 現代』において専門部会副部会長を務めた鳥山淳氏による、戦後沖縄のあゆみに関する講演を実施。

来場者の感想（アンケートより）

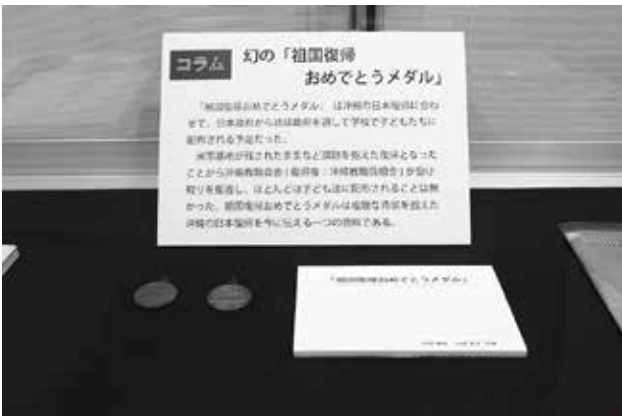
- 来館者からは、「展示を通して戦後から復帰までの流れが理解できた。(34歳 / 八重瀬町)」
- 「黒電話の体験は面白かった。触れる展示は子どもが楽しいので続けてほしい。(9歳 / 沖縄市)」
- 「戦後の沖縄について興味深く拝見しました。730の交通切換の記事や、配布された教本が印象に残っております。(53歳 / 神奈川県)」
- 「教科書や授業では学び得られなかった戦後の沖縄を知ることができ勉強になった。(17歳 / 大阪府)」
- 「琉球政府の結成や本土復帰などを深掘りできた。本土法適用の資料は興味深い。(38歳 / 東京都)」



ジュラルミン製生活用品類



B型円軍票 / B円



祖国復帰おめでとうメダル



閲覧コーナー、日本復帰前の書籍と黒電話体験



特別講座、講師（鳥山淳氏）講演状況

(3) 子ども・プロセス企画展

第1回「沖縄戦と住民の被害」

沖縄戦の最大の特徴は、軍人よりも一般住民の戦没者がはるかに多かったことです。アメリカ軍の無差別攻撃による犠牲のほか、日本軍による住民迫害も各地で発生しました。また、鉄の暴風によって町や村は破壊され、焼け野原となりました。沖縄戦における住民の被害の実態について学び、歴史的教訓をどのように継承していけるのか、一人ひとりが考える機会としました。

【期 間】 2022（令和4）年6月8日（水）～7月10日（日）

【観覧者数】 10,037人



展示の様子



ポスター

第2回「チャレンジ！夏休み自由研究

ー沖縄戦やアメリカ統治下の沖縄について調べてみようー

夏休みの機会に、子どもたちに沖縄戦に関心を持ってもらう企画として、夏休みの自由研究についてのヒントなどを紹介する展示を行いました。情報ライブラリー内に、自由研究学習コーナーを設置し、子どもたちが学習に集中して取り組めるようにしました。また、子どもたちへの助言・指導のため、会期中に自由研究相談室や子ども教室を開催しました。

【期 間】 2022（令和4）年7月22日（金）～8月31日（水）

【観覧者数】 7,185人



自由研究学習コーナー



ポスター

第3回「太平洋戦争と少年兵」

かつては日本でも、多くの子どもが軍隊に入っていました。企画展「太平洋戦争と少年兵」では、子どもたちが憧れた少年兵について取り上げ、募集内容や兵士の養成、戦闘の状況、特攻隊への動員などについて展示しました。多くの子どもを戦場に追い立て、命を奪った太平洋戦争の実相について学び、過ちを繰り返さないためにはどうすればいいのかを考える機会としました。

[期 間] 2022（令和4）年9月15日（木）～11月30日（水）

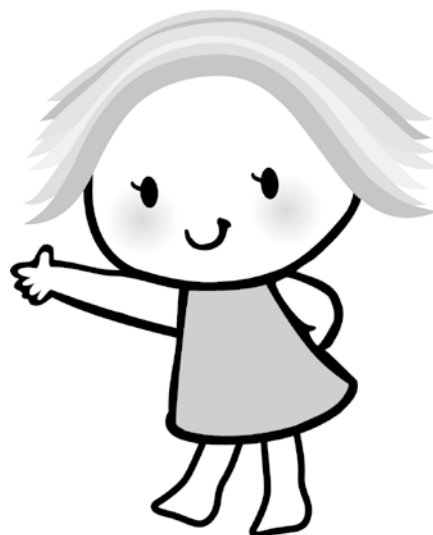
[観覧者数] 19,705人



展示の様子



ポスター



沖縄県平和祈念資料館のことをいちばんよく知っている
虹の妖精アカナちゃん

(4) ギャラリー展

第1回ギャラリー展「戦争体験者からのメッセージ—今 わたしたちへ 伝えたい 残したい ことばがある—」

期間：2022（令和4）年9月12日（月）～11月30日（水）

内容：沖縄戦終結から年数が経過するにつれ、体験者の方や直接お話を聞ける機会が減りつつあります。このような背景から、沖縄戦体験者が非体験者である私たちに向けたメッセージを紹介しました。

この展示では、昨年度の事業である「戦中・戦後の戦争体験者証言映像収録・翻訳事業」の中から、6名の体験者について紹介しました。壮絶な体験から得た、戦争を経験していない世代へ向けたメッセージを紹介することで、改めて平和について考える機会としました。



ポスター



紹介パネルと大城藤六さんご本人



展示を見る大城藤六さんと上原美智子さん



アカナちゃん

IV 収集資料・活用事業

1 新収蔵品目録【令和4年4月1日～令和5年3月31日】

(1) 実物資料

個人及び団体より4件(12点)の寄贈の申し出があり、収蔵資料として受け入れました。

番号	寄贈日	資料名	数量	寄贈者
1	令和4年4月15日	『ダイヤモンド参考書 地理 上』昭和13年	1	神山 幸代
2	令和4年11月30日	公報(死亡告知書及び封筒)	1	宮城 秀雄
3	令和5年1月6日	730周知ポスター・リーフレット	7	高江洲 大三
4	令和5年1月6日	音声資料(RBCラジオドキュメント)	3	高江洲 大三
5	令和5年2月24日	『山崎軍神部隊』昭和19年	1	石川 晋
6	令和5年2月24日	軍刀・任官証・軍隊手帳、刀剣類発見届出	4	有馬 義晴

(2) 図書資料

【受入図書】 2022(令和4)年度は、個人及び県外諸機関より233点の書籍を受け入れました。

【購入図書】 2022(令和4)年度は、31点の図書を購入しました。当館1階の情報ライブラリー、新着資料コーナーで閲覧できます

番号	受入月日	書籍名	著者	数量
1	令和5年1月23日	琉球弧の住民運動 復刻版	『琉球弧の住民運動』復刻版刊行委員会 [編]	1
2	令和5年1月23日	[日本復帰50年 増補] 資料沖縄問題	前泊 博盛(増補監修)	1
3	令和5年1月23日	ビジュアル版 世界の戦い歴史百科 歴史を変えた1001の戦い	R.G.グラント [編]	1
4	令和5年3月31日	沖縄戦場の記憶と「慰安所」新装改訂版	洪琬伸	1
5	令和5年3月31日	復帰五〇年の記憶 沖縄からの声	安里英子 他	1
6	令和5年3月31日	事典太平洋戦争と子どもたち	浅井春夫 他	1
7	令和5年3月31日	沖縄戦と琉球泡盛 百年古酒の誓い	上野敏彦	1
8	令和5年3月31日	未来に伝える沖縄戦7	琉球新報社会部[編]	1
9	令和5年3月31日	沖縄「平和の礎」はいかにして創られたか	高山朝光 [編]	1
10	令和5年3月31日	ひめゆりたちの春秋 続「第二の人生」へ	仲程昌徳	1
11	令和5年3月31日	琉球の考古学 旧石器時代から沖縄戦まで	宮城弘樹	1
12	令和5年3月31日	マンガで伝える沖縄戦 上	小那覇安剛[監修]	1
13	令和5年3月31日	マンガで伝える沖縄戦 下	小那覇安剛[監修]	1
14	令和5年3月31日	いまこそ知りたい! 沖縄が歩んだ道 1 琉球・沖縄の歴史	新城俊昭[監修]	1
15	令和5年3月31日	いまこそ知りたい! 沖縄が歩んだ道 2 沖縄に残る戦争遺跡と米軍基地	新城俊昭[監修]	1
16	令和5年3月31日	立ち上がる艦砲の喰残し 沖縄における教育・文化の戦後復興	齋木喜美子 他	1
17	令和5年3月31日	ももちゃんのピアノ 沖縄戦・ひめゆり学徒の物語	柴田昌平[著]阿部結[絵]	1
18	令和5年3月31日	みんなが知りたい! 世界と日本の「戦争遺産」戦跡から平和を学ぶ本 戦いによる「負の遺産」を心に刻み争いのない世界への想いをあらたに! 新版	歴史学習研究会	1
19	令和5年3月31日	ドキュメント〈アメリカ世〉の沖縄	宮城修	1
20	令和5年3月31日	「特攻」を子どもにどう教えるか	山元 研二	1

番号	受入月日	書籍名	著者	数量
21	令和5年3月31日	戦後沖縄生活史事典	川平成雄 他	1
22	令和5年3月31日	ひめゆりたちの「哀傷歌」	仲程昌徳	1
23	令和5年3月31日	沖縄戦火の放送局 軍隊に飲み込まれたラジオ	渡辺 考	1
24	令和5年3月31日	アメリカ世の軌跡【写真年表】でたどる、沖縄・米軍統治の時代	沖縄しまたて協会 [編]	1
25	令和5年3月31日	女たちが語る歴史 上 農漁村女性の記録	川田 文子	1
26	令和5年3月31日	女たちが語る歴史 下 うない〈女性〉の記録	川田 文子	1
27	令和5年3月31日	観光コースでない沖縄 戦跡／基地／経済／自然／先島 第5版 (もっと深い旅をしよう)	新崎 盛暉 他	1
28	令和5年3月31日	戦争は女の顔をしていない 1	小梅 けいと [作画] スヴェトラーナ・アレクシエーヴィチ [原作] 速水 螺旋 [監修]	1
29	令和5年3月31日	戦争は女の顔をしていない 2	小梅 けいと [作画] スヴェトラーナ・アレクシエーヴィチ [原作] 速水 螺旋 [監修]	1
30	令和5年3月31日	日本軍「慰安婦」問題の核心	林 博史	1
31	令和5年3月31日	60年目に問い直す 沖縄戦	大田平和総合研究所 [編]	1



本を読むアカナちゃん

2 資料貸出実績

(1) 資料の貸出

令和4年度(4/1～3/31)は、県内外あわせて計(83)件、(776)点の貸出を行った。

[県内 49件 315点]

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	県立那覇工業高等学校	平和メッセージ入賞作品(6点) 世界人権宣言パネル(14名)	20	4/12～4/26
2	県立島尻特別支援学校	平和学習キットC	1	4/25～5/13
3	那覇市立城東小学校	平和学習キットA・B	2	5/15～5/29
4	南城市立知念小学校	平和学習キットA・D	2	5/17～5/30
5	県立与勝高等学校	沖縄戦実物資料(1点)	1	5/19～6/25
6	那覇市立真地小学校	平和学習キットA	1	5/20～6/3
7	糸満市立真壁小学校	平和学習キットA・B	2	5/23～5/28
8	県立大平特別支援学校	沖縄戦の写真パネル(9点) 沖縄戦の絵パネル(7点)	16	5/27～6/30
9	浦添市立当山小学校	平和学習キットA・B	2	5/29～6/9
10	那覇市立小緑南小学校	沖縄戦実物資料(5点)	5	5/29～6/26
11	沖縄市立中の町小学校	沖縄戦実物資料(1点)	1	5/29～6/26
12	糸満市立西崎中学校	沖縄戦の写真パネル(9点)	9	5/30～6/4
13	県立コザ高等学校	平和学習キットB	1	5/30～6/11
14	那覇市立石田中学校	平和学習キットC	1	6/1～6/11
15	豊見城市立豊見城小学校	平和学習キットC	1	6/1～6/11
16	宜野湾市立はごろも小学校	沖縄戦実物資料(6点) 平和学習キットA・B 沖縄戦の絵パネル(3点)	11	6/1～6/10
17	東村立東小中学校	沖縄戦実物資料(7点) 平和メッセージ入賞作品(7点)	14	6/2～6/16
18	県立向陽高等学校	沖縄戦の写真パネル(8点) 沖縄戦の絵パネル(4点) 平和メッセージ入賞作品(6点)	18	6/2～6/30
19	県立美咲特別支援学校	平和学習キットA・D	2	6/4～6/18
20	南城市立佐敷小学校	平和学習キットC	1	6/6～6/20
21	糸満市立中央図書館	沖縄戦実物資料(6点) 沖縄戦の写真パネル(2点) 沖縄戦の絵パネル(18点) 平和学習キットA・B	28	6/7～6/29
22	県立南部農林高等学校	沖縄戦実物資料(4点)	4	6/7～6/30
23	県立コザ高等学校	沖縄戦実物資料(7点)	7	6/8～6/27
24	豊見城市役所	沖縄戦実物資料(4点) 平和メッセージ入賞作品(4点) 沖縄戦の絵パネル(3点)	11	6/8～6/16
25	那覇市立城北小学校	沖縄戦実物資料(4点) 沖縄戦の写真パネル(14点)	18	6/9～7/2

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
26	浦添市立浦添小学校	平和学習キットC・D	2	6/9～6/24
27	浦添市立前田小学校	平和学習キットD 平和メッセージ入賞作品(5点) 沖縄戦の絵パネル(5点)	11	6/9～6/22
28	県立森川特別支援学校	沖縄戦実物資料(9点) 世界人権宣言パネル(1点)	10	6/10～6/24
29	那覇市立真地小学校	平和学習キットC・D	2	6/12～6/26
30	浦添市立港川小学校	平和学習キットA・B	2	6/12～6/25
31	浦添市立当山小学校	沖縄戦実物資料(5点)	5	6/12～6/26
32	久米島町立球美中学校	平和のウムイ地域版(久米島)	1	6/13～6/27
33	県立辺土名高等学校	沖縄戦実物資料(4点)	4	6/13～6/30
34	那覇市立神原中学校	沖縄戦の写真パネル(11点)	11	6/13～6/22
35	浦添市立牧港小学校	平和学習キットB・C	2	6/13～6/24
36	今帰仁村立今帰仁中学校	平和メッセージ入賞作品(1点) 沖縄戦の絵パネル(2点)	3	6/13～6/29
37	オキナワインターナショナルスクール	沖縄戦の写真パネル(14点)	14	6/14～6/27
38	南城市立知念小学校	沖縄戦実物資料(16点)	16	6/14～6/27
39	県立与勝高等学校	平和学習キットA	1	6/14～6/25
40	宗教法人 本願寺沖縄別院	平和メッセージ入賞作品(17点)	17	6/15～7/18
41	浦添市立浦西中学校	沖縄戦実物資料(15点) 沖縄戦の絵パネル(6点)	21	6/17～7/1
42	県立北山高等学校	平和学習キットA	1	6/19～7/2
43	豊見城市立豊見城小学校	平和学習キットA	1	7/1～7/15
44	浦添市立仲西小学校	沖縄戦実物資料(2点)	2	9/10～9/14
45	名護市立大宮小学校	平和学習キットA・B	2	9/26～10/7
46	特定非営利活動法人 沖縄NGOセンター	平和学習キットA・B・C	3	10/4～10/11
47	(株)エマエンタープライズ	平和学習キットA・B	2	11/21～11/28
48	(株)エマエンタープライズ	平和学習キットA・B	2	1/16～1/30
49	本部町立博物館	沖縄戦実物資料(1点)	1	1/27～2/27



アカナちゃん

[県外 34 件 461 点]

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	(京都府)城陽市役所	沖縄戦の写真パネル(20点)	20	6/20～7/15
2	(広島県)熊野東中学校	平和学習キット B・C	2	7/1～7/14
3	(東京都)港区役所	沖縄戦実物資料(9点) 沖縄戦の写真パネル(11点)	20	7/20～8/20
4	(埼玉県)蕨市東公民館	平和学習キットC	1	7/20～8/3
5	(大阪府)四條畷市人権協会	沖縄戦の絵パネル(20点)	20	7/20～8/3
6	(愛知県)大府市役所	沖縄戦の写真パネル(20点)	20	7/26～8/8
7	(岐阜県)高山市労連	沖縄戦実物資料(7点) 沖縄戦の写真パネル(15点) 平和学習キット A・B	24	7/28～8/1
8	(奈良県)大淀町教育委員会	沖縄戦の写真パネル(20点)	20	7/28～8/24
9	(茨城県)那珂市役所	沖縄戦の写真パネル(8点) 沖縄戦の絵パネル(12点)	20	7/29～8/31
10	(三重県)松阪 平和の会	沖縄戦実物資料(11点)	11	8/1～8/7
11	(神奈川県)厚木市役所	沖縄戦の写真パネル(18点) 平和学習キット A	19	8/1～8/31
12	(愛知県)刈谷市役所	平和メッセージ入賞作品(20点)	20	8/1～8/20
13	(奈良県)三笠中学校	平和メッセージ入賞作品(4点)	4	8/1～8/31
14	(千葉県)市川市役所	沖縄戦の絵パネル(20点) 平和学習キットB	21	8/3～8/17
15	(大分県)(株)まちづくりたけた	平和学習キット B・C	2	8/8～8/22
16	(大阪府)(株)アステム	沖縄戦実物資料(20点) 沖縄戦の写真パネル(20点) 平和学習キット B	41	8/11～8/16
17	(山口県)平和のための戦争展実行委員会	平和学習キットC	1	8/15～8/24
18	(三重県)伊勢地区労継承センター	平和学習キット A・B	2	8/15～8/25
19	(愛知県)長久手市役所	沖縄戦の写真パネル(18点)	18	8/16～8/21
20	(静岡県)掛川市勤労者協議会	沖縄戦の写真パネル(18点)	18	8/15～8/27
21	(栃木県)鹿沼平和写真展実行委員会	平和学習キット A・C	2	8/25～8/29
22	(茨城県)JTB水戸支店	平和学習キット A・C	2	9/5～9/19
23	(埼玉県)NPO法人文化活動支援会まつり	沖縄戦実物資料(11点)	11	9/6～9/15
24	(埼玉県)ふじみ野市役所	沖縄戦の写真パネル(20点)	20	9/14～10/13
25	(静岡県)清水地域勤労者協議会	沖縄戦の写真パネル(18点)	18	9/20～10/6
26	(栃木県)連合栃木	沖縄戦の写真パネル(9点) 平和メッセージ入賞作品(4点)	13	9/20～9/22
27	(奈良県)連合奈良	平和のウムイ地域版(北部) 平和のウムイ地域版(那覇・南部)	2	10/24～11/4

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
28	(埼玉県)越谷市役所	沖縄戦の写真パネル(20点) 平和学習キットA・C	22	10/26～11/11
29	(奈良県)連合奈良	沖縄戦の写真パネル(17点) 平和学習キットC・D 平和のウムイ地域版(北部) 平和のウムイ地域版(那覇・南部)	21	11/21～12/9
30	(奈良県)連合奈良	平和学習キットA・B	2	11/29～12/9
35	(島根県)島根大学教育学部附属 義務教育学校	平和学習キットA・B	2	1/30～2/12
31	(東京都)世田谷区立平和資料館	平和学習キットC	1	2/1～2/27
32	(大阪府)枚方市役所	沖縄戦の写真パネル(20点)	20	2/10～3/10
33	(千葉県)流山市役所	沖縄戦の写真パネル(20点)	20	2/15～3/27
34	(千葉県)佐倉市役所	平和学習キットC	1	2/20～3/8

当館では、以下の資料を貸出している。

沖縄戦写真パネル (201 点)、沖縄戦実物資料 (20 種類)、子や孫につなぐ平和のウムイ地域版セット、児童・生徒平和メッセージ展入選作品パネル (図画・作文・詩)、世界人権宣言絵画パネル一式、沖縄戦絵パネル (52 点)、平和学習キット (4 種類)

(2) 証言映像の貸出

令和4年度(4/1～3/31)の貸出実績 19件(57本)〔県内6件17本、県外13件40本〕

県内外の方々により深く沖縄戦の実相と平和の尊さを伝える事を目的に、戦争体験証言ビデオ(DVD・Blu-ray)の貸し出しを行っている。沖縄県は令和4年に日本復帰50年を迎えたこともあり、県外の団体、学校が、沖縄戦を取り上げた展示や授業等の資料として活用した。また、修学旅行で資料館を訪れる際の事前学習教材として活用されている。

当館では、以下の戦争体験証言ビデオ(DVD・Blu-ray)を貸出している。

- ①戦争体験証言ビデオ・DVD(全28巻)・・・1巻に1～3名収録〔全79名〕
- ②DVD『やーさん ひーさん しからーさん～集団疎開学童の証言～』【通常版・ダイジェスト版】
- ③DVD『そしてぼくらは生き残った』・・・米軍撮影の記録映像。捕虜住民の収容所での生活。
- ④DVD『強制集団死(集団自決)に係わる証言映像』
- ⑤DVD『平和のウムイ』(全36巻)・・・1巻に10名収録〔全300名〕
- ⑥DVD『戦争体験者証言多言語吹き替え映像』・・・1枚に1名収録
- ⑦DVD『日系二世が見た戦中・戦後』(全4巻)1巻に4～6名収録〔全19名〕【日本語版・英語版】
- ⑧Blu-ray『住民の見た沖縄戦証言』(2枚1組セット〔全70名〕)

3 撮影・掲載等利用一覧

令和5年3月31日現在

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
1	フリンダース大学 Dr Tets Kimura	○写真資料 ・モンペ姿の女性2人とワンピース姿の女性、セーラー服の少女と着物姿の女性と幼児、セーラー服の少女、セーラー服の少女、学生服姿の男性2人の肖像、洋服姿の男性、学生服姿の男性の肖像 ○実物資料(写真)日本軍服から仕立てた女物ズボン、モンペの上着、モンペ3点、国民服 [学術論文への掲載]	13	3月21日
2	沖縄県平和祈念資料館友の会 会長 久保田暁	○沖縄戦米軍記録写真0268、0269、0270、0271、540、0938○写真資料無線機、日本軍九三式火炎放射器 [資料への掲載]	8	3月30日
3	広島市文化財団安芸区民文化センター 館長 芝啓造	○沖縄戦米軍記録写真 019、039、132、138、206、212、246、268、303、730、771、写真パネル E-004 ○沖縄戦の絵 W-1、W-4、W-27、W-44、W-47 ○児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 最優秀作品 令和元年度：小学校（低）の部 「もっとへいわなせかいへ」、令和2年度：小学校（高）の部 「平和のために」、令和2年度：高等学校の部 「あなたがあの時」 [展示用パネルとして複製]	20	4月8日
4	株式会社八重山日報 代表取締役 宮良薫	○收藏品写真 陶器製手榴弾、陶器製地雷 [新聞への掲載]	2	4月24日
5	絵本セラピスト 中村智代	○第23回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校（低）の部 最優秀賞「へいわってすてきたね」 [読み聞かせのための利用]	1	4月21日
6	蕨市立旭町公民館 館長 黒澤美和子	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校（低）の部 最優秀賞「へいわってすてきたね」 [読み聞かせのための利用]	1	4月24日
7	NHK沖縄放送局 局長 千葉聡史	○「鹿山文書」 ○「昭和二十年具志川村警防団連絡書類」 [撮影及び番組内での放映]	2	4月8日
8	本部町立博物館 館長 宮里昌典	○沖縄戦米軍記録写真 茅葺き集落の様子（大浦崎収容地区） [展示用パネルとして複製]	1	4月30日
9	宮古島市総合博物館 館長 友利浩幸	○味噌樽（写真資料） ○戦争被害情報に関する書類（宮古文教部） ○「学童疎開関係書類」（文書17件） ○戦没者等の妻についての実態調査 ○遺児名簿（5冊中の宮古地区分） ○遺児名簿（15冊中の宮古地区分） [調査のための利用]	22	2月1日
10	名古屋芸術大学 （申請代行：株式会社ブルームーン）	○第28回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」 [入試試験実施問題の掲載]	1	4月24日
11	教育出版株式会社 取締役専務執行役員 編集局長 梅津博雄	○第23回児「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校（低）の部 最優秀賞「へいわってすてきたね」 [教材への掲載]	1	4月5日
12	読売新聞東京本社 政治部次長 橋本潤也	○方言札（複製） [新聞への掲載]	1	5月11日
13	株式会社中央公論新社 代表取締役社長 松田陽三	○方言札（複製） [書籍への掲載]	1	5月11日
14	中京テレビ放送株式会社報道局 報道部長 田村寿彦	○戦争体験者証言ビデオ「学徒隊の一員として」（城間期一氏） [撮影及び番組内での放映]	1	5月16日

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
15	大野城まどかぴあ 男女平等推進センター 所長 池邊幸子	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校（低）の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 [読み聞かせのための利用]	1	5月17日
16	株式会社沖縄タイムス社 代表取締役社長 武富和彦	○沖縄戦米軍記録写真0001、0019、0075 [新聞への掲載]	3	5月17日
17	沖縄県立浦添工業高等学校 校長 波平孝夫	○沖縄平和学習アーカイブの戦争体験証言映像 ①大城英信氏「死線のはざままで～沖縄工業生」 ②與那國秩氏「兵隊でなければ人間ではない」 ③大城静江氏「家族と一緒に南部へ避難」 ④城間康夫氏「攻撃を受けた人々の惨状」 ⑤山田和子氏「10.10 空襲後、負傷兵の看護を行う」 ⑥譜久山ハル氏「青酸カリの注射を命じられる～東風平の野戦病院での体験～」 [平和学習のための複製・放映]	6	5月18日
18	富田林市立金剛中学校 校長 岩片啓子	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校（低）の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 [学校だよりへの掲載]	1	5月25日
19	沖縄県立博物館・美術館 館長 田名真之	○第23回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校（低）の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 [読み聞かせのための利用]	1	5月23日
20	西原町立西原中学校 校長 友寄ゆかり	○平和学習キット A [①方言札（複製） ②国民学校で使用された算数の教科書（複製） ③出征幟（複製） ④千人針の腹巻き（複製） ⑤身分証明書] ○平和学習キット B [①出頭状 ②臨時召集令状 ③現役兵証書 ④死亡告知書 ⑤投降ビラ A ⑥投降ビラ B ⑦日本軍による住民犠牲（地図） ⑧戦後の人口の年齢構成（グラフ）⑨沖縄戦戦没者総数の推計（グラフ）] ○貸出用実物資料 [C-02 手榴弾 K-06 防毒マスク N-03 手術道具 T-01 認識票] [展示用資料として複製]	18	5月23日
21	宜野湾市立博物館 館長 平敷兼哉	○沖縄戦米軍記録写真 0019、0039、0041、0042、 0043、0044、0045、0046、0075、0078、0098、 0102、0138、0140、0205、0224、0282、0287、 0296、0299、0300、0307、0311、0336、0371、 0531、0551、0556、0560、0562、0613、0614、 0619、0647、0651、0714、0758、0801、写真パネル 番号 B-018 ○沖縄戦体験証言ビデオ No.31「やーさん ひーさん し からーさん～集団疎開学童の証言～」(ダイジェスト版) ○No.32「そしてぼくらは生き残った」 [展示用パネルとして複製、展示会場内での放映・利用]	32	5月25日
22	時事通信社 山内大旗	○方言札（複製） [新聞への掲載]	1	5月17日
23	合同会社アポロン出版 代表 土川鉄雄	○沖縄戦の戦闘経緯（図） ○沖縄戦米軍記録写真 0032、0085、0132、0270、0303、0371、0613、沖縄 戦写真パネルE-004 [学習教材への掲載]	9	5月27日
24	社会福祉法人若杉福祉会 久場川児童館 理事長 屋宜勝子	○沖縄戦の絵「家族の悲劇」、「赤ちゃんを泣かすな」、 「逃げ場を失った住民たち」 [平和学習用スライドとして複製・利用]	3	5月27日
25	今帰仁村立今帰仁小学校 校長 屋良篤	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校（低）の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 [読み聞かせのための複製・利用]	1	6月1日

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
26	株式会社朝日学生新聞社 代表取締役社長 葛原徳昭	○沖縄戦戦闘経緯図 [新聞への掲載]	1	6月3日
27	沖縄バス株式会社 代表取締役社長 新川幹雄	○当館外観写真 [施設紹介映像のための撮影・掲載・利用]	1	6月6日
28	日本放送協会沖縄放送局 局長 千葉聡史	○沖縄戦米軍記録写真0081 [番組内での放映]	1	6月7日
29	株式会社スローハンド 代表取締役 深見將史	○白梅同窓会寄託資料（白梅学徒関連） ①沖縄県立第二高等女学校校印 ②白梅の校章 ③卒業証書 ④身分証明書 ⑤記念写真「昭和18年（4年生）託児所の実習」 ⑥記念写真「託児所の実習生」 ⑦三角定規 ⑧べっ甲の櫛 ⑨セルロイドの糸巻き ⑩おはじき ⑪もんぺ服上下 ⑫お守り ⑬脚絆 [撮影及び番組内での放映]	13	6月11日
30	琉球放送株式会社 常務取締役ラジオ本部長 安仁屋 聡	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」作文の部 入賞作品 ①小学校（低）の部 最優秀賞「平和の心、 思いやりの心」 ②優秀賞「やさしくしたいな」 ③小 学校（高）の部 優秀賞「平和な毎日」 ④優秀賞「奪 われた日常」 ⑤中学校の部 最優秀賞「軍服からの メッセージ」 ⑥高等学校の部 最優秀賞「想」 [ラジオ番組内での放映・利用]	6	6月14日
31	宮古島市長 座喜味一幸	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 中学校の部 優秀賞「Unarmed」 [パンフレットへの掲載、朗読のための利用]	1	6月14日
32	沖縄テレビ放送株式会社 代表取締役社長 船越龍二	○首里高等女学校43期入学記念写真 甲組 ○首里高等女学校43期入学記念写真 乙組 [番組内での放映]	2	6月14日
33	沖縄県立図書館 館長 宮城威	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校（低）の部 最優秀賞作品 「こわいをして、へいわがわかった」 [展示用パネルとして複製]	2	6月14日
34	那珂市長 先崎光	○沖縄戦米軍記録写真0058、0613 [チラシへの掲載]	1	6月14日
35	丸善雄松堂株式会社 代表取締役社長 矢野正也	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校（低）の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 [読み聞かせのための利用]	1	6月16日
36	日本放送協会沖縄放送局 局長 千葉聡史	○沖縄戦米軍記録写真0081 [番組内での放映]	1	6月16日
37	山梨日日新聞社 編集局長 三井雅博	○第18回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校の部 最優秀賞「世界を見つめる目」 [新聞への掲載]	1	6月17日
38	中地区教職員組合 代表 小嶋豊綱	○第31回「児童・生徒の平和メッセージ」入賞作 品 詩部門 小学校（低）の部 最優秀賞「へいわっ てうれしいね」、図画部門 特別支援の部 最優秀賞 「平和をずっと選びたい」、図画部門 小学校（高）の 部 最優秀賞「平和な未来を運ぶ鳥」、図画部門 中 学校の部 最優秀賞「受け継ぐ想い」 [学習教材への掲載]	4	6月17日
39	沖縄県立博物館・美術館 館長 田名真之	○沖縄県平和祈念資料館「展示むすびのことば」 ○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校（低）の部 最優秀賞「こわいをして、へい わがわかった」 [展示資料として複製]	2	6月16日

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
40	一般社団法人沖縄しまたて協会 理事長 木下誠也	○沖縄戦米軍記録写真0556、0558 [情報誌への掲載]	2	6月17日
41	とやま朗読劇の会 代表 浅田陽子	○第28回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校(高)の部 最優秀賞「平和の光」 [朗読劇における利用]	1	6月13日
42	松本女声アンサンブルAZ 代表 上島喜栄子	○第25回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 (高)の部 最優秀賞「みるく世がやゆら」	1	6月15日
43	株式会社毎日放送 エリアプロデュース局長 田淵 伸一	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 [読み聞かせのための利用]	1	6月17日
44	日本放送協会沖縄放送局 局長 千葉聡史	○平成24年度「子や孫につなぐ平和のウミイ事業」 で収録した証言映像：①山里昌朝さん「横暴で恐ろしい日本兵」②本永昌健さん「久米島に上陸したアメリカ軍より日本軍の隊長が怖かった」 [番組内での放映]	2	6月21日
45	沖縄タイムス社 代表取締役社長 武富和彦	○当館常設展示室内「展示むすびのことば」 [新聞への掲載]	1	6月22日
46	福知山市人権ふれあいセンター 南佳屋野会館 橘梨絵	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「こわいをして、へいわがわかった」 [学習資料への掲載]	1	6月24日
47	まちづくりたけた株式会社 代表取締役社長 藤田和徳	○沖縄戦米軍記録写真0132、0554 [チラシへの掲載]	2	6月24日
48	演劇集団和歌山 代表 楠本幸男	○沖縄県平和祈念資料館「展示むすびのことば」 ○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「こわいをして、へいわがわかった」 [朗読のための利用]	1	6月26日
49	長崎市立日見中学校 校長 平野俊男	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「こわいをして、へいわがわかった」 [学校だよりへの掲載]	1	6月29日
50	桶川市長 小野克典	○第31回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 (高)の部 優秀賞「あの日と今」 [朗読のための利用]	1	6月29日
51	まちづくりたけた株式会社 代表取締役社長 藤田和徳	○沖縄戦米軍記録写真0233、0269 [チラシへの掲載]	1	6月29日
52	多摩住民自治研究所 理事長 荒井文昭	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「こわいをして、へいわがわかった」 [機関紙への掲載]	1	7月1日
53	三木市立総合隣保館 館長 平井隆禎	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「こわいをして、へいわがわかった」 [機関誌への掲載]	1	7月5日
54	高山市職員労働組合連合会 執行委員長 平光貴博	○沖縄戦米軍記録写真758、019 [チラシへの掲載]	2	7月6日
55	沖縄県土木建築部都市計画・ モノレール課 課長 仲厚	○当館外観写真 [チラシ・記念誌への掲載、展示用パネルとして複製]	7	7月6日
56	今治市人権教育協議会伯方支部 支部長 野間誠	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞「こわいをして、へいわがわかった」 [教育資料への掲載]	1	7月7日

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
57	水巻町図書館 館長 山田浩幸	○第23回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校（低）の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 ○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校（低）の部 最優秀賞「こわいをして、へいわがわかった」 [展示用パネルとして複製]	2	6月29日
58	廿日市市長 松本太郎	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞「こわいをして、へいわがわかった」 [広報紙への掲載]	1	7月8日
59	NHK沖縄放送局放送部アウナンス 代表 沢田石和樹	○当館常設展示室（第5展示室）の戦後の街並みを再現したエリア内「スーベニアショップ」 [撮影及び番組内での放映]	1	7月13日
60	NHK沖縄放送局 局長 赤石勇二	○儀間真栄氏寄贈写真資料： ①「降伏式で兵士に話をする鹿山兵曹長」 ②「鹿山隊武装解除」 ③「久米島での鹿山隊の降伏式」 ④「久米島の宿营地」 ⑤（キャプションなし） ⑧「田んぼで作業をする久米島の住民 この中にも鹿山隊は潜んでいた」 ⑨「終戦を喜ぶ久米島の住民」 ⑩（キャプションなし） ⑪「MISLSの同級生と」	9	7月13日
61	竹原市吉名隣保館 館長 大宮弘子	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞「こわいをして、へいわがわかった」 [機関紙への掲載]	1	7月13日
62	魚津市企画政策課 課長 浦田誠	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞「こわいをして、へいわがわかった」 [複製及び朗読のための利用]	1	7月15日
63	臺灣文化研究學會 会長 陳國偉	○第31回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 中学校の部 最優秀賞「みるく世の謳」 [学術誌への掲載]	1	7月21日
64	長野県同和教育推進協議会 会長 網干直人	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞「こわいをして、へいわがわかった」 [教育資料への掲載]	1	7月14日
65	市川市役所総務課 課長 樋口智昭	○沖縄戦の絵（パネルW-22）「捕虜にされるときの様子」 [展示用パネルとして複製]	1	7月26日
66	日本テレビ放送網株式会社 代表取締役社長 大久保好男	○手榴弾 ○砲弾 ○小銃弾丸 ○防毒マスク ○銃剣（日本軍・米軍） ○砲弾の破片 ○迫撃砲 ○銃（日本軍・米軍） ○砲弾で作った灰皿 ○ジュラルミン製の鉢 ○ジュラルミン製のアイロン ○ジュラルミン製ヤカン ○琉球政府時代の車のナンバー [撮影及び番組内での放映]	13	7月25日
67	川口ぞうれっしゃ合唱団 代表 荒木紀理子	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校（低）の部 最優秀賞「こわいをして、へいわがわかった」 [会報への掲載]	1	7月26日
68	始良市立中央図書館 館長 原口和哉	○第31回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 中学校の部 優秀賞「現在 ここにある命」 [展示資料として複製]	1	7月27日
69	読売新聞社東京本社 政治部次長 橋本潤也	○方言札（複製）写真 ○沖縄戦米軍記録写真 ⁰¹¹³ [新聞への掲載]	2	8月1日

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
70	ノーマア沖縄戦命どう宝の会 共同代表	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 中学校の部 優秀賞「Unarmed」 [新聞(論評)への掲載]	1	8月3日
71	株式会社皓星社 代表取締役 晴山生菜	○資料館外観写真 ○常設展示室写真(第3展示室、 ガンマ、第4展示室) ○子ども・プロセス展示室写真 ○館内平面図 ○実物資料写真(軍機を語るな[防諜 のポスター]、方言札[複製]、B円軍票、投降ビラ) [書籍への掲載]	10	8月9日
72	GUM株式会社 代表取締役社長 葦澤恒	○当館1階情報ライブラリー内部 [撮影及び映画での放映]	1	8月12日
73	渋川市長 高木勉	○沖縄戦米軍記録写真0032 [展示パネルとして複製]	1	8月15日
74	竹田市立竹田南部中学校 校長 安東大暁	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「こわいをして、へいわ がわかった」 [学校だよりへの掲載]	1	8月19日
75	日本友和会 理事長 水戸潔	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「こわいをして、へいわ がわかった」 [機関誌への掲載]	1	8月18日
76	株式会社スクラム 代表取締役 庄田真人	○方言札(複製)写真 [番組内での放映]	1	8月24日
77	一般社団法人茶道裏千家淡交 会沖縄支部 支部長 島袋洋	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「こわいをして、へいわ がわかった」 [冊子への掲載及び朗読のための利用]	1	8月29日
78	公益社団法人対馬丸記念会 理事長 高良政勝	○学童疎開関係資料: ①献立表(1945年) ②疎開児 童体重状況(1944年9月) [展示用資料として複製]	2	9月1日
79	日本生協連北海道・東北地連 事務局長 大沢志佳子	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「こわいをして、へいわ がわかった」 [提示資料として複製]	1	9月2日
80	NPO法人平和の文化東京ユ ネスコクラブ 理事長 田中正人	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「こわいをして、へいわ がわかった」 [機関誌への掲載]	1	9月6日
81	被爆ピアノを聴く会 代表 黒木教一	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 校(低)の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 [読み聞かせのための利用]	1	9月8日
82	京都府綾部市戦没者遺族会 会長 熊内輝夫	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「こわいをして、へいわ がわかった」 [朗読のための利用]	1	9月12日
83	株式会社自由国民社 代表取締役社長 石井悟	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「こわいをして、へいわ がわかった」 [書籍への掲載]	1	9月15日
84	大野城まどかぴあ男女平等推 進センター 所長 池邊幸子	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 [読み聞かせのための利用]	1	9月16日

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
85	東京書籍株式会社 代表取締役社長 渡辺能理夫	○沖縄戦米軍記録写真227 ○手榴弾の写真（2012年8月に当館資料を撮影したもの） [学習教材への掲載]	2	9月29日
86	越谷市総務部総務課 課長 宮内 賢一郎	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校（低）の部 最優秀賞「こわいをして、へいわがわかった」 [展示資料として複製]	1	10月6日
87	平和へのつどい・喜多方 代表 遠藤さゆり	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校（低）の部 最優秀賞「こわいをして、へいわがわかった」 [展示資料として複製]	1	10月6日
88	アンサンブル・ヴォカル・ アルカイク=東京 代表 藤井果穂	○第25回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 高等学校の部 最優秀賞「みるく世がやゆら」 [コンサートでの利用]	1	10月7日
89	名古屋市高年大学鯉城学園34 期生活専攻 代表 木全恵子	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校（低）の部 最優秀賞「こわいをして、へいわがわかった」 [朗読のための利用]	1	10月19日
90	琉球朝日放送株式会社 代表取締役社長 上原直樹	○ジュラルミン製のやかん [撮影及び番組内での放映]	1	10月20日
91	たつの市教育委員会人権教育推 進課 課長 津島威彦	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校（低）の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 [朗読のための利用]	1	10月20日
92	東京書籍株式会社 代表取締役社長 渡辺能理夫	○沖縄戦米軍記録写真227 ○手榴弾の写真（2012年8月に当館資料を撮影したもの） [デジタル学習教材への掲載]	1	10月28日
93	株式会社東洋企画印刷 代表取締役 大城孝	○沖縄戦米軍記録写真0230、0233 ○沖縄戦の戦闘経緯（図） [書籍への掲載]	3	10月31日
94	沖縄大学経法商学部 教授 成定洋子	○平田正代さんの戦争体験証言映像の文字起こし資料（証言文） [資料集への掲載]	1	11月15日
95	館林市長 多田善洋	○沖縄戦米軍記録写真271、446 [教育資料への掲載]	1	11月19日
96	枚方市市長公室人権政策室 課長 三木ひとみ	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 最優秀賞 ①小学校（低）の部「こわいをして、へいわがわかった」 ②小学校（高）の部「おばあちゃんの名前」 ③中学校の部「きっと明日は」 ④高校の部「平和を刻む」 ⑤特別支援の部「当たり前」の日常 [展示資料として複製]	5	11月28日
97	芳賀秀次郎賞実行委員会 会長 丸川正晃	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校（低）の部 最優秀賞「こわいをして、へいわがわかった」 [書籍への掲載]	1	12月5日
98	枚方市市長公室人権政策室 課長 三木ひとみ	○沖縄戦米軍記録写真72、85、138、296 [展示会チラシ及び広報紙への掲載]	4	12月14日
99	世田谷区立平和資料館 館長 宮阪和則	○沖縄戦米軍記録写真024、113、230、269 [チラシへの掲載]	4	12月15日
100	長野県同和教育推進協議会 代表 網干直人	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」図画部門 小学校（高）の部 最優秀賞「平和、小さな島の大きな願い」 [教育資料への掲載]	1	12月20日

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
101	光文堂コミュニケーションズ株式会社 代表取締役社長 外間なるみ	○沖縄戦米軍記録写真0726 [展示用パネルとして複製及び報告書への掲載]	1	1月12日
102	株式会社今人舎 代表取締役社長 中嶋舞子	○沖縄戦米軍記録写真032 [書籍への掲載]	1	1月18日
103	立命館大学国際平和ミュージアム 館長 吾郷真一	○沖縄戦米軍記録写真032 [図録への掲載]	1	1月20日
104	沖縄テレビ放送 代表取締役社長 船越龍二	○白梅同窓会寄託資料：①沖縄県立第二高等女学校校印 ②白梅の徽章(校章) ③卒業証書(比嘉ハツ) ④卒業証書入れ(玉那覇スミ) ⑤戦時郵便(はがき) ⑥記念写真「昭和18年(4年生)」⑦託児所の実習 ⑧託児所の実習生(記念写真) ⑨三角定規 ⑩べっ甲の櫛 ⑪セルロイドの糸巻き ⑫おはじき ⑬モンペ服上・下 ⑭お守り [撮影及び番組内での放映]	1	2月1日
105	春日部市議会 議員 大野とし子	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 [ニュースレターへの掲載]	1	2月1日
106	光文堂コミュニケーションズ株式会社 代表取締役社長 外間なるみ	○第4展示室写真 [書籍への掲載]	1	2月2日
107	伊東朗読の会ひびき 代表 鳥居誠一	○第28回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」 ○第29回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校(高)の部 最優秀賞「本当の幸せ」 [朗読のための利用]	2	2月2日
108	▲Auvent Voyage▲ 代表 木村ミケラ	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 [朗読のための利用]	1	2月2日
109	嘉手納基地爆音差止訴訟原告団具志川支部 支部長 屋宜秀信	○沖縄県平和祈念資料館設立理念 ○展示むすびのことば [広報紙への掲載]	2	1月16日
110	新星出版株式会社 代表取締役社長 近藤好沖	○投降勧告ビラ [書籍への掲載]	1	2月14日
111	徳島県中学校人権教育研究会 代表 西山信二	○沖縄戦米軍記録写真613 ○展示むすびのことば [教育資料への掲載]	2	2月17日
112	大野城まどかぴあ男女平等推進センター 所長 池邊幸子	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 [読み聞かせのための利用]	1	2月20日
113	高石市人権推進課 課長 木寺康晴	○沖縄戦米軍記録写真 009、098、113、197、220、226、253、256、268、270、297、298、300、302、307、516、678、714、758、771 [展示用パネルとして複製]	20	3月1日
114	沖縄県平和祈念資料館友の会 会長 久保田暁	○沖縄戦米軍記録写真 0085、0236、0240、0241、0243、0244、0246、0247、0249、0281、0284、0291、0292 [資料への掲載]	13	3月2日
115	著作権利用等に係る教育NPO 理事長 中川武夫	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 [入試問題及び配布資料への掲載]	1	3月7日

V 教育普及事業

1 教育普及行事

(1) 第32回「児童・生徒の平和メッセージ展」

本県は、去る大戦において、一般住民を巻き込んだ地上戦の場となり、20万余の貴い生命とかけがえのない文化遺産を失った。戦後77年を経過した現在、この歴史的な事実を風化させることなく次の世代に正しく継承させていくために児童・生徒の平和に関する図画・作文・詩の創作活動を通して、児童・生徒が戦争と平和について考え、平和を尊ぶ心を育てる機会とする。また、応募作品の中から優秀な作品を選定し、展示、広報することを通して、県民をはじめ広く国内外の人々の心に沖縄発の児童・生徒の平和メッセージを発信する機会とする。



①応募総数 (2,379点)

図画1,103点 作文365点 詩911点

②令和4年沖縄全戦没者追悼式「平和の詩」朗読者

沖縄市立山内小学校2年 徳元 穂菜 「こわいをして、へいわがわかった」

③展示会

- ・糸満市 (沖縄県平和祈念資料館) 期間：6月23日(木)～7月4日(月)
8月20日(土)～8月31日(水)
- ・石垣市 (八重山平和祈念館) 期間：7月13日(水)～7月22日(金)
- ・宮古島市 (宮古島市未来創造センター) 期間：7月29日(金)～8月7日(日)
- ・名護市 (名護市立中央図書館) 期間：9月8日(木)～9月17日(土)
- ・那覇市 (沖縄県立図書館) 期間：9月28日(水)～10月10日(月)

③表彰式

- ・2022(令和4)年8月20日(土)午後2時～午後3時
沖縄県平和祈念資料館 1階平和祈念ホール

④入賞作品数 (212点)

【小学校低学年の部】 27作品

	最優秀	優秀	優良	佳作	合計
図画	1	2	7	8	18作品
作文	1	1	1	1	4作品
詩	1	1	2	1	5作品

【小学校高学年の部】 45作品

	最優秀	優秀	優良	佳作	合計
図画	1	2	7	11	21作品
作文	0	2	2	0	4作品
詩	1	3	7	9	20作品

【中学校の部】 61作品

	最優秀	優 秀	優 良	佳 作	合 計
図 画	1	2	8	10	21作品
作 文	1	2	4	13	20作品
詩	1	2	7	10	20作品

【高等学校の部】 50作品

	最優秀	優 秀	優 良	佳 作	合 計
図 画	1	2	7	10	20作品
作 文	1	1	7	9	18作品
詩	1	3	1	7	12作品

【特別支援（学校及び学級）の部】 29作品

	最優秀	優 秀	優 良	佳 作	合 計
図 画	1	2	3	6	12作品
作 文	1	2	3	5	11作品
詩	1	1	1	3	6作品

⑤展示会の様子（沖縄県平和祈念資料館）



展示会開会式（6月23日）



観覧の様子（6月23日）



観覧の様子（表彰式8月19日）



観覧の様子（表彰式8月19日）

⑥ 表彰式の様子



記念撮影
(図画部門)



作品紹介 (図画)



記念撮影
(作文部門)



朗読 (作文)



記念撮影
(詩部門)



朗読 (詩)



賞状授与の様子

(2) 「こどもの日」ビデオ上映会

[期日] 2022 (令和4) 年5月5日 (木)

[場所] 1階平和祈念ホール

[内容] こどもの日は、子どもを対象に無料入館を実施するとともに、沖縄戦に関するアニメの上映会を実施した。

[相談者数] 32人

(3) 「慰霊の日」沖縄戦関連ビデオ上映会

[期日] 2022 (令和4) 年6月23日 (木)

[内容] 当館設立理念の普及啓発を図る目的で、慰霊の日は、開館時間を1時間延長するとともに、沖縄戦関連ビデオの上映会を実施している。



(4) 夏休み子ども向け企画

※新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの実施

①夏休み自由研究相談室

[期間] 7月22日 (金) ~ 8月31日 (水) 10:00 ~ 17:00

[場所] 資料館1階 情報ライブラリー

[内容] 沖縄戦に関する自由研究の進め方や分からないことなどの相談を受ける。

②夏休み子ども教室

[期日] 7月31日 (日) 13:00 ~ 16:00

[場所] 資料館1階 情報ライブラリー

[内容] 沖縄戦について学習し、それをまとめて自由研究ノートをつくる。

[参加者数] 5人



教室に参加した親子



自由研究に取り組む子どもたち



フィールドワークに行く
アカナちゃん

③親子平和フィールドワーク

〔期日〕 8月8日(月) 10:00～12:00

〔場所〕 糸満市平和祈念公園内

〔参加費〕 250円

〔内容〕 平和祈念公園内にある戦跡や慰霊碑をまわって、
沖縄戦を追体験しながら考える。

【コース】

- ①平和の礎 ②黎明の塔
- ③第32軍司令部壕
- ④沖縄師範健児の塔
- ⑤金井戸川 ⑥南冥の塔



フィールドワークの様子

④親子で学ぶ沖縄戦

〔期日〕 8月7日(日) 10:00～12:00

〔場所〕 2階大会議室及び常設展示室

〔内容〕 親子で平和講話の受講と常設展示室を見学し、
沖縄戦への関心と理解を深める。



平和講話



常設展示見学

⑤平和アニメ上映会

〔期日〕 8月6日(土)、8日(月) 14:00～16:00

〔場所〕 資料館1階 祈念ホール

〔内容〕 戦争に関するアニメ作品の鑑賞を通して、
平和の大切さや人権について考える。

沖縄県平和祈念資料館主催
平和アニメ上映会
午後2時～午後4時 入場無料
8月6日(土) 8月8日(月)
糸満市平和祈念資料館 1階 祈念ホール
TEL 098-997-3844 FAX 098-997-3947
http://www.peace-museum.okinawa.jp/
沖縄県平和祈念資料館

2 教育機関との連携

(1) 平和講話

設立理念にうたわれた「沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、もって恒久平和の樹立に寄与する」ことを具体化したものに県内の小中高校、特別支援学校等に実施している平和講話がある。児童・生徒が常設展示室を見学する前に、沖縄戦に至るまでの歴史的な流れや戦闘の経緯、特徴、常設展示室の紹介など、60分程度で要点をおさえて説明するとともに平和のために一人ひとりが取り組めることは何かを考えさせる内容となっている。

[平和講話実施状況] 総計 102 校 (109 回) [8,412 人]

- ・小学校 76 校 (77 回) [4,472 人] ・中学校 14 校 (16 回) [2,364 人]
- ・高等学校 8 校 (12 回) [1,330 人] ・特別支援学校 3 校 (3 回) [234 人]
- ・適応指導教室 1 校 (1 回) [12 人]



(2) 離島・遠隔地講師派遣事業

[期間] 通年

[実施] 2022 (令和 4) 年 6 月 6 日 (月)

国頭村立奥・安田・安波小学校児童 20 名 (全学年対象)

[場所] 国頭村立奥小学校 体育館

[講師] 久保田 暁 氏 (沖縄県平和祈念資料館友の会会長)

[内容] 所在地が離島又は遠隔地にある沖縄県内の学校 (※) が、当館の展示室見学に係る事前学習又は事後学習として平和講話を依頼する場合、申請理由を検討し当館が当該学校へ講師を派遣する。

【※対象について】

- ① 沖縄県内の学校教育法における小学校、中学校及び高等学校で、所在地が小中学校は国頭地区・恩納村、高等学校・特別支援学校は北部地区にあって、当館での平和講話の受講が困難なもの。
- ② いじめや疾病等の理由で、学校教育法に定める学校に通うことができない児童生徒の教育支援を行っている、いわゆるフリースクールで、所在地が沖縄県内の離島または遠隔地にあって、当館での平和講話受講が困難なもの。

(3) 児童・生徒の職場体験 (インターンシップ) の受け入れ

児童・生徒の望ましい職業観・勤労観を育むため、当資料館では、学校からの要望に応じて、毎年、職場体験及びインターンシップの生徒・学生を受け入れています。令和 2 年度からコロナ禍で中止になっていましたが、3 年ぶりに実施し、以下のとおり、県立高校から 14 名の実習生を受け入れました。

[学校名・人数・期間]

- ・県立那覇商業高等学校 (3名) 7月 5日(火)～ 7月 7日(木)
- ・県立沖縄水産高等学校 (4名) 7月 12日(火)～ 7月 14日(木)
- ・県立小禄高等学校 (3名) 10月 4日(火)～ 10月 6日(木)
- ・県立豊見城南高等学校 (4名) 11月 9日(水)～ 11月 11日(木)

[実習内容]

- ・貸出資料の点検及び整理 ・展示室の清掃及び管理 ・アンケートの集計作業
- ・平和講話の準備 ・新聞記事のスクラップ ・「平和の礎」の清掃
- ・情報ライブラリーの書籍整理 ・製本作業の補助 ・パネル作成

実習生のみなさんは、職場体験で働くことを通して平和について幅広く考える機会となります。また、当館職員にとっても、資料館業務の重要性を再認識し、行政サービスの向上にもつながります。体験した生徒の皆さんが、自分の個性を發揮し、将来地域に貢献できる人材になることを期待しています。



来館者メッセージボードの作成



情報ライブラリーでの製本作業



新聞スクラップ作業



来館者アンケート集計

(4) 沖縄少年院連携事業

[期日] 10月26日(水) 10:00～15:00 (通年)

[内容] 沖縄少年院の院生を対象に平和講話や常設展示室の案内。
摩文仁の戦跡フィールドワークを実施する。

[実施回数・人数] 1回 2人(コロナ禍のため、減少)

(5) 大学連携事業

県内大学のゼミ等と連携した取組を通して、沖縄戦の実相と教訓の継承を担う人材の育成を図る。沖縄戦に至る経緯や戦況、戦後から現代に至るまでの現状や課題等を主題とした平和講話を実施した後、常設展示室の見学、平和祈念公園内にある戦跡や慰霊碑等を巡り、沖縄戦及び平和の大切さについて学習する。

[参加者] 沖縄大学 学生 14人 教授 1名

[日 時] 2022(令和4)年7月24日(日) 13:30～16:30

[内 容] 平和講話、常設展示室見学、フィールドワーク(平和の礎、健児之塔等)

(6) 博物館学芸員実習の受け入れ

[期日] 2022(令和4)年8月23日(火)～8月31日(水)※土日を除く平日7日間

[内容] 県内外の大学で学芸員資格を得ようとする学生を受け入れ、当館事業の一端を学ぶことを通して、学芸員としての資質を磨く。

[受講生] 沖縄国際大学 2名



資料について学ぶ



公園内に建立された慰霊碑について学ぶ

(7) 教員向け平和講話等利用案内説明会

県内学校の教員を対象に、沖縄戦の実相・継承と平和発信に関する当館の取り組みを周知し、平和学習における当館の利活用と連携を深めることを目的に開催する。

(詳細は「講座・講習会・研修会」参照)

(8) 資料館講習会

バス、タクシー運転手、ガイド等の案内業務に従事するに人を対象に、沖縄戦の概要や当館常設展示、当館の事業全般についてご理解いただき、観光客の案内に資することを目的に開催する。

(詳細は「講座・講習会・研修会」参照)

(9) 大人のための平和学習(入門編)

「1から学ぶ沖縄戦～子・孫と学び合うために～」

[期日] 2022(令和4)年5月22日、6月26日、7月31日、
8月28日、10月30日【5回実施】

[場所] 資料館2階大会議室・常設展示室

[内容] 大人を対象に、平和講話(沖縄戦の経緯と特徴、沖縄戦の記憶の継承)及び常設展示室見学を行う。大人世代が「沖縄戦を1から学ぶ」ことを通して、家庭で子や孫と一緒に沖縄戦や平和について話し合う契機とし、世代間における沖縄戦の実相と教訓の継承に繋げることを目的とする。

[参加者] 合計 17名

2022(令和4)年度
大人のための平和学習 入門編
「1から学ぶ沖縄戦～子・孫と学び合うために～」

「平和祈念公園・資料館から随分と足が遠のいてるな～」
「そう言えば、家で沖縄戦・早期について語り合ったことがないな～」
「子どもの頃に学んだ沖縄戦がけど、経緯や背景をあまり知らないな～」
などと思っている大人のための「沖縄戦を1から学ぶきっかけ」となる平和学習入門講座です。
これを機に、手や脚と一緒に沖縄戦と平和について学び合ってみませんか。

開催日時
2022年 5月22日(日) 10:00～12:00 ※毎月第4日曜日 開催予定

場 所：沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室・常設展示室
内 容：①平和講話(沖縄戦の経緯と特徴・沖縄戦の記憶の継承と特徴等)
②常設展示室見学(案内)

講師：沖縄県平和祈念資料館 学芸員職員
対象者：沖縄戦(入門編)を学びたい方
定 員：20名
参加費：常設展示室観覧料(大人300円)
申込方法：電話にて受付 9:00～17:00(20名定員に達し次第締め切る)

※その他：新型コロナウイルス感染症防止のため、以下の感染予防の取組をお願いします。
・マスクの着用
・出入口での手洗いや手指消毒
・他の来場者が3分以上ある方の入室制限
・「感染防止中注意」の表示(掲示)
・来場者数を把握し、必要に応じて入室制限を行います。
※感染予防のため、来場者数は20名を上限とさせていただきます。

沖縄県平和祈念資料館 沖縄県立博物館学芸員センター
TEL: 098-807-2841 FAX: 098-807-2847

3 講座・講習会・研修会

(1) 県内学校教員向け平和講話等利用案内説明会

沖縄戦の実相と歴史的教訓を後世へ正し伝え、平和発信に関する当館の取り組みを広く県内小中高等学校及び特別支援学校等の教育現場に周知し、平和学習における連携を深め、児童・生徒に平和を大切にする「沖縄のこころ」を育むことを目的として、毎年、年度当初に説明会を開催している。

[日 時] 2022(令和4)年4月5日(火) 14:00～15:30

[場 所] 沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室

[参加者] 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教諭等 30名

[内 容] (1) 沖縄県平和祈念資料館について(設立理念、資料館の概要等について)

(2) 2021(令和3)年度事業紹介(児童・生徒の平和メッセージ展等)

(3) 教育機関との連携事業

① 県内学校向け平和講話

② 平和学習キット、証言映像貸出等

③ 離島・遠隔地講師派遣事業

(4) 質疑応答



会場の様子



展示の説明



貸出資料(写真パネル)



貸出資料(平和学習キット)

(2) 島尻教育事務所中堅教諭等資質向上研修

教員の中堅教諭を対象とする島尻教育事務所主催の研修会において講義及び平和の礎・常設展示室見学を行った。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資する事をねらいとしている。

[日 時] 2022(令和4)年5月9日(月) 14時30分～16時45分

[場 所] 各学校及び島尻教育事務所

[受講者] 島尻教育事務所管内 小・中学校、養護教諭、幼稚園・こども園 74名

[内 容] 講義:「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

[方 法] オンライン研修

(3) 県立学校初任者研修

県立高等学校及び県立特別支援学校において本年度新採用された教諭を対象とする沖縄県立総合教育センター主催の初任者研修において講義を行った。主に沖縄戦の概要や県の平和行政、当資料館の設立理念や事業内容、平和教育の実際と課題、進め方について理解を図り、平和教育の実践力向上を図ることをねらいとしている。

[日 時] 2022(令和4)年5月12日(木)14時00分～15時00分

[場 所] 1階平和祈念ホール及び常設展示室

[受講者] 県立学校初任者62名

[内 容] 講義:「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

(4) 幼稚園・認定こども園初任者研修

幼稚園及び認定こども園において本年度新採用された教諭を対象とする沖縄県立総合教育センター主催の初任者研修において講義を行った。主に沖縄戦の概要や県の平和行政、当資料館の設立理念や事業内容、平和教育の実際と課題、進め方について理解を図り、平和教育の実践力向上を図ることをねらいとしている。

[日 時] 2022(令和4)年6月10日(金)15時10分～16時40分

[場 所] 沖縄県立総合教育センター 多目的研修等

[受講者] 幼稚園・認定こども園初任者91名

[内 容] 講義:「学校教育における平和教育の意義と必要性について」

(5) 島尻教育事務所初任者研修

教員の初任者を対象とする島尻教育事務所主催の研修会において講義及び平和の礎・常設展示室見学を行った。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資する事をねらいとしている。

[日 時] 2022(令和4)年7月7日(木)14時00分～16時45分

[場 所] 2階大会議室及び常設展示室

[受講者] 島尻教育事務所管内 小・中学校64名

[内 容] 講義:「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

(6) 那覇教育事務所 初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修

教員の初任者及び中堅教諭を対象とする那覇教育事務所主催の研修会において講義・常設展示室見学を行った。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資する事をねらいとしている。

[日 時] 2022(令和4)年7月25日(月)14時30分～16時45分

[場 所] 2階大会議室及び常設展示室

[受講者] 那覇教育事務所管内 小・中学校43名

[内 容] 講義:「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

(7) 養護教諭初任者研修

本年度新採用された養護教諭初任者を対象とする研修会において講義を行った。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資する事をねらいとしている。

[日 時] 2022(令和4)年8月17日(水)11時00分～12時00分

[場 所] 県立総合教育センター 第2研修室(本館3階)

[受講者] 養護教諭初任者10名

[内 容] 講義:「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

(8) JICA 日系社会研修

沖縄にルーツのある日系人や沖縄県人会等地域社会のリーダーを対象に、沖縄の歴史・文化・戦後復興の歩みを学び、ルーツである沖縄を再認識すると共に、薄れつつある沖縄アイデンティティを強化し、研修員所属日系地域のコミュニティの活性化と発展に寄与する若きリーダーを育成することをねらいとしている。

[日 時] 2022(令和4)年10月13日(木)14時00分～15時00分

[場 所] 2階大会議室(※講義後、常設展示室自由見学)

[受講者] 沖縄にルーツのある県系人9名(アルゼンチン、ブラジル、ボリビア)

[機 関] 特定非営利活動法人 レキオウイングス

[内 容] 講義:「沖縄県平和祈念資料館の平和事業の取り組み」

(9) JICA 国別研修「平和教育における現職教育研修」[対象国:コロンビア]

本研修は、沖縄県の教育行政、学習指導要領、そのなかでも特に沖縄の強みである平和教育を主な領域としている。2016年に内戦からの和平合意が締結され、初等・中等・高等教育に平和教育が教科となることが決定したコロンビアの教育関係者を対象に、日本の平和教育の意義・実践方法を理解し、コロンビアの平和教育の改善、質の向上に資することを目的としている。

[日 時] 2023(令和5)年1月24日(火)15時30分～17時00分

[場 所] 沖縄国際センター

[受講者] 14名(コロンビア国)

[機 関] 特定非営利活動法人 レキオウイングス

[内 容] 講義:「沖縄戦についての講話及び沖縄県平和祈念資料館の平和事業の取り組み」

(10) 沖縄県平和祈念資料館講習会

県内の旅行・観光等の関係機関において、当館への案内業務に携わる方々を対象に、本館の設立理念・目的や役割、施設・設備及び展示内容や沖縄戦について理解・認識を深めてもらい、本館の利活用並びに案内業務の推進を図ることを目的に、講習会を毎年開催している。

[日 時] 2022(令和4)年11月30日(水)13:30～15:45 (15:45～16:45 希望者のみ、展示室見学)

[場 所] 沖縄県平和祈念資料館2階大会議室、常設展示室

[受講者] 県内観光業、旅行業および案内ガイド等関係機関17名

[内 容] ・平和祈念資料館の概要について

- ・講話:「沖縄戦の特徴と教訓」(講師:平和祈念資料館学芸班学芸員 仲程 勝哉)
- ・平和祈念資料館展示の内容について
- ・館内案内及びポイント解説(希望者のみ)



平和講話の様子



館内を案内する職員



館内を案内する職員

VI 広報活動・出版等

○『沖縄県平和祈念資料館 年報 第22号』

2021（令和3）年度、当館事業の実績報告書に関わる行政資料
入館者の概要、事業内容や活動報告等 A4版 88頁、500部
※博物館、図書館等の施設へ配布。

○「資料館だより」 第43号、第44号

資料館の活動報告や事業計画等について掲載。年間2回発行（11月、3月）
A4版 8頁、2,500部
※学校団体、公立図書館、博物館施設等へ配布。

○『令和4年度第21回特別企画展 アメリカ世の記憶 ～日本復帰50周年記念特別企画展～』

図録：A4版 22頁、800部 チラシ：A4版 2,000枚、ポスター A2サイズ 600枚
※学校団体、公立図書館、博物館施設等へ配布。

○「新収蔵品展」 2019年（令和元年）・2020（令和2）寄贈資料

図録 A4版 部 チラシ A4版 枚 ポスター
※学校団体、公立図書館、博物館施設等へ配布。

○「第32回児童・生徒の平和メッセージ」

ポスター B2サイズ 650枚 チラシ A2サイズ 3,000枚 報告書：A4版 88頁、900部
※県内学校、市町村教育委員会等へ配布。

○『令和4年度「平和への思い（ウムイ）」発信・交流・継承事業報告書』

A4版 140頁、850部（日本語版 700部・英語版 150部）

※参加者（各国・地域）が在籍する大学、国公立図書館、博物館、県内大学、高等学校等に配布。



Ⅶ その他の事業

1 沖縄平和啓発（継承）プロモーション事業（戦後の証言映像収録・編集及びWEB公開）

（1）実施目的

沖縄戦後の苦難及び復興と発展の道を行ってきた「終戦から復帰までの沖縄」の記憶を次世代に継承し、平和を希求する「沖縄のこころ」を世界に強く発信するために、戦後から日本復帰（1950年代～1972年）までの米国統治下の沖縄に関する証言映像の収録・編集及びWeb公開を行う。

（2）実施主体

- ・主催 沖縄県（主管 沖縄県平和祈念資料館）
- ・受託事業者 ①戦後の証言映像収録・編集業務：株式会社シネマ沖縄
②戦後の証言映像WEBサイト制作・公開業務：株式会社okicom

（3）事業期間

- ①戦後の証言映像収録・編集業務
2022（令和4）年8月16日～2023（令和5）年3月30日
- ②戦後の証言映像WEBサイト制作・公開業務
2023（令和5）年2月10日～2023（令和5）年3月30日

（4）事業内容

終戦から日本復帰まで27年間に及ぶ米国統治下（「アメリカ世」）におかれた沖縄の諸相を示す証言映像20名分を収録・編集し、Webサイト「世替わりを生きて」を開設して当館ホームページから公開した。

（5）事業成果

当館では、これまで多くの沖縄戦体験者の証言を証言映像として記録し、館内及びWebサイト等。（「戦世の記憶」「戦世からのあゆみ」）を通じて公開している。令和4年度は、新たな取り組みとして、終戦から1972年の日本復帰まで米国統治下におかれた沖縄で、さまざまな体験をされた20名の方々にご自身の体験を語っていただいた。証言者の年齢層も大正生まれから戦後生まれまで幅広く、沖縄本島及び周辺離島、宮古・八重山、県外出身で沖縄在住者などである。

証言内容も戦後の復興、青年団活動、慰霊と観光、コザの街、高校野球、八重山開拓移民、琉米文化会館、復帰運動など多岐にわたり、当時の沖縄社会の諸相や人々が直面してきた問題などについて知ることができる。映像中には、証言内容に関連した写真や映像等も挿入し、体験内容や当時の状況を理解しやすい構成となっている。県内外世代を問わず、多くの方々にご覧いただきたい映像ばかりである。

【「世替わりを生きて」Webページ】

<http://www.peace-museum.okinawa.jp/yogawari/>



戦後の証言映像

沖縄県平和祈念資料館では、これまで多くの戦争体験者の証言を記録し公開してきました。令和4年度は、新たな取り組みとして、終戦から1972年日本復帰までアメリカの施政権下（いわゆる「アメリカ世」）におかれた沖縄で、さまざまな体験をされた20名の方々にご自身の体験を語っていただきました。

証言内容も戦後の復興、青年団活動、慰霊と観光、コザの街、高校野球、開拓移民、琉球文化会館、復帰運動など多岐にわたり、当時の沖縄社会の諸相や人々が直面してきた問題などについて知ることができます。

証言者の紹介【50音順】

安里 嗣則さん 野球部監督として、1965年春にコザ高校、1989年夏に石川高校を率いて甲子園出場。1970年、コザ高校時代には、コザ騒動の現場に居合わせる。	伊狩 典子さん 戦後、沖縄県青年団協議会や日本青年団協議会の活動にも携わる。長年方言ニュースのキャスターとして、「うちなーぐち」の普及に尽力。	石川 元平さん 元沖縄県教職員組合執行委員長。沖縄教職員会の職員として復帰運動に関わる。初の公道主席となった屋良朝苗氏の秘書も務めた。
稲嶺 成祚さん 沖縄県造形連盟会長、大学教授として後進の指導にあたる。荒廃した沖縄が戦後復興していく様子や人々の生活、学校生活、美術活動、ニシムイ（美術村）などに詳しい。	嬉野 京子さん 復帰前、渡航が厳しかった米国統治下に来沖し、沖縄の現状を本土側へ伝えた報道写真家。	遠藤 保雄さん 高圧送電線の技師として来県し、沖縄の復興に携わる。1951年から1970年頃までの沖縄の様子を、8ミリ映像で記録してきた。
大城 和喜さん 幼い頃から社会情勢や政治問題に関心があり、大人に混じって復帰運動の集会等に参加。高校生の時には、京都に派遣され沖縄の実情を全国に訴えた。	大嶺 昇さん 名護や那覇にあった琉球文化会館に20歳から日本復帰前まで勤務。切手収集やレコード鑑賞、パンフレット等の編集技術は、文化会館時代に学ぶ。	主和津 ジミーさん 米国人の養子となり、高校卒業前に米陸軍に入り、ベトナム戦争を経験。帰沖後は嘉手納基地で働き、高等弁務官のアドバイザーを務めた。
洲鎌 徳次郎さん 宮古島出身で戦後那覇へ。まちくあーで傘の販売店を70年近く営む。ガーブ川水上店舗など市場の変遷を知る人物。	砂川 幸夫さん 宮古琉球文化会館元職員。復帰後は県立図書館宮古分館、宮古島市立図書館に長年勤務し、分館長を務める。宮古郷土史研究会や、戦後の宮古の文化活動に詳しい。	瀬名波 孝子さん 戦前、軍事看護劇で役者デビュー。戦後、沖縄芝居の第一線で女優として活躍し、現在もなお現役である。
徳富 清次さん 戦後のコザを象徴する沖縄初のステーキハウス「ニューヨークレストラン」で米国の食文化と出会う。戦後基地のある街の生活を体験してきた。	仲原 清正さん 石垣島伊野田地域に入植した開拓者たちの苦労を知る開拓移民2世。戦後のマラリア防遏の歴史を記録として継承する活動を行う。	名幸 諄子さん 米国統治時代の言論統制が厳しい中、青年団活動を通して、沖縄の実情を本土側の人々に知らせるため復帰に関する書籍の出版に携わる。教材の乏しい学校現場を支援した。
平川 崇賢さん 石川東恩納で幼少期を過ごし、商工会議所青年部、市議会議員、合併時の石川市長を務めた。戦後石川の変遷を見てきた。	松本 嘉代子さん 両親がフィリピンへ移民。現地で生まれ、戦後沖縄へ引き揚げ。那覇のまちの様子や戦後の食文化の変遷に詳しい。沖縄の郷土料理の重要性とその継承及び後継者育成に尽力。	三木 健さん 沖縄の日本復帰に向けた日米交渉が本格化した1968～69年、琉球新報東京支社の記者として日米交渉の様子取材した。
宮里 政欣さん 沖縄ツーリストの創業メンバーの一人。戦後の観光産業は、戦跡を巡る「戦没者への慰霊巡拝」から始まり、米国民政府との交渉や、慰霊団の身元引受人を買って出た。	山里 節子さん 1950年頃米国内務省ヘレン・フォスター博士の学術調査に通訳兼アシスタントとして参加。現在、石垣の自然環境保護を訴える平和活動を行っている。	

沖縄県平和祈念資料館
〒901-0333
沖縄県糸満市摩文仁 614 番地の 1
TEL.098-997-3844 FAX.098-997-3947

資料館のホームページから

戦争体験者の証言映像「戦世の記憶」「戦世からのあゆみ」もご覧いただけます。



証言映像は Web サイト「世替わりを生きて」から公開しております。どうぞご覧ください。

2 令和4年度「平和への思い（ウムイ）発信・交流・継承事業」

(1) 実施目的

沖縄と同様に、悲惨な戦争体験などを有し、体験の継承と平和構築に取り組むアジア諸国と日本の学生が共に学びつつ相互理解を深め、平和について考える機会を提供し、各国・地域の平和教育・平和活動に資するとともに、本事業で培った絆により平和構築のためのネットワーク形成と広く平和のために活動する人材を育成し、事業の成果を平和教育等に継続的に活用する目的で実施しました。

2019（令和元）年から事業が始まり、2022（令和4）年度は、昨年度に引き続き韓国、台湾、ベトナム、カンボジアの参加者はオンラインで、広島、長崎、沖縄の参加者は対面で参加するという、ハイブリッド形式で事業を実施しました。

(2) 実施主体

- ・主催 沖縄県（主管 沖縄県平和祈念資料館）
- ・受託事業者 特定非営利活動法人 沖縄平和協力センター（OPAC）

(3) 事業期間

- ・2022（令和4）年9月～2023（令和5）年3月17日（金）
- ・共同学習：2022（令和4）年11月7日（月）～11月13日（日）（会場：糸満市観光交流施設くくる糸満ほか）

(4) 参加者

	参加国・地域	学習テーマ	参加者数	
			学生	指導者・通訳
1	カンボジア	カンボジア大虐殺 (ポル・ポト政権下の虐殺)	5名	2名
2	韓国	濟州島4.3事件	5名	1名
3	台湾	2.28事件	5名	1名
4	ベトナム	ベトナム戦争	5名	1名
5	日本（沖縄県）	沖縄戦	5名	1名
6	日本（広島県）	広島県における原爆投下	5名	1名
7	日本（長崎県）	長崎県における原爆投下	5名	1名

注）学生は、大学生・大学院生である。通訳は指導者が務めた。

(5) 事業成果

海外からの参加者と沖縄空手会館に参集した日本国内（広島・長崎・沖縄）の参加者をオンラインで繋ぎ、共同学習を実施しました。共同学習では、沖縄戦に関する特別講義のほか、各国・地域から学習テーマの発表及び質疑応答を通して、アジア諸国の学生が戦争等の実相や悲惨な経験を通して得た教訓を学びました。

また、共同学習の日程中、日本国内の参加者は沖縄県平和祈念資料館友の会の久保田暁会長による講話に加え、県平和祈念資料館、首里城跡、首里第32軍司令部壕跡、読谷村チビチリガマ、嘉手納町道の駅及び宜野湾市嘉数高台のフィールドワークに参加し、沖縄戦と戦後復興の歩みを学びました。

今年度は、これまで本事業に参加したメンバーとのオンライン交流会を初めて行いました。本事業参加後にその経験が就職に繋がった者や、改めて平和について学びを始めた者など、事業に参加した学生が多方面で「平和への思い」を発信し続けている事が伺い知れました。

共同学習最終日には、成果報告会を実施し、各国・地域の学習テーマの発表、「若者とアジアの平和を考える」というテーマでパネルディスカッションを行いました。



オンライン共同学習の様子



共同学習風景



共同学習風景



チビチリガマでのフィールドワーク



シンポジウム



オンラインメンバーと全員集合

3 学芸員人材育成事業

2021（令和3）年度採用の学芸員に、沖縄戦及び平和に関する専門性を高めるための人材育成を行う。学芸員の配置・育成により資料館の体制を強化することで、沖縄戦及び平和に関する調査研究や展示活動及びレファレンス対応等の学芸業務の充実を図り、沖縄戦の実相と教訓の次世代への継承及び平和の尊さの発信強化に取り組む。（令和4年度は、本事業2年計画の最終年度）

内容：①資料保存管理等に関する業務の育成指導

- ・講義（収蔵品に関する現状と課題）
- ・館内実習（収蔵品の保存・整理・分類、データベース化、利活用）
- ・館外実習（保存法に関する専門館での研修）

②調査・研究等に関する業務の育成指導

- ・講義（沖縄戦研究の現状と課題、レファレンス対応法）
- ・館内実習（資料館の沿革と常設展示室の案内・解説法）
- ・館外実習（戦争体験者からの聞き取り調査、戦争遺跡の現地研修）

③企画展等に関する業務の育成指導

- ・講義（企画展等の実施状況・内容）
- ・館内実習（企画展の企画立案・資料及び図録作成・展示作業）
- ・館外実習（類似館での平和事業調査・研修）



アカナちゃん

VIII 入館者状況

1 月別入館者数

年月	個人入館者数 ※1			団体入館者数 ※1			入館者総数 ※1			開館 日数	一日平均 入館者数※1	入館者 総数※2
	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計			
2022年4月	3,509 (163)	556 (7)	4,065 (170)	736 (202)	8,550 (1772)	9,286 (1974)	4,245 (365)	9,106 (1779)	13,351 (2144)	30	445	15,121
2022年5月	4,291 (201)	597 (94)	4,888 (295)	1,149 (261)	10,387 (2600)	11,536 (2861)	5,440 (462)	10,984 (2694)	16,424 (3156)	31	530	18,645
2022年6月	6,406 (1907)	1,829 (1059)	8,235 (2966)	1,730 (407)	12,712 (4045)	14,442 (4452)	8,136 (2314)	14,541 (5104)	22,677 (7418)	30	756	28,805
2022年7月	5,594 (262)	1,467 (32)	7,061 (294)	631 (338)	3,831 (2034)	4,462 (2372)	6,225 (600)	5,298 (2066)	11,523 (2666)	31	372	15,495
2022年8月	6,969 (202)	3,354 (53)	10,323 (255)	194 (78)	274 (103)	468 (181)	7,163 (280)	3,628 (156)	10,791 (436)	31	348	14,634
2022年9月	3,667 (116)	842 (6)	4,509 (122)	369 (122)	4,296 (1166)	4,665 (1288)	4,036 (238)	5,138 (1172)	9,174 (1410)	30	306	11,419
2022年10月	5,039 (189)	784 (5)	5,823 (194)	1,729 (147)	24,656 (1383)	26,385 (1530)	6,768 (336)	25,440 (1388)	32,208 (1724)	30	1,074	32,965
2022年11月	7,095 (569)	1,507 (879)	8,602 (1448)	3,176 (228)	31,870 (1485)	35,046 (1713)	10,271 (797)	33,377 (2364)	43,648 (3161)	30	1,455	43,648 ※3
2022年12月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0	0	0
2023年1月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0	0	0
2023年2月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0	0	0
2023年3月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0	0	0
合計	42,570 (3609)	10,936 (2135)	53,506 (5744)	9,714 (1783)	96,576 (14588)	106,290 (16371)	52,284 (5392)	107,512 (16723)	159,796 (22115)	243	658	180,732

() は内数で無料入場者数

※1 は平和祈念資料館2階常設展示室に入室した人数

※2 は平和祈念資料館出入口に設置している機器で把握した人数

※3 は2022年11月に出入口設置の機器が異常値を検出したため※1と同数を記載

2 年度別入館者数

年度別	有料観覧													開館 日数	平均	
	観覧券種別						出身別			計	※無料 観覧者	観覧者 総数				
	大人個人 (%)		大人団体 (%)		小人個人 (%)		小人団体 (%)		県内				県外			外国
	大人個人 (%)	大人団体 (%)	大人個人 (%)	大人団体 (%)	小人個人 (%)	小人団体 (%)	小人個人 (%)	小人団体 (%)	県内				県外			外国
2000年度	161,361 (38)	71,140 (17)	24,658 (6)	163,644 (39)	111,401	305,812	3,590	420,803	60,215	481,018	310	1,552				
2001年度	111,197 (37)	62,902 (21)	18,195 (6)	107,802 (36)	43,820	251,983	4,293	300,096	36,149	336,245	313	1,074				
2002年度	97,221 (29)	40,624 (12)	17,362 (5)	184,047 (54)	27,955	307,328	3,031	339,254	39,539	378,793	314	1,206				
2003年度	101,015 (27)	37,618 (10)	17,236 (5)	214,535 (58)	29,643	337,730	3,031	370,404	36,748	407,152	317	1,284				
2004年度	91,980 (26)	33,004 (9)	16,329 (5)	215,603 (60)	31,597	321,305	4,014	356,916	37,195	394,111	312	1,263				
2005年度	96,355 (25)	35,303 (9)	18,972 (5)	230,791 (61)	41,577	336,415	3,429	381,421	34,741	416,162	314	1,325				
2006年度	107,813 (26)	33,767 (8)	21,342 (5)	253,821 (61)	14,330	398,291	4,122	416,743	32,987	449,730	359	1,253				
2007年度	107,767 (26)	35,679 (9)	20,563 (5)	245,093 (60)	13,504	390,661	4,937	409,102	30,394	439,496	358	1,228				
2008年度	96,789 (24)	32,933 (8)	18,998 (5)	252,573 (63)	8,985	388,269	4,039	401,293	31,870	433,163	359	1,207				
2009年度	86,412 (23)	34,241 (9)	16,252 (4)	237,756 (64)	9,634	358,583	6,444	374,661	32,712	407,373	359	1,135				
2010年度	81,124 (22)	31,767 (9)	15,092 (4)	234,255 (65)	9,906	345,521	6,811	362,238	33,992	396,230	355	1,116				
2011年度	69,648 (19)	28,662 (8)	11,586 (3)	249,400 (70)	9,199	344,282	5,815	359,296	32,336	391,632	355	1,103				
2012年度	70,341 (21)	29,600 (9)	10,469 (3)	227,827 (67)	8,869	322,946	6,422	338,237	29,318	367,555	352	1,044				
2013年度	74,165 (22)	26,641 (8)	11,004 (3)	232,295 (68)	7,947	328,333	7,825	344,105	31,306	375,411	359	1,046				
2014年度	70,529 (21)	27,000 (8)	10,276 (3)	223,917 (68)	7,486	314,598	9,638	331,722	30,370	362,092	353	1,026				
2015年度	78,673 (23)	29,449 (9)	12,481 (4)	218,478 (64)	9,038	317,869	12,174	339,081	32,287	371,368	358	1,037				
2016年度	75,390 (22)	27,261 (8)	12,454 (4)	226,001 (66)	7,963	319,109	14,034	341,106	31,396	372,502	356	1,046				
2017年度	77,008 (24)	26,842 (8)	13,428 (4)	209,461 (64)	9,329	299,935	17,475	326,739	29,880	356,619	356	1,002				
2018年度	73,156 (23)	26,482 (8)	13,434 (4)	204,277 (64)	7,793	292,491	17,065	317,349	31,274	348,623	349	999				
2019年度	75,543 (25)	23,743 (8)	11,951 (4)	194,972 (64)	5,424	286,333	14,452	306,209	33,422	339,631	352	965				
2020年度	21,096 (52)	1,838 (5)	4,053 (10)	13,485 (33)	3,542	34,994	1,936	40,472	7,104	47,576	278	171				
2021年度	20,046 (36)	2,780 (5)	4,168 (8)	28,436 (51)	1,732	52,002	1,696	55,430	11,337	66,767	237	282				
2022年度	38,961 (28)	7,931 (6)	8,801 (6)	81,988 (60)	4,163	130,429	3,089	137,681	22,115	159,796	243	658				
累計	7,232,677											7,618	1,063			

3 月別県内・県外学校、その他団体見学者（小人）観覧状況

月	児童・生徒・学生											その他				合計	
	県内					県外						県内・県外総計					団体見学者 (小人)
	小学校	中学校	高等学校	大学	計	小学校	中学校	高等学校	大学	計	小学校	中学校	高等学校	大学	計		
4月	9 (9)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	12 (0)	40 (0)	1 (0)	53 (0)	9 (9)	12 (0)	44 (4)	1 (0)	66 (13)	0 (0)	66 (13)
5月	21 (21)	7 (7)	5 (3)	1 (0)	34 (31)	0 (0)	32 (0)	27 (0)	1 (0)	60 (0)	21 (21)	39 (7)	32 (3)	2 (0)	94 (31)	0 (0)	94 (31)
6月	1,826 (1,826)	689 (689)	140 (85)	14 (0)	2,669 (2,600)	4 (0)	4,465 (0)	3,201 (0)	48 (0)	7,718 (0)	1,830 (1,826)	5,154 (689)	3,341 (85)	62 (0)	10,387 (2,600)	0 (0)	10,387 (2,600)
7月	15 (15)	2 (2)	3 (3)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	5 (0)	11 (0)	0 (0)	16 (0)	15 (15)	7 (2)	14 (3)	0 (0)	36 (20)	2 (0)	38 (20)
8月	1,011 (1,011)	555 (537)	486 (486)	0 (0)	2,052 (2,034)	1 (0)	299 (0)	1,457 (0)	0 (0)	1,757 (0)	1,012 (1,011)	854 (537)	1,943 (486)	0 (0)	3,809 (2,034)	22 (0)	3,831 (2,034)
9月	16 (16)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	18 (18)	1 (0)	3 (0)	15 (0)	4 (0)	23 (0)	17 (16)	3 (2)	17 (2)	4 (0)	41 (18)	1 (0)	42 (18)
10月	752 (752)	291 (291)	315 (315)	0 (0)	1,358 (1,358)	75 (0)	1,443 (0)	21,695 (0)	4 (0)	23,217 (0)	827 (752)	1,734 (291)	22,010 (315)	4 (0)	24,575 (1,358)	81 (25)	24,656 (1,383)
11月	26 (26)	4 (3)	0 (0)	0 (0)	30 (29)	0 (0)	19 (0)	161 (2)	1 (0)	181 (2)	26 (26)	23 (3)	161 (2)	1 (0)	211 (31)	2 (0)	213 (31)
12月	956 (956)	615 (467)	0 (0)	0 (0)	1,571 (1,423)	1 (0)	2,142 (0)	28,107 (62)	23 (0)	30,273 (62)	957 (956)	2,757 (467)	28,107 (62)	23 (0)	31,844 (1,485)	19 (0)	31,863 (1,485)
1月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
2月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
3月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
人数合計	140 (140)	25 (24)	20 (18)	3 (0)	188 (182)	7 (0)	119 (0)	406 (2)	8 (0)	540 (2)	147 (140)	144 (24)	426 (20)	11 (0)	728 (184)	20 (9)	748 (193)
人数	8,882 (8,882)	2,992 (2,819)	2,804 (2,749)	78 (0)	14,756 (14,450)	264 (0)	14,021 (0)	66,685 (62)	329 (0)	81,299 (62)	9,146 (8,882)	17,013 (2,819)	69,489 (281)	407 (0)	96,055 (14,512)	514 (76)	96,569 (14,588)

() は内数で無料入館者数

4 市町村別団体入館者数

市町村名		小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総計	
		学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1	那覇市	23	2,024	3	312	4	380	1	14	31	2,730	34	961	65	3,691
2	うるま市	9	693	1	158	3	698	0	0	13	1,549	2	142	15	1,691
3	宜野湾市	4	444	2	411	0	0	0	0	6	855	2	77	8	932
4	宮古島市	13	493	0	0	0	0	0	0	13	493	1	80	14	573
5	石垣市	6	170	0	0	0	0	0	0	6	170	0	25	6	195
6	浦添市	6	747	4	857	1	40	0	0	11	1,644	4	284	15	1,928
7	名護市	7	257	0	0	0	0	0	0	7	257	2	53	9	310
8	糸満市	4	316	4	465	1	241	0	0	9	1,022	8	292	17	1,314
9	沖縄市	8	786	2	338	4	723	0	0	14	1,847	3	217	17	2,064
10	豊見城市	7	734	0	0	2	298	0	0	9	1,032	1	64	10	1,096
11	南城市	8	423	1	18	0	0	0	0	9	441	2	110	11	551
12	国頭村	2	36	1	26	0	0	0	0	3	62	0	21	3	83
13	大宜味村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	東 村	1	11	1	11	0	0	0	0	2	22	0	8	2	30
15	今帰仁村	2	66	0	0	0	0	0	0	2	66	1	34	3	100
16	本部町	4	148	0	0	0	0	0	0	4	148	0	17	4	165
17	恩納村	3	60	0	0	0	0	0	0	3	60	0	10	3	70
18	宜野座村	2	44	1	63	0	0	0	0	3	107	0	11	3	118
19	金武町	1	105	1	125	0	0	0	0	2	230	0	21	2	251
20	伊江村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	読谷村	0	0	0	0	1	315	0	0	1	315	1	18	2	333
22	嘉手納町	3	91	1	148	2	55	0	0	6	294	1	96	7	390
23	北谷町	2	136	0	0	0	0	0	0	2	136	1	34	3	170
24	北中城村	0	0	1	7	1	23	0	0	2	30	1	20	3	50
25	中城村	1	65	1	27	0	0	0	0	2	92	0	7	2	99
26	西原町	3	317	0	0	0	0	2	64	5	381	1	45	6	426
27	八重瀬町	2	200	1	26	0	0	0	0	3	226	4	154	7	380
28	与那原町	5	212	0	0	0	0	0	0	5	212	0	19	5	231
29	南風原町	1	130	0	0	1	31	0	0	2	161	1	17	3	178
30	久米島町	4	81	0	0	0	0	0	0	4	81	0	16	4	97
31	渡嘉敷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
32	座間味村	1	10	0	0	0	0	0	0	1	10	0	6	1	16
33	粟国村	1	10	0	0	0	0	0	0	1	10	0	3	1	13
34	渡名喜村	1	4	0	0	0	0	0	0	1	4	0	4	1	8
35	南大東村	1	18	0	0	0	0	0	0	1	18	0	4	1	22
36	北大東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	伊平屋村	1	11	0	0	0	0	0	0	1	11	0	4	1	15
38	伊是名村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39	多良間村	1	12	0	0	0	0	0	0	1	12	0	3	1	15
40	竹富町	2	16	0	0	0	0	0	0	2	16	0	8	2	24
41	与那国町	1	12	0	0	0	0	0	0	1	12	0	3	1	15
合 計		140	8,882	25	2,992	20	2,804	3	78	188	14,756	70	2,888	258	17,644

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

5 都道府県別団体入館者数

都道府県名	小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総計	
	学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1 北海道	1	10	2	140	17	1,447	0	0	20	1,597	5	466	25	2,063
2 青森県	0	0	0	0	1	21	0	0	1	21	2	47	3	68
3 岩手県	0	0	0	0	1	112	0	0	1	112	0	4	1	116
4 宮城県	0	0	0	0	9	704	0	0	9	704	0	43	9	747
5 秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 山形県	0	0	0	0	1	29	0	0	1	29	1	36	2	65
7 福島県	0	1	1	48	4	325	0	0	5	374	1	51	6	425
8 茨城県	0	0	0	0	11	1,583	0	0	11	1,583	2	146	13	1,729
9 栃木県	0	0	1	42	10	1,705	0	0	11	1,747	0	119	11	1,866
10 群馬県	0	0	0	0	1	51	0	0	1	51	2	30	3	81
11 埼玉県	0	0	1	124	36	8,270	0	0	37	8,394	3	596	40	8,990
12 千葉県	0	0	0	0	24	5,570	0	0	24	5,570	0	317	24	5,887
13 東京都	2	141	13	1,857	97	15,433	4	111	116	17,542	26	1,637	142	19,179
14 神奈川県	1	18	10	1,205	57	11,745	1	20	69	12,988	5	689	74	13,677
15 新潟県	0	0	1	77	6	908	0	0	7	985	0	47	7	1,032
16 富山県	0	0	1	156	1	40	0	0	2	196	0	15	2	211
17 石川県	0	0	1	29	0	0	0	0	1	29	1	29	2	58
18 福井県	0	0	0	0	1	128	0	0	1	128	0	10	1	138
19 山梨県	0	0	0	0	4	510	0	0	4	510	2	55	6	565
20 長野県	0	0	0	0	5	798	0	0	5	798	1	45	6	843
21 岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	27	1	27
22 静岡県	0	0	2	161	12	1,807	0	0	14	1,968	0	117	14	2,085
23 愛知県	0	0	8	1,426	19	2,942	2	175	29	4,543	4	296	33	4,839
24 三重県	0	0	2	110	6	303	0	0	8	413	1	46	9	459
25 滋賀県	0	0	2	329	4	773	0	0	6	1,102	3	99	9	1,201
26 京都府	0	0	9	1,039	7	982	0	0	16	2,021	7	249	23	2,270
27 大阪府	1	18	39	4,770	16	2,267	0	0	56	7,055	23	706	79	7,761
28 兵庫県	0	1	6	851	23	4,235	1	19	30	5,106	23	479	53	5,585
29 奈良県	0	0	4	496	0	0	0	0	4	496	2	59	6	555
30 和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31 鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
32 島根県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33 岡山県	0	0	5	256	7	331	0	0	12	587	1	60	13	647
34 広島県	0	0	1	42	12	2,013	0	0	13	2,055	1	148	14	2,203
35 山口県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	53	1	53
36 徳島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37 香川県	0	0	1	204	0	0	0	0	1	204	0	18	1	222
38 愛媛県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39 高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40 福岡県	0	0	3	197	13	1,612	0	0	16	1,809	2	128	18	1,937
41 佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
42 長崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	71	1	71
43 熊本県	0	0	6	462	0	0	0	0	6	462	1	80	7	542
44 大分県	0	0	0	0	1	41	0	4	1	45	1	37	2	82
45 宮崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
46 鹿児島県	2	75	0	0	0	0	0	0	2	75	0	12	2	87
合計	7	264	119	14,021	406	66,685	8	329	540	81,299	123	7,067	663	88,366
47 沖縄県	140	8,882	25	2,992	20	2,804	3	78	188	14,756	70	2,888	258	17,644

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

6 県内小・中・高校の地区別入館状況

県内小・中・高校の入館校数

小学校**140**校 中学校**25**校 高等学校**20**校

(県内学校総数 小学校268校 中学校149校 高校63校 特支22校)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	75校	92校	140校
中学校	1校	12校	25校
高等学校	5校	9校	20校

平和講話実施総数(回数)

小学校 76校(77回) 中学校 14校(16回)

高等学校 8校(12回) 特別支援学校 3校(3回)

※特別支援学校は小・中・高の各分類に分けられています。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	26校	23校	20校
中学校	0校	1校	4校
高校	1校	1校	0校

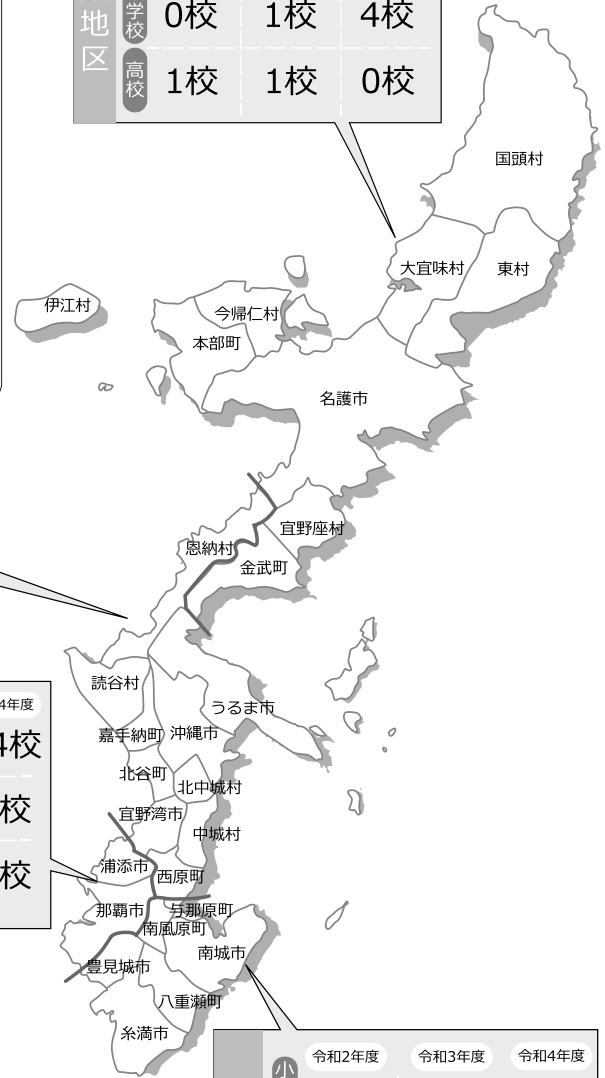
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	16校	15校	33校
中学校	1校	3校	8校
高校	1校	6校	11校

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	11校	26校	34校
中学校	0校	4校	7校
高校	2校	2校	5校

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	0校	1校	14校
中学校	0校	0校	0校
高校	0校	0校	0校

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	19校	17校	30校
中学校	0校	3校	6校
高校	1校	1校	4校

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	3校	10校	9校
中学校	0校	1校	0校
高校	0校	0校	0校



●対象は、県立・国立・私立の小中学校とする。
(学童クラブ・適応指導教室での入館は含まない)

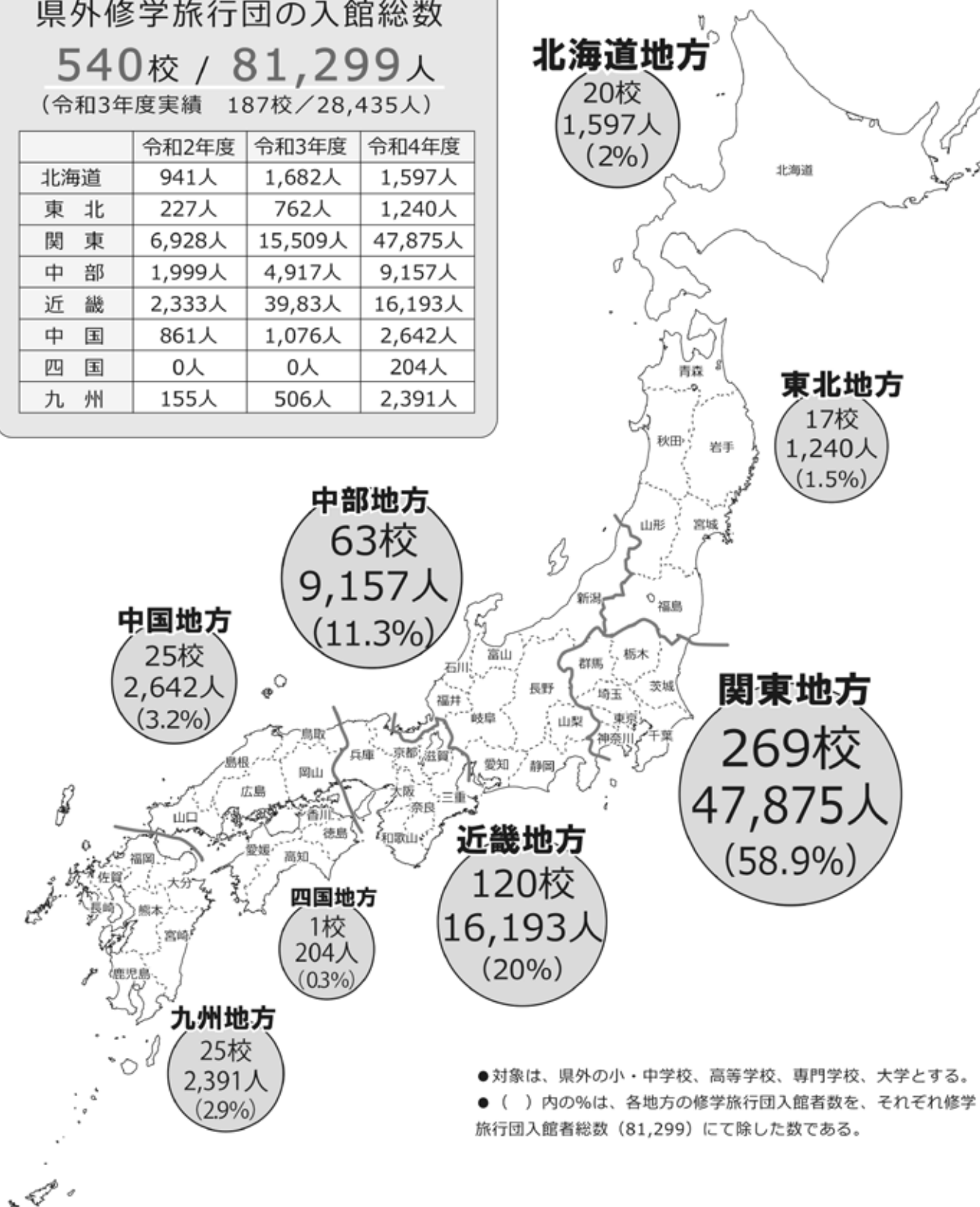
7 県外修学旅行団地方別入館者割合

県外修学旅行団の入館総数

540校 / 81,299人

(令和3年度実績 187校 / 28,435人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
北海道	941人	1,682人	1,597人
東北	227人	762人	1,240人
関東	6,928人	15,509人	47,875人
中部	1,999人	4,917人	9,157人
近畿	2,333人	39,83人	16,193人
中国	861人	1,076人	2,642人
四国	0人	0人	204人
九州	155人	506人	2,391人



8 平和祈念資料館入館者数

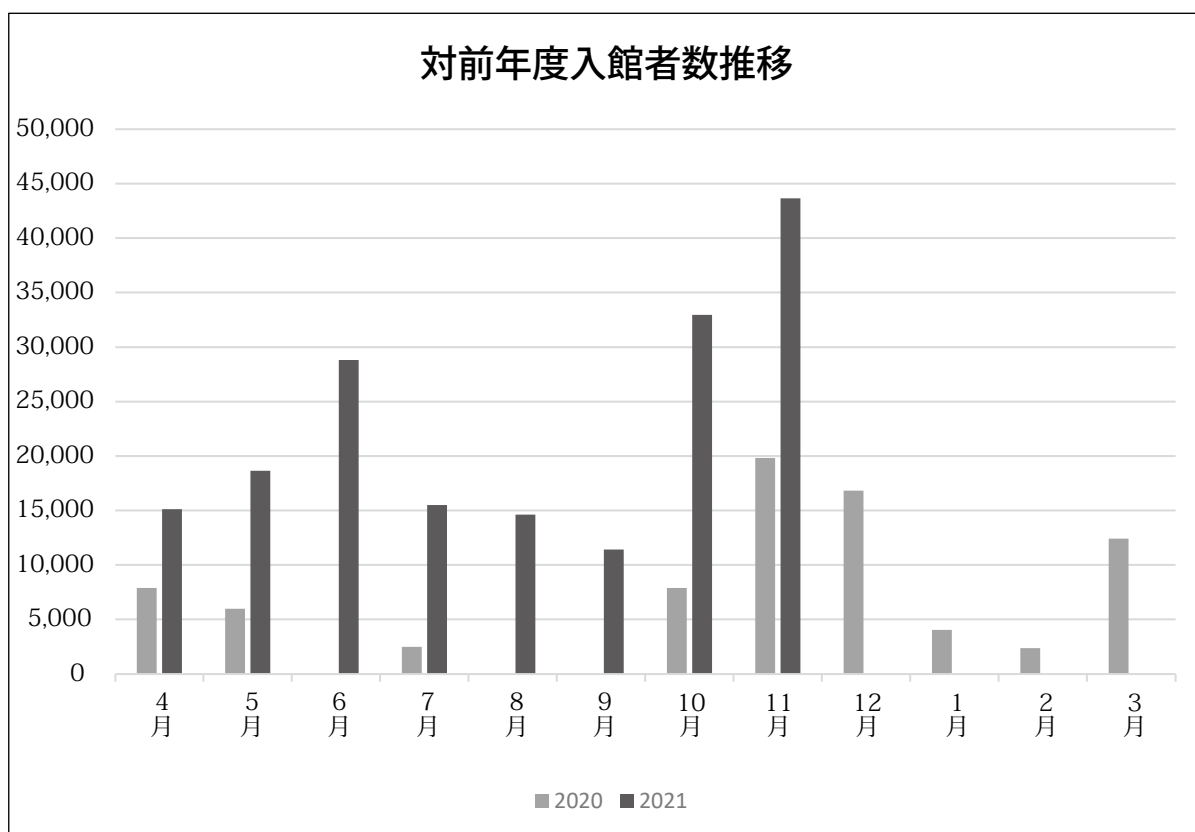
2021（令和3）年度

月	常設展示室 (有料)	総入館者数 ※
4月	6,381	7,901
5月	4,405	5,968
6月	0	0
7月	1,571	2,485
8月	0	0
9月	0	0
10月	5,344	7,905
11月	18,251	19,808
12月	15,844	16,835
1月	2,297	4,035
2月	2,373	2,373
3月	10,301	12,407
合計	66,767	79,717

2022（令和4）年度

月	常設展示室 (有料)	総入館者数 ※
4月	13,351	15,121
5月	16,424	18,645
6月	22,677	28,805
7月	11,523	15,495
8月	10,791	14,634
9月	9,174	11,419
10月	32,208	32,965
11月	43,648	43,648
12月	0	0
1月	0	0
2月	0	0
3月	0	0
合計	159,796	180,732

※ 平和祈念資料館出入口に設置している機器で把握した人数。



IX 八重山平和祈念館

1 概要

「戦争マラリア」の実相を後世に正しく伝えるとともに、人間の尊敬が保障される社会の構築と、八重山地域から世界に向けて恒久平和の実現を訴える「平和の発信拠点」の形成を目指す。

(1) 設立経過

1989年 (平成元)	5月28日	戦争マラリア犠牲者の遺族らが、篠原武夫琉球大学教授を会長に「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者援護会」結成。国家補償を求めて活動を開始する。
	10月16日	沖縄県議会（9月定例会）において、「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者の遺族補償に関する意見書」が決議される。
1995年 (平成7)	4月25日	与党戦後50年問題プロジェクトチームで、八重山地域を対象とする慰籍事業の実施で合意。
	12月25日	平成8年度国庫予算において、マラリア慰籍事業費として総額3億円が認められる。 慰籍事業の内訳 ①慰霊碑建立 ②八重山平和祈念館建設 ③マラリア死没者慰籍の資料収集・編集事業 ④マラリア死没者慰籍のための追悼事業
1997年 (平成9)	3月31日	建物竣工
1998年 (平成10)	1月27日	八重山平和祈念館基本計画検討委員会開催（3月17日まで 計3回）
	5月	八重山平和祈念館基本計画策定
	11月20日	八重山平和祈念館監修委員会開催（翌年2月22日まで 計3回） 八重山平和祈念館展示設計及び展示製作業務発注（平成11年3月まで）
1999年 (平成11)	3月	「沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例」一部改正。「八重山平和祈念館」は「沖縄県平和祈念資料館」の分館となる。
	5月28日	八重山平和祈念館開館式典
	5月29日	八重山平和祈念館一般公開

(2) 施設の概要

- ① 延べ面積：520㎡
- ② 各室面積
 - 第1展示室：130㎡
 - 第2展示室：120㎡
 - 保管室：20㎡
 - 図書室：30㎡
 - 会議室：45㎡
 - 事務室：30㎡



八重山平和祈念館外観

(3) 開館時間

午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

(4) 休館日

毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は開館）及び年末年始（12月29日から1月3日まで）

(5) 観覧料

	通常料金	団体料金 (※団体は20名以上)
大人	100円	70円
小人 (小学～大学生)	50円	35円

(6) 常設展の展示構成

- ①アジア・太平洋戦争に起因する沖縄戦
- ②沖縄戦と八重山
- ③戦争マラリアの悲劇
- ④マラリア根絶に向かって
- ⑤戦争マラリア援護会の活動
- ⑥八重山地域於ける平和発信拠点を目指して

(7) 展示の内容

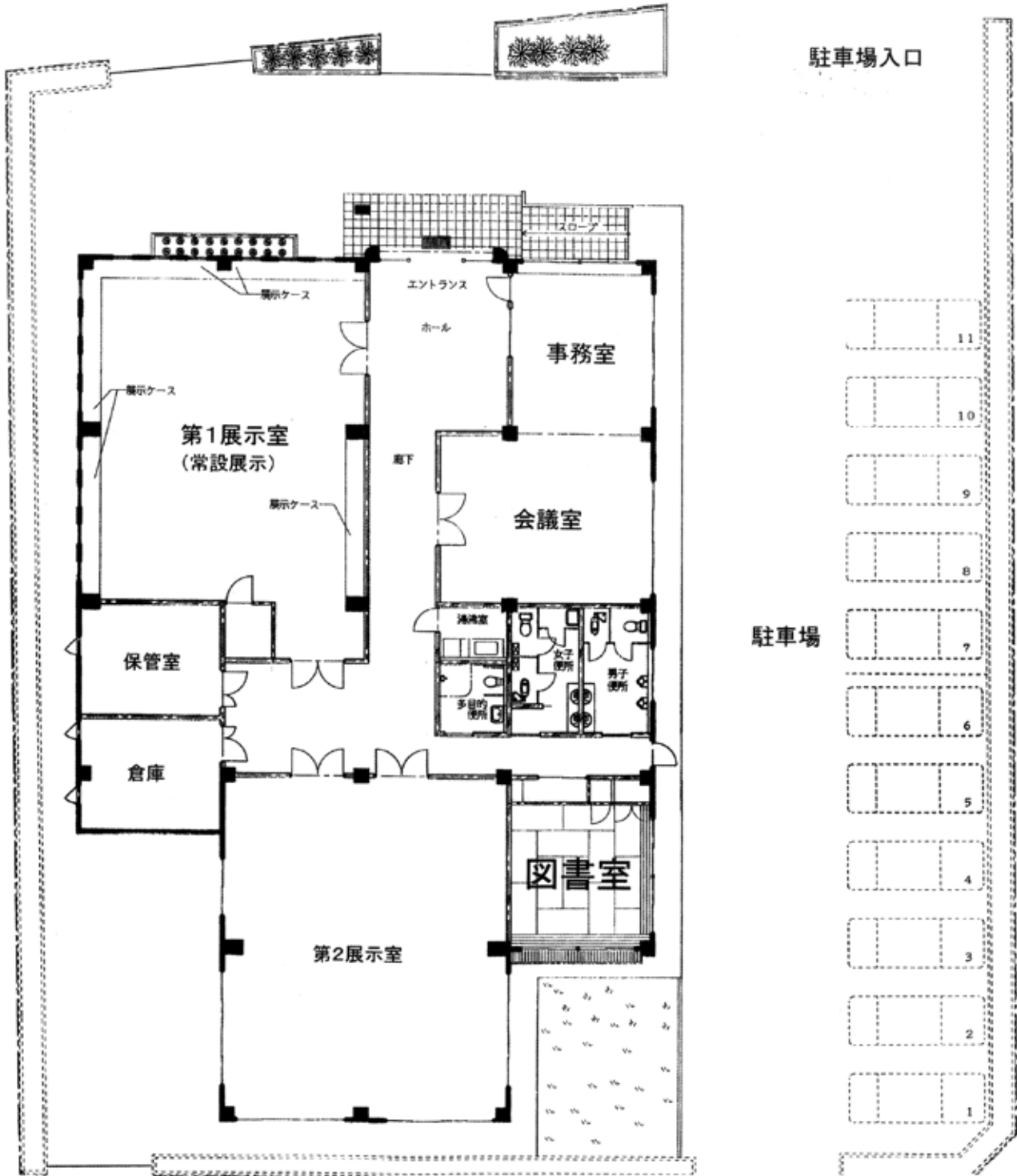
- ①写真、地図、絵のパネル等
- ②戦前の切手、紙幣、硬貨等
- ③遺品類（ハガキ、キセル等）
- ④高熱に苦しむ母子像（マラリア患者の看病の様子）
- ⑤児童生徒の平和メッセージ展の八重山地区受賞作品（詩、図画、作文）



うりずんの季節には、色とりどりの花が通る人の目を楽しませ当館の来館者を出迎えてくれます

2 施設

平面図



3 事業概要

(1) 展示活動

①企画展「戦争を『自分事』として考える ～時を超えて、国を超えて～」



今年度の企画展は、ロシアのウクライナ侵攻により、世界中が不穏な空気に包まれる中、平和な世界を実現するために、私たちに何ができるのかを考えてもらうキッカケとなるように取り組んだ。

昔の戦争、他国・地域の戦争を「自分事」として捉えること、他者の記憶や記録を「自分事」として感じ、考え、一人一人がこれからの平和をつくる当事者であることを意識するように検討した。

「疎開・避難民」コーナーでは、沖縄戦当時、八重山住民の台湾疎開や学童疎開船対馬丸と現在のウクライナやシリア等の難民・避難民を地図や写真を使い、体験者の証言の理解を深められるように工夫した。

「学徒・子ども兵士」では、八重山鉄血勤皇隊と現代のアフリカ等の紛争地で戦場に立たされている子どもの兵士を比較し、体験者の証言や絵、写真を並べて展示した。

「科学技術の発展と武器」では、狩猟採集時代から現代における科学技術の発展の歴史と、新しい技術が武器に転用され多くの被害をもたらすことを説明パネルで紹介した。

「触れて考える」では、石垣島で編成された第506特設警備工兵隊、通称「みのかさ部隊」の「鉄かぶと」を関係者の証言者写真などを参考にしながら複製製作し、展示した。

1ヶ月間の来場者が千名を越え、戦争と平和について考える機運が高まっていることを実感した。

【期 間】2022（令和4）年6月10日（金）～同年7月10日（日）

【場 所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】1,120名



会場の様子



観覧の様子



複製製作した鉄かぶと

来場者の感想（アンケートより）

- 今も戦争が続いているのは悲しい事実。人間はおろかです。何としてでも止めなくてはと思いますが、やはり、人ごとになっている自分がします。（女性、67歳、県外）
- げんばくがおとされたら？と考えると、とてもこわくなりました（女性、8歳、県内）
- 戦争がまた現実的になってきた状況において、あらためて戦争を自分事として考える機会が与えられて非常に良かったです。全体主義を止めるには個人がどのように影響を受け、苦しんだかという点を様々なヒ人に考えてもらうことが大切と思いました（女性、35歳、八重山地域内）
- ウクライナの戦争も沖縄戦も何故止める事ができないのか？狂った独裁者の行動を止めるには戦争しか手段がないのか？人間の良心に希望を見出したいですね。（男性、59歳、八重山地域内）

②夏休み企画「みんなの平和学習発表会」他

<企画1 みんなの平和学習発表会>

1学期の平和学習の成果物を各学校等から借用し、展示した。

- ・八重山商工高校（観光コース2年生）パワーポイントスライド動画
- ・船浮小中学校 壁新聞
- ・崎枝小中学校 小学部＝俳句等、中学部＝冊子等
- ・吉原小学校 貼り絵アート、感想文集
- ・八重山の踊り稽古道場こっこーま 俳句



船浮小中学校の児童生徒が作成した壁新聞



崎枝小中学校の児童生徒が作成した俳句と冊子

<企画2 世界のウチナンチュのあゆみ>

沖縄県は、戦前戦後を通して多くの移民を輩出してきた歴史がある。第2次世界大戦時には、移民先国で「敵性外国人」として辛い体験をしたウチナンチュが多くいた。10月に開催される「第7回世界のウチナンチュ大会」にちなみ、各国のウチナンチュの歩みやハワイ、ブラジル、フィリピンにおける戦中のウチナンチュの苦労を紹介すると共に、「世界のウチナンチュ大会プレイベント図画コンクール」の入賞作品を展示した。



展示の様子



展示の様子

<企画3 週替わりDVD上映会>

- ・8月6日（土）、7日（日）「ヒロシマの記憶」（35分）、「ナガサキの記憶」（37分）
- ・8月13日（土）、14（日）「最後の空襲くまがや」（29分）
- ・8月20日（土）、21日（日）「対馬丸～さようなら、沖縄～」(75分)
「やーさん、ひーさん、しからーさん」（41分）

【期 間】2022（令和4）年8月3日（水）～8月31日（水）

【場 所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】168名

(2) 平和教育活動

①初任者教諭対象見学説明会

平和学習の場として当館を活用いただくことを目的として、小中学校の初任者教諭及び平和学習担当教諭を対象とした見学説明会を実施した。10名の先生方にご参加いただき、当館の設立経緯、利用手続き、八重山の戦争、常設展示の解説を行った。

【開催日】2022（令和4）年6月2日（木）、3日（金）、9日（木）

②第32回「児童・生徒の平和メッセージ展」八重山会場

八重山会場では、八重山地区の入選作品を含む多くの作品の展示を行った。

展示会場には、地域の児童生徒や入選者のご父兄等が訪れ、熱心に作品を観覧していた。

【期 間】2022（令和4）年7月13日（水）～22日（木）

【場 所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】83名

(3) 調査研究活動

①戦争体験者の証言収集

氏 名	生まれ年	出身地	備 考
かわかみ 川上 トミ	昭和7年	宮古島	機銃掃射と爆弾の雨（台湾疎開の体験） （企画展に展示）



川上トミさん

(4) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会 八重山平和祈念館部会

【開催日時】2022（令和4）年8月22日（月）

【場 所】八重山平和祈念館会議室

【出席者】（運営員）里井洋一部会長、平良正栄委員、玉城律子委員

（本館）前川早百利館長、玉城寿史学芸班長、

（分館）笠原宗一郎分館長、米原明子主査

井出麻里衣・田盛敦子（学芸員：会計年度任用職員）

【議 題】常設展示室の展示内容の変更等について

①展示物の変更について

平成11年5月開館以来、石垣市立八重山博物館より資料を借用し、展示を行っている。平成25年度の借用から、協約事項に「資料の取扱については学芸員資格を有する職員が行い」と追記され対応を求められていたが、学芸員資格を有する職員の配置は今後も厳しい状況であることから、令和3年度に代替となる新展示資料を検討した。

<八重山博物館借用資料>

1	死亡告知書	6	刀の柄
2	臨時召集令状	7	革製銃剣差し
3	千人針	8	落下傘信号
4	たすき（大日本国防婦人会）	9	鉄かぶと
5	鉄製ヘルメット	10	告知板（報告板）

<新展示資料>

1	米国製5インチロケット弾 弾体 (当館収蔵品)	6	「鉄田義司（陸軍少尉）日記」 (当館収蔵品の複製)
2	マラリアとは 八重山とマラリア（文字パネル）	7	『1945年戦争に於ける八重山群島のマラリアについて』（1947年吉野高善・黒島直規著） (県立図書館収蔵品の複製)
3	死亡告知書 (八重山博物館収蔵品の複製)		
4	臨時召集令状 (八重山博物館収蔵品の複製)	8	『八重山のマラリア防遏について』 (昭和6年宮良長詳著) (県立図書館収蔵品の複製)
5	千人針（本館収蔵品を借用）		

②展示順の並び替えについて

現行の展示順では、行きつ戻りつ資料を観覧する箇所があるため、観覧者の理解を深めるため、また、解説をスムーズに行うために、展示物の並び替えを行う。

③修正について

●琉球大学大学院医学研究科 免疫学・寄生虫学講座 當眞博士が来館された際、「マラリア原虫」写真キャプション解説に誤りがあるとのこと指摘をいただいた。今回、當眞博士に監修いただき、キャプションを修正する。

●来館者からご指摘いただいた、展示写真の撮影年を追記、誤字等を修正する。

(5) 共催事業：第16回平和コンサート

【主催】八重山戦争マラリア遺族会

【日時】2022（令和4）年11月20日（日）14時～

【場所】八重山平和祈念館 第2展示室

【演目】「八重山戦争マラリア犠牲者鎮魂歌」独唱、リコーダー合奏、ギター独奏、テノール独唱バリトン独唱、トランペット独奏 他

【入場者】約80名



平和コンサートポスター

VI 沖縄県平和祈念資料館友の会

1 活動紹介

沖縄県平和祈念資料館友の会（以下、「友の会」という）は、沖縄県平和祈念資料館設立理念をふまえ、学校及び地域における平和学習支援活動を通して、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次の世代に伝えるとともに学習会等（平和講話、戦跡フィールドワーク、講演会、オンライン平和講話、研修会）の活動を行っている。

活動内容

- (1) 県内学校及び地域における平和学習支援
- (2) 平和講話
- (3) ポイントガイド（平和祈念公園地域の案内等）
- (4) 戦跡案内
- (5) バス乗車による戦跡案内
- (6) その他



平和講話の講師の皆さん
(写真提供：南城市立大里中学校)

2 申込方法

別紙「派遣依頼申込書」に必要事項を記入の上、全行程を含む旅行工程表を添えて下記の事務局まで、FAXまたは郵送してください。

事務局：沖縄県平和祈念資料館友の会

所在地：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の1

TEL：098-997-3844（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

FAX：098-997-3947（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

*学校名、団体名、連絡窓口、担当者名には必ずフリガナをつけてください。

*決定通知は事務局よりFAXでお知らせします。

*電話での申込及び変更には応じられませんので、ご了承ください。

3 申込条件

- (1) 申込締切は、原則として2ヶ月前とします。
- (2) 平和学習の団体について、事前学習を実施してください。
- (3) 協力金は次のとおりです。

内 容	協 力 金
県内学校及び地域における平和学習支援	1回につき 5,000円
平和講話	1回につき 15,000円
ポイントガイド	1回につき 5,000～7,000円（時間により変動）
バス乗車	1回につき 10,000円
その他	要相談

*協力金は、終了後直接本人にお渡しください。

- (4) 事故に関しまして、沖縄県平和祈念資料館友の会は一切責任を負いません。

4 講話・ガイド活動状況

団 体	実施件数	(前年度比)	実施人数	(前年度比)	派遣講師	(前年度比)
高等学校	48	(40)	9941	(6230)	68	(54)
中学校	15	(8)	2748	(932)	18	(7)
小学校	13	(10)	3365	(3137)	15	(13)
その他	21	(14)	487	(38)	20	(11)
合計	97	(72)	16541	(10337)	121	(85)

5 2022（令和4）年度 活動内容

（1）第17回友の会定期総会・学習会

日 時：令和4年11月12日（土）

13：00～16：30

場 所：沖縄県平和祈念資料館祈念ホール

内 容：

①総 会 13：00～13：45

参加者：14名

②学習会 14：00～16：30

講 話：「しまくとぅばで語る沖縄戦」

友の会定期総会

登壇者：大城藤六氏（友の会顧問）、上原美智子氏（友の会副会長） 比嘉豊光氏

参加者：40名



登壇者の方々



学習会

（2）学習会・フィールドワーク

ア 平和学習フィールドワーク「首里周辺の埋没した戦跡壕を巡る」

期日：2022（令和4）年5月22日（日）

主催：沖縄県平和祈念資料館友の会

後援：養秀同窓会

概要：首里城跡周辺に所在する各司令部壕跡（第三十二軍司令部壕跡、第五砲兵隊司令部壕跡、第六十二師団司令部壕跡）や学徒隊（一中壕跡、留魂壕跡）、特設警備隊壕（安国寺の壕跡）などを巡りながら、埋没した戦跡について学習する。



一中健児之塔前で説明を聞く参加者



自身の戦争体験を語る翁長安子さん

イ 平和学習フィールドワーク「繁多川の戦跡を巡る」

期日：2022（令和4）年6月25日（日）

主催：沖縄県平和祈念資料館友の会

後援：養秀同窓会、繁多川公民館

概要：繁多川に所在する官公庁壕跡（県庁壕跡 / シッポウジヌ
ガマ、真和志村役場壕跡 / 新壕）や住民避難壕（識名宮
のガマ）などを巡りながら、埋没した戦跡について学習
する。



当時の話を聞く参加者たち



識名宮洞窟

ウ 平和学習フィールドワーク「沖縄戦終焉の地 摩文仁丘陵の深部に行く」

【海岸コース】2023（令和5）年3月12日（日）

【崖側コース】2023（令和5）年3月19日（日）

主催：沖縄県平和祈念資料館友の会

概要：沖縄戦終焉の地「摩文仁」の海岸では、沖縄戦時、米軍に追い詰められた日本兵、学徒兵、
避難民が身を潜めたが、米軍の掃討戦の前に多くの犠牲者を出した。戦跡を巡り沖縄戦の残
像を巡る。



摩文仁丘陵の深部で学徒兵の気持ちに
思いを馳せる



摩文仁海岸で説明をする事務局長

XI 関係条例・規則・要綱

1 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（平成12年条例第11号）

〔設置〕

第1条 第二次世界大戦で貴い命を失ったすべての人々に哀悼の意を表すとともに、悲惨な戦争の教訓を後世に伝え、世界の恒久平和の実現に寄与するため、沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）及び平和の礎を設置する。

2 平和祈念資料館に分館として八重山平和祈念館を置く。

〔位置〕

第2条 平和祈念資料館（分館を除く。）及び平和の礎の位置は、糸満市字摩文仁とする。

2 八重山平和祈念館の位置は、石垣市新栄町とする。

〔事業〕

第3条 平和祈念資料館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 沖縄戦及び平和に関する資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 沖縄戦に関する調査及び研究に関すること。
- (3) 沖縄戦における戦争体験の継承に関すること。
- (4) 平和に関する講演会、学習会等の平和を考える場の提供に関すること。
- (5) その他設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。

〔平和祈念資料館の利用の禁止又は制限〕

第4条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、平和祈念資料館への入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 資料又は建物若しくは附属設備をき損するおそれがある者
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔観覧料〕

第5条 平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納めなければならない。

2 平和祈念資料館において特別に展示する資料等を観覧させる場合の当該資料を観覧する者は、前項の規定にかかわらず、500円を超えない範囲内でその都度知事が定める額の観覧料を納めなければならない。

3 前2項の観覧料は、観覧の際に納めなければならない。

〔使用の許可〕

第6条 別表第2に掲げる平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）を使用しようとする者は、あらかじめ知事の許可を受けなければならない。許可を受けた者（以下「使用者」という。）が許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 知事は、施設等の管理上必要と認めるときは、前項の許可をするに当たり、条件を付することができる。

3 知事は、第1項の許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、許可をしないことができる。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 公益を害するおそれがあるとき。
- (3) 施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があるとき。

〔使用料〕

第7条 使用者は、別表第2に定める使用料を納めなければならない。

2 前項の使用料は、前納とする。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、後納することができる。

〔観覧料又は使用料の減免〕

第8条 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料を減額し、又は免除することができる。

〔観覧料及び使用料の不還付〕

第9条 既に納付した観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

〔使用権の譲渡等の禁止〕

第10条 使用者は、施設等を使用する権利を第三者に譲渡し、又は転貸してはならない。

〔許可の取消し等〕

第11条 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、第6条第1項の許可を取り消し、又は施設等の使用を制限し、若しくはその停止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
- (3) 許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 第6条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

〔原状回復義務〕

第12条 使用者は、施設等の使用が終了したとき、又はその使用の許可が取り消されたときは、直ちにこれを原状に回復して返還しなければならない。

〔平和の礎の管理〕

第13条 平和の礎の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて知事が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

〔指定管理者の業務〕

第14条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第19条の規定による利用の禁止又は制限に関する業務
- (2) 平和の礎の工作物及び附属設備の維持及び修繕に関する業務
- (3) 前2号に掲げるもののほか、平和の礎の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

〔指定管理者の指定の申請〕

第15条 第13条の規定による指定を受けようとするものは、規則で定める申請書に事業計画書その他規則で定める書類（以下「事業計画書等」という。）を添えて、知事に提出しなければならない。

〔指定管理者の指定等〕

第16条 知事は、前条の規定による申請があつたときは、次に掲げる基準により審査し、最も適切に平和の礎の管理を行うことができると認めるものを候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書等の内容が、県民の公平な利用を確保できるものであること。
- (2) 事業計画書等の内容が、平和の礎の効用を最大限に発揮させるものであるとともに、効率的な管理がなされるものであること。
- (3) 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有するものであること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、平和の礎の設置の目的を達成するために十分な能力を有するものであること。

2 知事は、前項の規定による選定をしようとするときは、あらかじめ、平和の礎指定管理者制度運用委員会の意見を聴かなければならない。

3 前項の規定は、法第244条の2第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消そうとする場合に準用する。

〔平和の礎指定管理者制度運用委員会〕

第17条 この条例の規定に基づく諮問に応じて調査審議を行わせるため、平和の礎指定管理者制度運用委員会（以下「運用委員会」という。）を置く。

2 運用委員会は、この条例に定めるもののほか、平和の礎に係る指定管理者の選定及び指定管理者が行う平和の礎の管理に関する重要事項について、知事の諮問に応じて答申し、又は建議することができる。

3 運用委員会は、委員4人以内で組織する。

4 委員は、学識経験のある者その他知事が適当と認める者のうちから、知事が任命する。

5 委員の任期は、3年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 6 委員は、再任されることができる。
- 7 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。
- 8 前各項に定めるもののほか、運用委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

〔指定管理者の指定等の告示〕

第 18 条 知事は、第 16 条第 1 項の規定により指定管理者を指定したときは、その旨を告示しなければならない。

- 2 前項の規定は、法第 244 条の 2 第 11 項の規定により、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合に準用する。

〔平和の礎の利用の禁止又は制限〕

第 19 条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、平和の礎の観覧を拒否することができる。

- (1) 工作物又は附属設備をき損するおそれがある者
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (4) 前 3 号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔損害の賠償等〕

第 20 条 平和祈念資料館の資料若しくは建物若しくは附属設備又は平和の礎の工作物若しくは附属設備を汚損し、損傷し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又は相当の代価をもって賠償しなければならない。ただし、知事がやむを得ない理由があると認めるときは、これを減額し、又は免除することができる。

〔事業報告書の提出〕

第 21 条 指定管理者は、毎年度終了後 30 日以内に、規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、知事に提出しなければならない。

〔運営協議会〕

第 22 条 平和祈念資料館の運営に関する重要事項について協議するため、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）を置く。

- 2 運営協議会の組織、運営その他必要な事項は、規則で定める。

〔規則への委任〕

第 23 条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

備考

平成 12 年 3 月 31 日全部改正（平成 12 年 4 月 1 日施行）、平成 17 年 10 月 26 日一部改正（平成 18 年 4 月 1 日施行）、平成 31 年 3 月 29 日一部改正（令和元年 10 月 1 日施行）、令和 5 年 3 月 31 日一部改正（令和 5 年 4 月 1 日施行）

別表第1（第5条関係）

区 分		観 覧 料	
		個 人	20人以上の団体
平和祈念資料館 (分館を除く。)	大人	300円	1人につき 240円
	小人	150円	1人につき 100円
八重山平和祈念館	大人	100円	1人につき 70円
	小人	50円	1人につき 35円

備考

- 1 この表において「大人」とは、学生を除く成年者をいう。
- 2 この表において「小人」とは、学齢に達しない者を除く未成年者又は学生をいう。

別表第2（第6条、第7条関係）

1 施設使用料

区 分	単 位	使 用 料
平和祈念資料館 (分館を除く。)	ホ ー ル	1時間につき 1,570円
	展 示 室	1日につき 4,540円
	大会議室	1時間につき 620円
	中会議室	1時間につき 430円
	小会議室	1時間につき 190円
八重山平和祈念館	展 示 室	1時間につき 100円

2 附属設備使用料

種 別	単 位	使 用 料
舞台器具	1回1点又は一式につき	700円以内で知事が定める額
音響器具	1回1点又は一式につき	500円以内で知事が定める額
照明器具	1回1点又は一式につき	460円以内で知事が定める額
そ の 他	1回1点又は一式につき	1,260円以内で知事が定める額

備考

- 1 許可された使用時間を超過して使用する場合は、追加使用料を徴収する。この場合において、当該超過して使用した時間が1時間未満であるとき又は当該使用時間に1時間未満の端数があるときは、その使用時間又はその端数時間を1時間として計算する。
- 2 ホールを練習、準備のため専用して使用する場合は、この表の区分に従い、当該区分に定める額の100分の30に相当する額とする。
- 3 1及び2において算出された使用料の額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てる。
- 4 施設の冷房を使用する場合は、その実費に相当する額を使用料として別に徴収する。

2 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則 (平成 12 年規則第 87 号)

〔趣旨〕

第 1 条 この規則は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（平成 12 年沖縄県条例第 11 号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

〔開館時間〕

第 2 条 沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、平和祈念資料館に展示している資料等の観覧のための展示室への入室は午後 4 時 30 分までとする。

2 知事は、特別の理由があると認めるときは、前項に規定する開館時間外においても平和祈念資料館を使用させることができる。

〔休館日〕

第 3 条 平和祈念資料館の休館日は、次のとおりとする。ただし、第 1 号に規定する休館日は、八重山平和祈念館に限る。

(1) 定期休館日 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（元日を除く。）又は沖縄県慰霊の日を定める条例（昭和 49 年沖縄県条例第 42 号、以下「慰霊の日を定める条例」という。）第 2 条に規定する慰霊の日に当たるときは、その日を除く。）

(2) 年始休館日 1 月 1 日から同月 3 日まで

(3) 年末休館日 12 月 29 日から同月 31 日まで

(4) 臨時休館日 特別の事情により知事が休館を必要と認めた日

2 前項第 4 号の臨時休館日は、あらかじめ公告するものとする。ただし、天災地変その他やむを得ない理由がある場合は、この限りでない。

〔観覧券の交付〕

第 4 条 知事は、平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者が、条例別表第 1 に定める観覧料を納付した場合は、観覧券（第 1 号様式）を交付するものとする。

〔観覧料の免除〕

第 5 条 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第 8 条の規定により、観覧料を免除する。

(1) 慰霊の日を定める条例第 2 条に規定する慰霊の日に観覧する場合

(2) 沖縄県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童生徒及び教職員で、教育課程に基づく教育活動の一環として観覧する場合

(3) 平和祈念資料館の広報宣伝に資すると認められる取材のために観覧する場合

(4) 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条第 4 項の規定に基づいて身体障害者手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(5) 知的障害者で都道府県知事又は地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 252 条の 19 第 1 項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 45 条第 2 項の規定に基づいて精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(7) 前 6 号に掲げるもののほか、知事が特に必要と認める場合

2 前項第 2 号、第 3 号及び第 7 号の規定により、観覧料の免除を受けようとする者は、観覧料免除申請書（第 2 号様式）を知事に提出し、承認を受けなければならない。

3 第 1 項第 4 号、第 5 号及び第 6 号に該当する者が観覧料の免除を受けようとするときは、身体障害者手帳又は療育手帳若しくは精神障害者保健福祉手帳を提示しなければならない。

〔使用許可の申請〕

第 6 条 条例第 6 条第 1 項の規定により、平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）の使用許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、沖縄県平和祈念資料館使用許可申請書（第 3 号様式）を知事に提出しなければならない。

2 前項の申請書は、ホールについては使用しようとする日（引き続き 2 日以上使用する場合は、その最初の日。以下同じ。）の 6 月前から 1 週間前まで、ホール以外の施設については使用しようとする日の 3 月前から 3 日前までの期間内に提出しなければならない。

3 知事は、前項の規定にかかわらず、必要があると認めるときは、前項に定める期間を変更することができる。

〔使用許可書の交付〕

第7条 知事は、使用許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用許可書(第4号様式。以下「使用許可書」という。)を申請者に交付するものとする。

〔使用許可の変更又は取消し〕

第8条 使用許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、使用許可を得た事項を変更しようとするときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可申請書(第5号様式)に使用許可書を添えて、知事に提出しなければならない。

2 知事は、使用の変更の許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書(第6号様式)を使用者に交付するものとする。

3 使用者は、使用の取消しをしようとするときは、使用許可書(前項の沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書を含む。)を添えて、沖縄県平和祈念資料館使用取消届(第7号様式)を知事に提出しなければならない。

〔附属設備等の使用料〕

第9条 条例別表第2第2号の表に規定する知事が定める額及び同表備考4の規定により実費に相当する額を使用料として別に徴収する額は、別表のとおりとする。

〔使用料の納付〕

第10条 平和祈念資料館の施設使用料は、使用許可書の交付を受ける際に、納付しなければならない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

2 平和祈念資料館の附属設備使用料は、知事が定める日までにその全額を納付しなければならない。

3 条例第7条第2項ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとする。

(1) 条例別表第2備考1に規定する使用料を納付するとき。

(2) 国又は地方公共団体が使用するとき。

(3) 知事がやむを得ないと認めるとき。

〔使用料の返還〕

第11条 条例第9条ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとし、返還する使用料の額は、当該各号に定める額とする。

(1) 天災その他使用者の責めに帰することができない事情により使用できなかったとき。当該使用料の全額

(2) 使用者が、ホールを使用しようとする日前30日までに使用の取消しを届け出たとき。当該使用料の5割

(3) 使用者がホール以外の施設を使用しようとする日前15日までに使用の取消しを届け出たとき。当該使用料の5割

2 条例第9条ただし書の規定により使用料の返還を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料返還申請書(第8号様式)を知事に提出しなければならない。

〔使用料の減免〕

第12条 条例第8条の規定により使用料を減額し、又は免除することができる場合は、次の各号に掲げるときとし、当該各号に定めるとおり減額し、又は免除するものとする。

(1) 沖縄県が使用するとき。免除

(2) 国又は地方公共団体若しくは公共的団体(以下「国等」という。)が、沖縄県と共催し、平和に関する事業を行うために使用するとき。免除

(3) 国等が、平和に関する事業を行うために使用するとき。5割

(4) 前3号に掲げるもののほか、知事が特に必要があると認めるとき。知事が定める割合

2 条例第8条の規定により使用料の減額又は免除を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料減免申請書(第9号様式)を知事に提出しなければならない。

3 知事は、使用料の減額又は免除を承認したときは、沖縄県平和祈念資料館使用料減免承認書(第10号様式)を使用者に交付するものとする。

〔使用方法等の事前打合わせ〕

第 13 条 使用者は、事前に係員と施設等の使用方法、遵守事項その他必要事項を打ち合わせなければならない。

〔使用者の遵守事項〕

第 14 条 使用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 使用を許可されていない施設等を使用しないこと。
- (2) 入場者の安全確保の措置を講ずること。
- (3) 入場者の秩序を維持するため、責任者を置き、及び必要に応じて整理員を置くこと。
- (4) 施設等は、善良なる管理者の注意をもって管理すること。

〔行為の制限〕

第 15 条 使用者又は入場者は、平和祈念資料館において、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 火災、爆発その他危険を生じるおそれのある行為
- (2) 騒音又は大声を発生し、暴力を用い、その他他人の迷惑になる行為
- (3) 施設等を汚損し、損傷し、若しくは滅失し、又はこれらのおそれのある行為
- (4) 許可を受けないで行う広告類の掲出又は配布
- (5) 許可された場所以外の場所への立入り
- (6) 所定の場所以外の場所での飲食又は喫煙
- (7) 許可を受けないで寄附金品を募集し、又は物品若しくは飲食物を販売し、若しくは提供する行為
- (8) 前各号に掲げるもののほか、知事が不相当と認める行為

〔損傷等の届出〕

第 16 条 使用者は、その使用に際し、施設等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、直ちにその旨を係員に届け出て、その指示を受けなければならない。

〔使用後の点検〕

第 17 条 使用者は、施設等の使用を終えたときは、係員の点検を受けなければならない。

〔寄贈及び寄託〕

第 18 条 知事は、戦争及び平和に関する資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

- 2 資料の寄贈又は寄託をしようとする者は、あらかじめ資料寄贈申込書（第 11 号様式）又は資料寄託申請書（第 12 号様式）を提出しなければならない。
- 3 前項の規定により寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返還しない。

〔受領証の交付〕

第 19 条 知事は、前条第 1 項の規定により寄託を受けたときは、寄託者に対し、寄託物受領証（第 13 号様式）を交付するものとする。

〔寄託資料の保管〕

第 20 条 第 18 条第 1 項の規定により寄託された資料の管理は、平和祈念資料館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

〔寄託資料の返還〕

第 21 条 寄託資料は、寄託期間の終了、寄託者の請求又は平和祈念資料館の都合により返還できるものとする。

- 2 寄託者は、前項の規定により寄託資料を返還する場合は、寄託物受領証も同時に返付しなければならない。

〔資料の貸出〕

第 22 条 知事は必要と認めるときは、条件を付して資料の館外貸出しを許可することができる。

- 2 資料の館外貸出しを受けようとする者は、あらかじめ資料貸出申請書（第 14 号様式）を知事に提出しなければならない。

〔許可証の交付〕

第 23 条 知事は、資料の館外貸出しを許可した場合は、資料貸出許可証（第 15 号様式）を交付するものとする。

〔貸出資料の保管〕

第 24 条 第 22 条第 1 項の規定により貸出しを受けた資料（以下「貸出資料」という。）は、貸出しを受けた者（以下「利用者」という。）が責任をもって保管しなければならない。

〔貸出資料の返還〕

第 25 条 利用者は、貸出期間が終了したときは、貸出資料を速やかに返還しなければならない。

2 貸出資料は、平和祈念資料館の都合により、貸出期間中といえども返還させることができる。

3 利用者は、前 2 項の規定により、貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。

〔指定管理者の指定申請書等〕

第 26 条 条例第 15 条の規則で定める申請書は、指定管理者指定申請書（第 16 号様式）によるものとする。

2 条例第 15 条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。

(1) 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書

(2) 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市区町村長が発行するものに限る。）

(3) 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類

(4) 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）

(5) 役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類

(6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

〔平和の礎指定管理者制度運用委員会の組織等〕

第 27 条 平和の礎指定管理者制度運用委員会（以下「運用委員会」という。）に会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、運用委員会を代表する。

3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

4 運用委員会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

5 運用委員会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

6 運用委員会の会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

7 特定の事件につき特別の利害関係を有する委員は、運用委員会の決議があつたときは、当該事件に係る議決に参加することはできない。

8 運用委員会は、必要があると認めるときは、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

9 運用委員会の行う指定管理者の選定に係る調査審議の手続は、公開しない。

10 運用委員会の庶務は、子ども生活福祉部女性力・平和推進課において処理する。

11 その他運用委員会の運営に関し必要な事項は、会長が運用委員会に諮って定める。

〔事業報告書〕

第 28 条 条例第 21 条の事業報告書は、次に掲げる事項を記載して提出するものとする。

(1) 平和の礎の管理運営に関する業務（以下「業務」という。）の実施状況

(2) 業務に係る収支状況

(3) 前 2 号に掲げるもののほか、知事が必要と認める事項

〔運営協議会の組織等〕

第 29 条 条例第 22 条に規定する沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）は、委員 15 人以内をもって組織する。

2 委員は、学識経験者、教育関係者等のうちから知事が委嘱し、又は任命する。

3 運営協議会の委員の任期は 2 年とし、補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。

4 運営協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

5 会長は、会務を総理し、運営協議会を代表する。

- 6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 7 運営協議会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。
- 8 運営協議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 9 運営協議会の会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 10 会議は公開とする。ただし、出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。
- 11 運営協議会は協議のため必要があると認める場合は、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。
- 12 運営協議会の委員は職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。
- 13 運営協議会の庶務は、平和祈念資料館において処理する。
- 14 その他運営協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

〔補則〕

第30条 この規則に定めるもののほか、平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関し必要な事項は、知事が別に定める。

備考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）、平成18年3月31日一部改正（平成18年4月1日施行）、平成19年3月23日一部改正（平成19年4月1日施行）、令和元年9月13日一部改正（令和元年10月1日施行）、令和5年3月31日一部改正（令和5年4月1日施行）、令和5年4月7日一部改正（令和5年5月1日施行）

別表（第9条関係）

1 附属設備使用料

種 別	品 目	単 位	使用料		
ホ ー ル	舞台器具	演台	1台	300円	
		司会者卓	1台	150円	
		花台	1台	100円	
		金びょうぶ	1双	700円	
	音響器具	ダイナミックマイク	1本	230円	
		ワイヤレスマイク	1本	450円	
		カセットテープレコーダー	1台	300円	
		C Dプレーヤー	1台	500円	
		ビデオデッキ（VHS）	1台	500円	
		ブルーレイディスク・DVDレコーダー	1台	500円	
	照明器具	ボーダーライト（150W×48灯）	1列	250円	
		サスペンションライト（500W×12台）	1列	300円	
		シーリングスポットライト（500W×15台）	1列	460円	
		アッパーホリゾンライト（150W×60灯）	1列	360円	
		ロアーホリゾンライト（150W×60灯）	1列	300円	
		フットライト（60W×48灯）	1列	100円	
	その他	ビデオプロジェクター	1台	1,260円	
	会 議 室	音響器具	ダイナミックマイク	1本	230円
			ワイヤレスマイク	1本	450円
カセットテープレコーダー			1台	300円	
C Dプレーヤー			1台	400円	
ブルーレイディスクプレーヤー			1台	400円	
その他		ビデオプロジェクター	1台	1,260円	
展 示 室	その他	展示ケース（大）	1台	1,000円	
		展示ケース（小）	1台	500円	

備考 ホール及び会議室の附属設備使用料は、1ステージごとに徴収する。ただし、長時間連続して使用する場合は、4時間ごとに1ステージとみなす。

2 施設冷房使用料

区 分	単 位	使 用 料
平和祈念資料館 （分館を除く。）	ホ ー ル	1時間につき 2,120円
	展 示 室	1時間につき 890円
	大会議室	1時間につき 700円
	中会議室	1時間につき 460円
	小会議室	1時間につき 110円
八重山平和祈念館	展 示 室	1時間につき 100円

3 八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱

〔設置〕

第1条 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則（平成12年沖縄県規則第87号）第28条第13項の規定により、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）に、八重山平和祈念館部会（以下「部会」という。）を設置する。

〔任務〕

第2条 部会は、八重山平和祈念館の運営に関する重要事項について調査、審議し、その結果を運営協議会に報告する。

〔構成〕

第3条 部会は、運営協議会副会長を部会長とする3人の運営協議会の委員（以下「部会委員」という。）で構成する。

2 部会委員は、運営協議会で選任する。

3 部会委員の任期は、運営協議会の委員の在任期間とする。

〔部会長〕

第4条 部会長は、会務を総理し、部会を代表する。

2 部会長に事故があるときは、部会長があらかじめ指名した部会委員がその職務を代理する。

〔会議〕

第5条 部会は、部会長が招集する。

2 部会は、必要があると認めるときは、部会に専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

3 会議は、公開とする。ただし、出席した者の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。

〔秘密の保持〕

第6条 部会委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

〔補則〕

第7条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が定める。

附 則

この要綱は、平成12年12月6日から施行する。

4 沖縄県平和祈念資料館資料貸出要項

(目的)

第1条 この要項は、沖縄県平和祈念資料館（以下「資料館」という。）の所蔵する資料（以下「貸出資料」という。）の館外貸出しを許可するにあたって必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要項において、貸出資料とは沖縄戦実物資料、沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ展入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネル、平和のウムイ地域版セット、平和学習キット、戦争体験証言ビデオをいう。各資料の内容については次の各号に定めるところによる。

- (1) 沖縄戦実物資料とは、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則（以下「規則」という。）第22条で定める資料であり、実物資料20種類をいう（別紙1）。
- (2) 沖縄戦写真パネルとは、写真の複製パネルをいう（別紙2）。
- (3) 沖縄戦の絵パネルとは、日本放送協会から寄贈された沖縄戦体験者が描いた絵の複製パネルをいう（別紙3）。
- (4) 児童・生徒の平和メッセージ展入賞作品パネルとは、資料館が毎年主催している児童・生徒の平和メッセージ展の作文、詩及び図画部門において最優秀賞及び優秀賞として入賞した作品をいう。
- (5) 世界人権宣言絵画パネルとは、当館が制作した世界人権宣言に関する絵画パネルをいう（別紙4）。
- (6) 平和のウムイ地域版セットとは、「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」により制作したDVD及びパネル、証言集をいう（別紙5）。
- (7) 平和学習キットとは、学校等で活用される平和学習の教材としての貸し出しキットの複製資料及びパネル、絵本、紙芝居をいう（別紙6）。
- (8) 戦争体験証言ビデオとは、沖縄戦体験者の証言を収録し複製したビデオ及びDVD、集団疎開及び捕虜収容所での様子を収録し複製したビデオ及びDVD、「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」により証言を収録し複製したDVDをいう。

(貸出許可の申請)

第3条 資料の館外貸出しの許可を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、資料貸出申請書により、沖縄県平和祈念資料館長（以下「資料館長」という。）に申請しなければならない。申請書の様式については、次の各号に定めるところによる。

- (1) 沖縄戦実物資料 規則第22条に定める資料貸出申請書（第14号様式）
 - (2) 沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ展入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネル 沖縄県平和祈念資料館資料貸出申請書（第1号様式）
 - (3) 平和のウムイ資料 平和のウムイ資料貸出申請書（第2号様式）
 - (4) 平和学習キット 平和学習キット貸出申請書（第3号様式）
 - (5) 戦争体験証言ビデオ 戦争体験証言ビデオ貸出申請書（第4号様式）
- 2 申請者は、貸出日の2週間前までに資料貸出申請書を提出しなければならない。
- 3 申請者は、申請の際に身元確実な保証人がいなければならない。ただし、申請者が地方公共団体等の代表者である場合にはその限りではない。
- 4 申請者は、あらかじめFAXで申請を行い、後日原本を送付するものとする。

(貸出の許可)

第4条 資料の貸出は、資料館が適切と認める公共団体及び任意団体が、沖縄戦の実相又は教訓を伝え、平和の発信に資する学習又は展示活動等で使用することに対して許可する。

- 2 戦争体験証言ビデオについては、個人が沖縄戦に関する学習を目的に申請する場合には、許可することができる。

(許可証の交付)

第5条 資料館長は、申請を受けて資料の貸出を許可したときには、申請者に対し、貸出許可証を交付する。許可証については次の各号に定めるところによる。

- (1) 沖縄戦実物資料 規則第23条の資料貸出許可証（第15号様式）
- (2) 沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ入賞作品パネル、世界人権宣

言絵画パネル、平和のウムイ地域版セット、平和学習キット、戦争体験証言ビデオ 沖縄県平和祈念資料館資料貸出許可証（第5号様式）

2 前項の許可証には条件を付すことができる。

（貸出期間）

第6条 館外への貸出期間は、平和のウムイ地域版セット及び平和学習キット、戦争体験証言ビデオについては最長で2週間、それ以外については最長で1ヶ月とする。ただし、資料館館長が必要であると判断した場合にはその限りではない。

（貸出数量）

第7条 一度の申請において、貸出可能な数量は次の各号に定める。

- (1) 沖縄戦実物資料、沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ展入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネルについては、20点以内とする。
- (2) 平和のウムイ地域版セット及び平和学習キットについては、2点以内とする。
- (3) 戦争体験証言ビデオについては、5本以内とする。

（費用負担）

第8条 資料の貸出及び返却に要する費用は、全て申請者がこれを負担する。

（貸出資料の保管及び禁止事項等）

第9条 第4条第2項の規定により貸出しを受けた資料（以下「貸出資料」という。）は、貸出を受けた者（以下「利用者」という。）が、責任をもって保管しなければならない。

- 2 利用者は、貸出資料を貸出申請理由以外の目的で使用してはならない。
- 3 利用者は、貸出資料を他人に譲渡または貸与してはならない。
- 4 利用者は、貸出資料の複製または原型に変形を加えてはならない。
- 5 利用者は、貸出資料を紛失し、または著しく汚損し、もしくはき損した場合は、これを原型に復し、または相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。

（貸出資料の返還）

第10条 利用者は、貸出資料を貸出期限内に確実に返還しなければならない。

- 2 利用者は、平和祈念資料館の都合により貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。
- 3 利用者が貸出資料を期限内に返還できなかった場合は、遅延理由書を提出しなければならない。
- 4 利用者が貸出資料を返還する際の輸送方法は、原則として、専門的技量を有する輸送業者扱いとすること。

（報告書の提出について）

第11条 利用者は、貸出資料の利用状況について、貸出資料利用報告書（第6号様式）を提出しなければならない。ただし、戦争体験証言ビデオについてはその限りではない。

（許可の取り消し）

第12条 資料館館長は、利用者がこの要項に違反したとき、または許可証に付した条件に違反したときには許可を取り消すことができる。この場合において、許可の取消により生じた損害については、沖縄県及び資料館はその責を負わない。

附則

- ・この要項は平成29年4月1日から施行する。
- ・令和2年8月3日一部改正する。

平和祈念資料館資料貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所：〒

団体名：

氏 名： 印

電話番号：
(担当者：)

保 証 人

住 所：〒

氏 名： 印

電話番号：

沖縄県平和祈念資料館の資料について、貸出しを申請します。

種 別	沖縄戦の写真パネル ・ 沖縄戦の絵複製パネル 児童・生徒の平和メッセージ入賞作品 ・ 世界人権宣言パネル
資料名	
数 量	点 (20点以内)
期 間	令和 年 月 日 () から令和 年 月 日 () まで
申請理由	

<別紙>

貸出申請資料明細

NO	種 別	資 料 名	数	備 考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
		合 計		

平和のウムイ地域版セット貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所：〒

団体名：

氏 名： 印

電話番号：
(担当者：)

保 証 人

住 所：〒

氏 名： 印

電話番号：

子や孫につなぐ平和のウムイ地域版セットについて、貸出しを申請します。

資料名	希望する地域版セットに○をつけて下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・北部地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 6 点、証言集 6 点) () ・中部地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 6 点、証言集 6 点) () ・那覇 (南部) 地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 1 1 点、証言集 1 1 点) () ・久米島地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 1 1 点、証言集 1 1 点) () ・宮古島地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 1 1 点、証言集 1 1 点) () ・石垣島地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 1 2 点、証言集 1 2 点) ()
数 量	セット (2セット以内)
期 間	令和 年 月 日 () から 令和 年 月 日 () まで *期間：2週間以内を原則とする (借用及び返却の日を含む)
申請理由	

平和学習キット貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所：〒

団体名：

氏 名： 印

電話番号：
(担当者：)

保 証 人

住 所：〒

氏 名： 印

電話番号：

平和学習キットについて、貸出しを申請します。

資料名	希望するキットに○をつけて下さい。 ・平和学習キットA「戦争とくらし」19点 () ・平和学習キットB「沖縄戦の記憶」20点 () ・平和学習キットC「沖縄戦の記録写真」30点 () ・平和学習キットD「みんななかよく」絵本1点・紙芝居2点 ()
数 量	セット (2セット以内)
期 間	令和 年 月 日 () から令和 年 月 日 () まで *期間：2週間以内を原則とする(借用、返却の日を含む)
申請理由	

戦争体験証言ビデオ貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所：〒

団体名：

氏 名： 印

電話番号：

(担当者：)

戦争体験証言ビデオについて、貸出しを申請します。

種 別	<p>希望するビデオの番号を記入して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄戦体験証言ビデオ () ・平和のウムイDVD () ・日系二世がみた戦中・戦後DVD () ・戦争体験者証言多言語吹き替え映像「DVD1名収録」 1枚で貸出 () ・住民の見た 沖縄戦証言「多言語ブルーレイディスク70名収録」 2枚1組(セット)で貸出 ()
本 数	本 (5本以内を原則とする)
期 間	<p>令和 年 月 日 () から令和 年 月 日 () まで</p> <p style="text-align: center;">*期間：2週間以内を原則とする</p>
申請理由	

沖縄県平和祈念資料館資料貸出許可証

令和 年 月 日

殿

沖縄県平和祈念資料館
館長

印

令和 年 月 日付け、資料貸出申請のあった資料について、条件を付して許可します。

種 別	
数 量	点
資 料 名	別紙の通り
用 途	
貸出期間	令和 年 月 日 () から 令和 年 月 日 () まで
貸出条件	<ol style="list-style-type: none"> 1 貸出資料は、貸出申請者が責任をもって保管しなければならない。 2 貸出申請者は、貸出資料を申請理由以外の目的で使用しないこと。 3 貸出申請者は、貸出資料を他人に譲渡し、又は貸与してはならない。 4 貸出申請者は、貸出資料を複製又は原型に変更を加えてはならない。 5 貸出申請者は、貸出資料を滅失し、又は著しく汚損し、若しくはき損した場合は、これを原型に復し、又は相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。 6 貸出申請者は、貸出資料を貸出期限内に返還しなければならない。 7 貸出申請者は、平和祈念資料館の都合により貸出資料を返還する場合資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。 8 貸出申請者は、貸出資料を貸出期限内に返還できなかった場合は、遅延理由書を提出しなければならない。 9 貸出申請者は、貸出資料を返還する際には、専門的技量を有する輸送業者にて輸送しなければならない。 10 貸出申請者は、貸出資料の利用状況について、沖縄県平和祈念資料館利用報告書（第6号様式）を提出しなければならない。

<別紙>

貸出許可資料明細

NO	資料種別	資料名	数	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
		合計		
			点	

貸出資料利用状況報告書

沖縄県平和祈念資料館長 殿

日 時 令和 年 月 日
 団体名
 代表者
 住 所
 電 話
 担当者

次のとおり、沖縄県平和祈念資料館貸出資料の利用状況を報告します。

利用目的 (行事名等)			
借用期間	令和 年 月 日 () ~ 令和 年 月 日 ()		
利用場所		利用者数 (参観者数)	
借用資料	1 沖縄戦実物資料	(点)
	2 沖縄戦写真パネル	(点)
	3 沖縄戦の絵パネル	(点)
	4 児童・生徒の平和メッセージ作品	(点)
	5 世界人権宣言パネル	(点)
	6 平和のウムイ地域版セット	(セット)
	7 平和学習キット	(セット)
利用状況 および感想			

*利用状況写真、参考資料などがあれば添付し、資料返却時または返却後 1 週間以内にファックスか郵送で送付して下さい。

送付先：沖縄県平和祈念資料館 〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の 1
 TEL：098-997-3844 FAX：098-997-3947

資料貸出申請

令和 年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住所
氏名
電話番号

保証人
住所
氏名
電話番号

沖縄県平和祈念資料館（分館を除く）

の資料について、貸出しを申請します。

八重山平和祈念館

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
保管期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
貸出申請理由	

資料貸出許可証

令和 年 月 日

殿

沖縄県知事 印

令和 年 月 日付け、資料貸出申請のあった資料について、条件を付して許可します。

種 別	
数 量	点
規 格	
用 途	
貸 出 期 間	令和 年 月 日（ ） から 令和 年 月 日（ ） まで
貸 出 条 件	<ol style="list-style-type: none">1 目的以外に使用しないこと。2 貸出資料を他人に譲渡し、又は貸与してはならない。3 貸出申請者は、貸出資料の原型に変更を加えてはならない。4 貸出申請者は、貸出資料を滅失し、又は著しく汚損し、若しくはき損した場合は、これを原形に復し、又は相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。5 貸出資料を貸出期限に返還できなかった場合は、遅延理由書を提出しなければならない。

<別紙①>

貸出許可資料明細

殿

沖縄県知事 印
(沖縄県平和祈念資料館)

NO	資料名	実物資料名	数	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
		合計		

5 沖縄県平和祈念資料館保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用許可要項

(趣旨)

第1条 この要項は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則第22条に基づき、沖縄県平和祈念資料館（以下「資料館」という。）の保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用（以下「利用等」という。）の許可に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要項における用語の意義は次の各号に定めるところによる。

- (1) 資料 資料館が保管する原資料等および写真資料をいう。
また資料館の建物自体の内外観もこれに含むものとする。
 - (2) 撮影 資料を被写体として撮影した静止画（スチル写真）や動画（映画、テレビ、ビデオ等）を記録することをいう。
 - (3) 複製 資料を被写体として、複写、印刷物、レプリカ等を作成することをいう。
 - (4) 掲載 資料の複製を紙媒体に掲載することをいう。
 - (5) 放映 資料の複製を電子媒体で放映することをいう。
 - (6) 利用 講演会、朗読会、コンサートなどにおいて資料を利用することをいう。
- 2 第1項の第1号及び第3号については、資料館が保管する電子データを提供することを含むものとする。

(許可の基準)

第3条 資料館長（以下「館長」という。）は、沖縄戦の実相を伝え、平和の構築に資する使用であると認められた場合において資料の利用等を許可する。

2 次の各号に掲げる事項にあたる場合は許可しない。

- (1) 資料の保存上、悪影響の生ずる可能性がある場合。
- (2) 営利目的等、対価を得て、一部もしくは限られた範囲のみの使用が認められる場合。
- (3) 資料のうち、ほかに権利を有する者があるものについて、事前に書面による同意を得ていない場合。
- (4) 過去に許可条件に違反した事実があると認められる場合。
- (5) その他、資料館の設立理念と合致しないなど許可することが適当でない認められる場合。

(許可申請)

第4条 資料の利用等の許可を希望する者（以下「申請者」という。）は、沖縄県平和祈念資料館保管資料等の撮影・複製・掲載・放映・利用許可申請書（第1号様式）に事業の趣旨や主体者、事業内容を記載した企画書等を添付して館長に利用開始14日前までに、申請しなければならない。

ただし申請期日については館長が特に認める場合において、この限りではない。

(審査および決定)

第5条 前条の規定による申請があった場合、館長は次の各号に掲げる事項について、審査し、許可するかどうかを決定しなければならない。

- (1) 事業の趣旨および内容
- (2) 事業の主体者
- (3) その他必要な事項

(許可書の交付)

第6条 館長は、資料の利用等を許可する決定を行ったときは、申請者に対し沖縄県平和祈念資料館保管資料等の撮影・複製・掲載・放映・利用許可書（第2号様式）を交付するものとする。

2 館長は、必要と認められる場合は、許可書に条件を付することができる。

(報告書の提出)

第7条 申請者は資料の利用等の完了後、速やかに使用状況報告書(第3号様式)に成果品を添えて、資料館に提出しなければならない。

(費用の負担)

第8条 資料の利用等に要する費用は、申請者が全てこれを負担する。

(禁止事項)

第9条 資料の利用等の許可を受けた者は次の各号に掲げる事項をしてはならない。

- (1) 申請書に記載した目的以外に使用すること。
- (2) 利用等の許可を得た資料を転貸しすること。
- (3) 資料等の使用により利益を得ること。

(許可の取り消し)

第10条 館長は、資料の利用等の許可を受けた者がこの要項に違反したとき、または許可書に付した条件に違反したときには許可を取り消すことができる。この場合において、許可の取り消しにより生じた損害については、沖縄県および資料館はその責を負わない。

附則

この要項は平成29年4月1日から施行する。

保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用許可申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館館長 殿

申請者 代表者名：
団体名：
（担当者名： ）
住 所：
TEL：
FAX：
Email：

下記により保管資料の（ 撮影・複製・掲載・放映・利用 ）を許可くださるようお願いいたします。

申請にあたっては、沖縄県平和祈念資料館保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用許可要項の規定を遵守し、著作権等貴館の権利を侵害するような行為を行わないことを誓約いたします。

記

- 1 目的
- 2 資料名
- 3 用途 （撮影日時、掲載書籍名、書籍発行日、放映番組名、放映日などを記載）
- 4 利益発生の有無 有 ・ 無
- 5 添付書類（企画書等、事業の内容がわかるもの）
- 6 提供成果品

〈注意事項〉

*申請の際には返信用封筒（切手貼付）を添えて、利用開始14日間前までに申請すること。

保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用許可書

沖平第 号
令和 年 月 日

殿

沖縄県平和祈念資料館
館長 印

令和 年 月 日付けで申請のあった保管資料の（ 撮影 ・ 複製 ・ 掲載 ・ 放映 ・ 利用 ）について、下記のとおり許可します。

記

- 1 資料名
- 2 用途 （撮影日時、掲載書籍名、書籍発行日、放映番組名、放映日などを記載）
- 3 提供成果品

*許可条件

- ①上記の目的以外に使用しないこと。
- ②資料を利用する際「沖縄県平和祈念資料館提供」と明記すること。
- ③児童・生徒平和メッセージは、作品オリジナルのスタイルを変更しないこと。
- ④写真データ等を使用した場合、利用の完了後、すみやかにデータを消去すること。
- ⑤使用目的完了後はすみやかに成果品および「使用状況報告書」を提出すること。
- ⑥資料に記載されている情報のうち個人情報の保護に十分に配慮し、違法または人権を侵害すると判断される場合には文書内容をそのまま公にしないこと。
- ⑦資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
- ⑧前項に違反した行為があったときは、許可を取り消すことがある。この場合、許可の取り消しにより生じた損害については、沖縄県および資料館はその責を負わない。

使用状況報告書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館館長 殿

申請者 代表者名：
団体名：
（担当者名： ）
住 所：
TEL：
FAX：
Email：

令和 年 月 日付け沖平第 号で許可された保管資料の使用状況について、
下記のとおり報告いたします。

記

- 1 目的
- 2 資料名
- 3 用途 （撮影日時、掲載書籍名、書籍発行日、放映番組名、放映日などを記載）
- 4 使用完了日
- 5 提供成果品

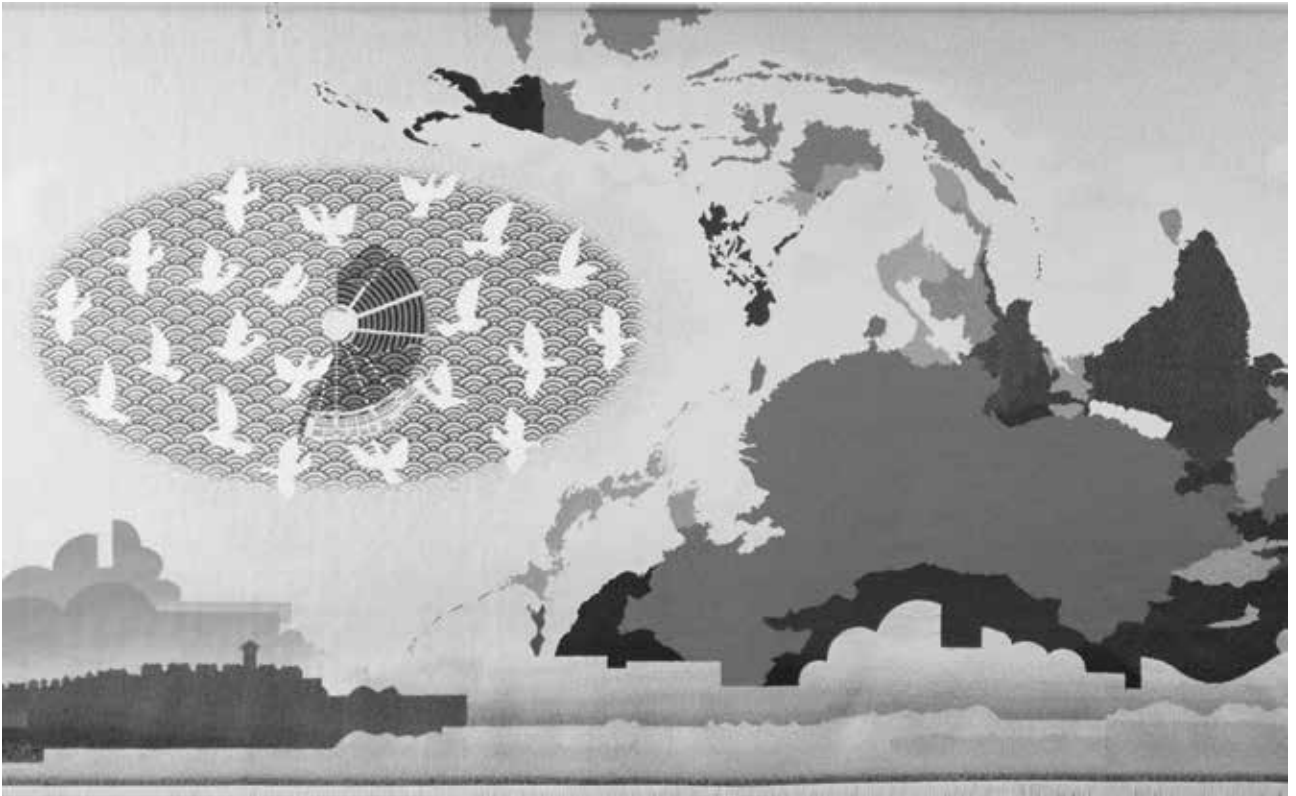
〈備考〉

- ①利用の際を記録した写真や新聞記事、参考資料等があれば添付すること。
- ②写真データ等を使用した場合、利用の完了後、すみやかにデータを消去すること。
- ③資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。

Ⅺ 沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況

沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況

年度別	有 料 観 覧										無 料 観 覧 者	観 覧 者 数	開 館 日 数	一 日 平 均 観 覧 者 数	考 備	
	観 覧 料 種 別					出 身 別										計
	大人個人(%)	大人団体(%)	小人個人(%)	小人団体(%)	小団体(%)	県内	県外	外国								
昭和50年度	13,784(75)	2,025(11)	1,759(9)	900(5)	900(5)						18,468	248	74			
51年度	9,520(53)	4,200(23)	963(5)	3,408(19)	3,408(19)						18,091	306	59			
52年度	10,480(54)	4,264(22)	818(4)	3,932(20)	3,932(20)						19,494	307	72			
53年度	14,022(40)	4,855(14)	1,877(5)	14,097(41)	14,097(41)						34,851	220	158			
54年度	22,288(41)	6,307(12)	3,600(7)	21,513(40)	21,513(40)						53,708	305	176			
55年度	20,727(39)	5,830(11)	3,109(6)	23,762(44)	23,762(44)	3,506	22,746	176			53,428	307	174			
56年度	20,215(34)	5,985(10)	3,367(6)	29,211(50)	29,211(50)	33,671	24,797	310			58,778	304	199			
57年度	26,357(36)	7,077(10)	4,243(6)	34,584(48)	34,584(48)	33,709	38,030	522			72,261	307	240			
58年度	26,359(35)	8,051(11)	4,827(6)	36,272(48)	36,272(48)	34,795	40,029	685			75,509	307	252			
59年度	27,265(34)	9,203(11)	3,932(5)	39,791(50)	39,791(50)	32,646	46,335	1,210			80,191	255	326			
60年度	29,888(31)	13,263(14)	4,701(5)	49,073(50)	49,073(50)	34,993	60,371	1,561			96,925	306	326			
61年度	27,529(27)	13,364(13)	4,629(5)	54,622(55)	54,622(55)	34,783	63,581	1,780			100,144	306	335			
62年度	40,566(34)	14,395(12)	5,441(5)	57,976(49)	57,976(49)	33,298	83,019	2,061			118,378	306	403			
63年度	45,058(34)	16,719(13)	5,557(4)	63,910(49)	63,910(49)	32,819	95,473	2,952			131,244	306	440			
平成元年度	35,325(31)	14,477(12)	7,016(6)	59,363(51)	59,363(51)	27,941	84,600	3,640			116,181	307	397			
2年度	29,514(29)	12,281(12)	5,950(6)	52,511(52)	52,511(52)	22,855	74,010	3,391			100,256	306	388			
3年度	26,687(30)	11,246(13)	5,279(6)	45,409(51)	45,409(51)	20,182	64,938	3,501			88,621	305	320			
4年度	26,500(32)	9,778(12)	5,661(7)	40,021(49)	40,021(49)	17,197	61,011	3,752			81,960	307	303			
5年度	22,667(28)	11,191(14)	5,683(7)	41,461(51)	41,461(51)	15,272	62,130	3,600			81,002	310	274			
6年度	18,056(23)	9,161(12)	4,563(6)	48,084(60)	48,084(60)	13,551	62,528	3,785			79,864	310	267			
7年度	70,319(45)	16,676(11)	13,837(9)	53,282(35)	53,282(35)	45,214	104,854	4,046			154,114	308	525			
8年度	59,643(39)	16,393(11)	11,056(7)	64,840(43)	64,840(43)	26,540	121,886	3,506			151,932	311	507			
9年度	62,485(35)	13,247(8)	10,137(6)	91,099(55)	91,099(55)	20,128	153,889	2,951			176,968	310	593			
10年度	58,196(35)	10,647(6)	10,426(6)	89,965(53)	89,965(53)	15,211	151,195	2,828			169,234	312	558			
11年度	59,654(34)	8,367(4)	9,952(6)	97,464(56)	97,464(56)	12,128	160,724	2,585			175,437	295	611			
											2,307,039				2,411,762	



平和祈念ホールの緞帳「アリア沖縄」(8.0m×4.5m)
沖縄を中心にした世界地図(上下が逆になっており、沖縄とアジアの国の位置関係が一目でわかる)

沖縄戦の真相にふれるたびに

戦争というものは

いかに残虐か
いかに活版にめられたか
いかに
と思わなくては

この（戦争）は体験の前では

いかなる人でも

戦争を肯定し美化することは
できないはずだ

戦争をおこすのは たしかに 人間です

しかし それ以上に

戦争を許さない奴力のできるのも

私たち 人間 ではないでしょうか

戦後このかた 私たちは

あらゆる戦争を増み

平和な島を建設せねば
と思いつけてきました

これが

あまりにも大きすぎた代償を払って得た

ゆずることのできない

私たちの信条なのです

(沖縄県平和祈念資料館 展示むすびのことば)

沖縄県平和祈念資料館年報 第23号

2023(令和5)年9月

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住所：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁614番地の1

TEL 098-997-3844 FAX 098-997-3947

URL <http://www.peace-museum.okinawa.jp/>

E-mail webmaster@peace-museum.okinawa.jp



日本平和博物館会議
ASSOCIATION OF JAPANESE MUSEUMS FOR PEACE

八重山平和祈念館(分館)

住所：〒907-0014 沖縄県石垣市新栄町79番地の3

TEL/FAX 0980-88-6161

E-mail yaeyamaheiwa-mararia@basil.ocn.ne.jp

印刷：有限会社アトム印刷

住所：〒901-1303 沖縄県与那原町字与那原3157-3

TEL 098-944-1355 FAX 098-944-1716

平和祈念公園案内図

Peace Memorial Park Guide Map



沖縄工業健児之塔
Memorial for Students
of Okinawa Technical School



大型休憩舎
Large-scale Resting Facility

沖縄県平和祈念資料館
Peace Memorial Museum

韓国人戦没塔
War Memorial
for Koreans

沖縄平和祈念堂
The Okinawa Peace Hall

子供の広場
Children's Playground

第2駐車場
Parking Lot

中央口
Central Gate



平和の火
Flame of Peace

平和の礎
The Cornerstone of Peace

エントランス広場
Entrance Plaza

花壇
Garden Beds

式典広場
Ceremony Grounds

沖縄県平和祈念財団
Okinawa Peace Memorial Foundation

公園管理事務所
Park Superintendent's Office

第1駐車場
Parking Lot

多目的広場
Multi-Purpose Ground

南幹線路
South Main Path

島守之塔
Shimomori Monument

霊域園路
Memorial Path

国立沖縄戦没者墓苑
National War Dead
Peace Mausoleum

摩文仁の丘
Mabuni Hill

台湾の塔
Taiwan Monument

樺太の碑
Karaito Monument

木道
Board walkways

黎明の塔
Reimei Monument

沖縄師範健児之塔
Memorial for Students
of Okinawa Education College

南口
South Gate



北口
North Gate

沖縄県平和祈念資料館
OKINAWA PREFECTURAL PEACE MEMORIAL MUSEUM
〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614-1 電話 098-997-3844 FAX 098-997-3947

公益財団法人 沖縄県平和祈念財団
OKINAWA PREFECTURAL PEACE MEMORIAL FOUNDATION
〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 444 電話 098-997-2765 FAX 098-997-2767

公益財団法人 沖縄協会 沖縄平和祈念堂
THE OKINAWA FOUNDATION THE OKINAWA PEACE HALL
〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 448-2 電話 098-997-3011 FAX 098-997-2678